デジタル田園都市国家構想交付金
地方創生推進タイプ
（先駆型・横展開型・Society5.0型）
採択事業一覧 【新規事業（R6開始）】

デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

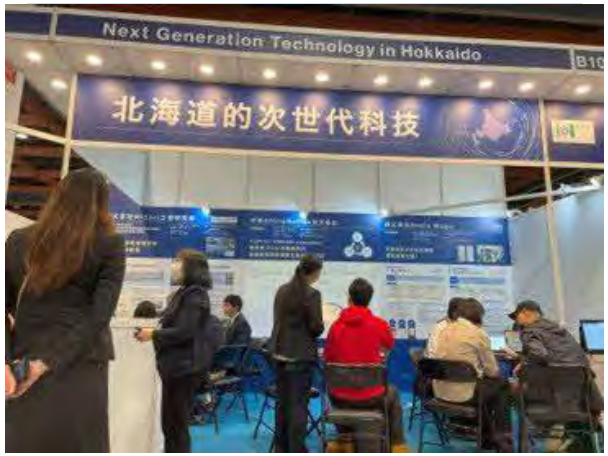
内閣府 地方創生推進事務局
内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

はじめに

- デジタル田園都市国家構想の実現を図り、地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化するため、令和４年度補正予算において、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設しました。
- 同交付金の「地方創生推進タイプ（先駆型・横展開型・Society5.0型）」においては、デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援しています。
- このたび、「令和６年度当初予算分」において採択した事業のうち、**R6年度に事業開始した新規事業の事業概要**を取りまとめました。
- 地域の課題解決等に向けて、当該地域においてどのような取組などを進めるべきか、本資料も参考にしていただき、検討を進めていただければと存じます。
- なお、本資料は、事業採択時点に地方公共団体から提出された事業概要をまとめたものであり、事業採択後の過程において変更が生じている可能性がある点にご留意いただきますようお願いいたします。

事業概要【高度外国人材に選ばれるほっかいどうイノベーション創出事業】

推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	170,586千円（56,862千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	世界でも注目されるアジアのIT開発拠点となる国々の高度外国人材を北海道に結集させることで、彼らの持つ高度な知識・技術を本道に結集、全道域に効果を波及させ、広域分散型の地域課題と未来技術を掛け合わせた先進的な実証事業の実施を通じて、地域の実情にあった実装を推し進め、道内全域さらなる技術・サービスの高度化といったイノベーション創出を行う北海道を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○道内におけるイノベーション機会創出 ・海外企業とのマッチング会開催等（負担金5,300千円） ・道内市町村と事業者・関連団体のマッチング会の開催・ネットワーキング会（委託料　23,540千円） ○海外の大学関係者、高度外国人材を対象に自身のスキルを活かして活躍できるフィールドとして北海道を売り込む。 ・現地大学のセミナーの開催（委託料9,578千円、事務費180千円） ・多言語による北海道の仕事・生活環境のPR動画を活用したビジネス交流会（委託料　3,696千円） ○道内企業向け高度外国人材活用に向けた普及啓発 ・道内IT企業に対し、高度外国人材採用・定着に向けた対策や成功事例を学ぶセミナー・交流座談会を開催（委託料　14,568千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①道における新規雇用者数（＋30人） ②本事業により創出されたマッチング数（＋15件） ③本事業により新たに外国人材の確保に向け取組を行う道内企業数（＋60社）	関連URL	調整中

事業概要【新たな戦略作物による北海道農業の持続的成長と販路拡大事業】 推進当初

申請者	北海道	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	87,999千円（29,333千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・「新たな戦略作物」として生産の拡大が期待されている作物の道内各地への技術の普及を図る。 ・道外での催事や外食事業者向けの産地見学会を開催し、新たな戦略作物の認知度を向上させる。 ・北海道が運営するアンテナショップと全国の大手小売店との連携により、道内事業者の道外市場への販路拡大を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・道内外の飲食店における新戦略作物を使ったメニューフェアの開催（委託料：6,093千円、事務費：86千円） ・外食事業者を参集し、意見交換の開催（事務費：78千円） ・外食事業者向けの産地見学会の開催（事務費：214千円） ・各地域の販路や栽培技術の調査、事例集の作成（事務費：598千円） ・外部有識者による分析・検証（委託料：5,570千円） ・道内の中小・小規模事業者の商品のテスト販売（委託料：16,694千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（＋249億円） ②本事業により取り扱った新たな戦略作物や加工品の品目数（＋270品目） ③無加温栽培技術取組農家戸数（＋25戸）	関連URL	調整中

事業概要【人が輝きまちが輝く交流都市Hakodate"函光"プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道函館市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	78,988千円（20,364千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・これまでアプローチしてこなかった中国人ミドルレンジ富裕層や欧米観光客をターゲットとしたプロモーションを展開し、本市の認知度向上および来函意欲の向上を図り、観光消費額の増加を目指す。 ・観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、他産業や市民生活にも経済的な効果が波及するという好循環モデルの形成を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○　中国人富裕層向け旅行プロモーション事業　2,970千円 【委託料（中国現地におけるBtoB、BtoCプロモーションの実施）】 ○　アメリカ市場プロモーション事業（委託事業） 【米国旅行博出店料】　900千円 【観光商談会出席料】　340千円 【営業活動費】　900千円 【情報発信費】　360千円 ○　函館山夜景魅力度向上事業　5,000千円 【委託料（函館山山頂混雑緩和に係る実証実験）】 ○　観光コンテンツ・食・水産物情報発信事業 【観光PR動画制作委託料】　2,455千円 【食ポータルサイト委託料】　3,542千円 【水産物市場動画制作委託料】　3,267千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋420億円） ②観光客数（＋750千人） ③観光客の平均宿泊数（＋0.09泊） ④食ポータルサイト「おいしい函館」の月平均閲覧数 （＋1,500ＰＶ／月）	関連URL	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2016072600039/

事業概要【「食の実験区，旭川」 未来の食文化を創造する街プロジェクト 】

推進当初

申請者	北海道旭川市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	123,090千円(24,930千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・フードフォレスト事業の取組により埋もれた素材を活用を図る。 ・食のバリューチェーン全体の稼ぐ力の強化を図る。 ・クリエイターを支援するフードカタリスト（触媒）の育成を図る ・クリエイターのクリエイティビティを刺激する体験の創出を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農家、高校や高等教育機関、料理人などと連携し、朝食メニューやお土産品を開発（補助金）3,600千円 ○フードフォレスト事業の実践の場として、国内外の多様な市場との商談機会を創出（負担金）5,800千円 ○朝ごはんツアーを開催し，食について体験し、学び、議論することで機運の情勢や情報発信（補助金）1,000千円 ○市内で開催される国際的なイベントに合わせて、食に関連するワークショップや試食するイベント等を開催（補助金）自己資金で実施 ○市内中心部に「朝ごはん」のチャレンジ施設を開設（補助金）自己資金で実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（＋50百万円） ②開発商品，サービス等の売上（＋115,000千円） ③旅行消費額（＋21千円／人） ④事業に参画する事業者数（＋70社）	関連URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html（まち・ひと・しごと創生総合戦略HP）

事業概要【網走市観光デジタルプロモーション・マーケティング事業】

推進当初

申請者	北海道網走市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	127,059千円（42,353千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・「網走市デジタルファースト宣言」による「関係人口創出のデジタルファースト」の実現を図る ・インバウンド対策のためのフェーズ１として情報発信によるデータを集積を目指し、EBPM推進を行う ・ユーザーニーズを満たすデジタルコンテンツの新規作成、既存デジタルコンテンツのリライト・改修を実施 ・BrandLift調査・来訪計測調査により、ユーザーに対し興味関心の増加が見込めるかどうかの可視化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国内向けSEO対策（WEBサイト内新規コンテンツ作成）、トレンドに合った縦型動画の新規作成、BrandLift調査、来訪計測調査によるデジタルプロモーション ・デジタルプロモーション（委託料）17,028千円 ・デジタルマーケティング（委託料） 4,562千円 ○インバウンド向けWEBサイトコンテンツの追加、動画制作、広告配信 ・デジタルプロモーション（委託料）16,500千円 ・デジタルマーケティング（委託料） 4,263千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+301億円） ②観光入込客数（+5,438千人） ③インバウンド宿泊客数（+116,512人） ④LPエンゲージメント率（+195%）	関連URL	調整中

事業概要【三笠市郷土文化魅力創出・発信事業】

推進当初

申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	65,049千円（39,209千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・北海盆唄発祥の地としての特色を生かし北海盆おどりを題材としたドラマを制作および宣伝・上映を行い郷土文化の振興を図る。 ・北海盆おどり並びに三笠市自体にも興味を持っていただき、地方への人の流れを創出を図る。 ・郷土文化保存につながるように若い世代にも情報発信及び普及促進を図る。 ・地域が一丸となってフィルムコミッション的活動に取り組み、外部へのＰＲのみならず、地元の魅力の発見・再認識の機会を自らで創出し、シビックプライドの醸成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市民の機運醸成事業 ・北海道放送株式会社によるドラマ制作に伴う側面的支援に要する経費　（委託料）7,865千円 ○上映会実施事業 ・ロケ地巡りMAP作成(委託料）357千円 ・ドラマ制作記念イベントの実施(委託料）11,000千円 ・三笠市PR用DVD制作(委託料）3,850千円 ○盆おどり魅力増加事業 ・郷土文化の普及啓発に向けたイベント「三笠北海盆おどり」の拡充（補助金）16,117千円（使用料）20千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋0.3%） ②三笠北海盆おどり入込客数（＋600人） ③ロケ地巡りMAPの頒布数（＋7,000部）	関連URL	調整中

事業概要【登別観光産業高付加価値化事業】

推進当初

申請者	北海道登別市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	26,500千円（13,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・深刻化する人手不足の現状において、より少ない人員、より高い付加価値を生み出していくために「SDGs」や「ウェルネス」的な観点を含め、雇用のあり方や働き方、デジタル化・ＤＸによる労働生産性の向上を図る。 ・人手不足の解消を図るため、賃金を向上させ、離職率を低下させていく取り組みを実施する。 ・観光需要エリアの平準化を図るため、外国人観光客や道外からの誘客促進に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○顧客を創造するエリアマーケティングとビジョンの策定 ・データを活用したエリアマーケティング（委託料）7,500千円 ○観光事業者の人手不足を解消するための宿泊施設の稼ぐ力を伴走型サポート ・人手不足対策のための稼ぐ力の向上ワークショップ及び勉強会の実施（委託料）6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①登別市における観光消費額（＋111億円） ②宿泊単価の増加率（+1.5%） ③観光客入込数（+2,172千人） ④国内宿泊客数の道外客の割合（+4.2%）	関連URL	https://www.city.noboribetsu.lg.jp

事業概要【持続可能な地域生活拠点整備事業～過疎地域のコンビニ多機能化～】

推進当初

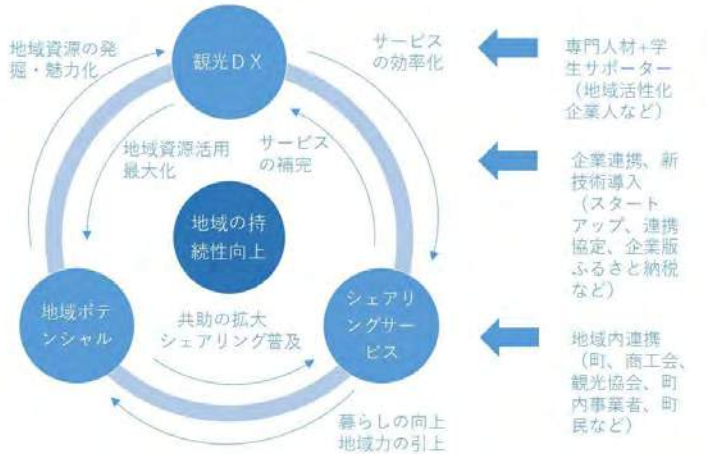
申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	20,842千円（10,412千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・コンビニ多機能化に対応する人員の配置により、新規雇用による定住人数を獲得する ・宅配サービスを展開することで、買物難民の解消及び高齢者の見守り体制を構築する ・再生可能エネルギーや蓄電池の活用により電気料金の削減し事業性を高めつつ、地域防災拠点としての機能を拡充する ・町の健康づくり事業で付与するポイントをコンビニで活用できる体制を構築し、町民の健康増進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○宅配と見守り体制が連動した体制作りに向けた実証実験を実施 ・車両リース（借上料）720千円 ・人材確保（委託料）3,000千円 ・見守り体制構築（需用費）600千円 ○防災拠点機能拡充に向けた防災訓練用資材及び発電機の購入 ・防災訓練用資材購入（需用費）200千円 ・発電機購入（備品購入費）300千円 ○健康づくり事業との連携体制の構築及びポイントカードの導入 ・ポイントカード導入費用（需用費）200千円 ○本事業の推進主体である協議会運営経費 会議開催費220千円、事務費50千円、研修事業費350千円 ○エネルギー削減に向けたアドバイザー配置に係る費用 ・アドバイザー配置（報償費）3,600千円 ○消費電力削減に向けた照明のLED化 LED化経費1,172千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用による定住人数（＋3人） ②販売額（＋7,000千円） ③宅配サービスの利用回数（＋450回） ④脱炭素を通じた経費削減（＋1,000千円）	関連URL	調整中

事業概要【食と自然を体験する観光推進・発信事業～観光施設の機能強化による経済活性化～】 推進当初

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	166,392千円（91,404千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・既存の観光資源の魅力を向上させることで、観光を通じた農業振興及び地域活性化を図る ・自然と一体となったアクティビティを創出し、道外・国外からの旅行客の体験型観光の需要に対応する ・メークイン発祥から100年を迎えることを契機としたイベントや商品開発を実施し、農作物の販路拡大を実現する ・農業体験を付加した観光を提供することで、新たなニーズを創出し、観光客獲得に向けた取組を推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○道の駅の改修に向けた設計や基本構想の策定 ・基本設計（委託料）9,746千円 ・実施設計（委託料）28,930千円 ・基本構想策定（委託料）7,249千円 ○うずら温泉・オートキャンプ場の魅力向上事業 ・経営アドバイザーの派遣費用3,520千円 ・イベント開催費3,100千円 ・アクティビティ創出事業3,491千円 ・カーサイトシンク給水管増設工事費9,590千円 ○販路拡大に向けたトップセールス活動 ・プロモーション事業（旅費）200千円 ○夢現プロジェクト実行委員会補助金 ・官民連携団体の実施する観光振興事業費　25,578千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋36,560千円） ②観光施設の収支改善額（＋10,000千円） ③入込客数（＋7,176人） ④新規雇用数（＋3人）	関連URL	調整中

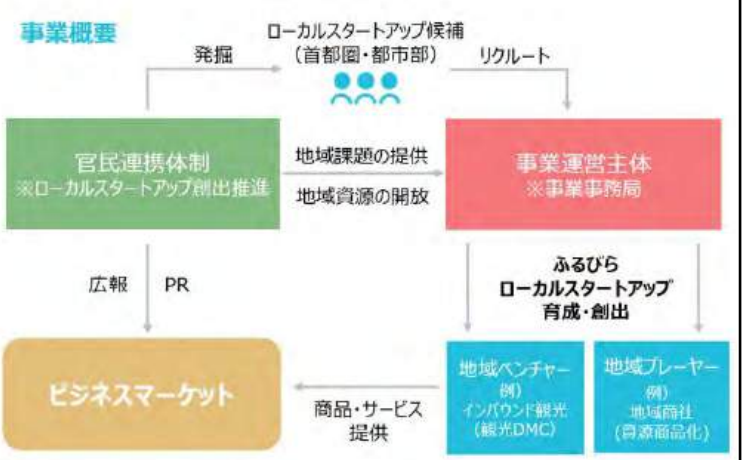
事業概要【産業DX × シェアリング × 地域ポテンシャルによる持続する地域づくりニセコモデル構築事業】

推進当初

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	239,422千円（60,501千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・観光業を中心とした産業DXの推進 ・シェアリングサービスの積極的活用 ・地域ポテンシャルの引き上げ ・上記３つの取組による地域の持続性向上		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光業をフックに地域産業のデジタル化を推進する。 ・デジタルマップの活用（補助）3,000千円 ・エッジAIカメラの活用（委託料等）4,183千円 ○シェアリングサービスを導入し、地域で不足する交通・人材を補完する。 ・カーシェアリング（使用料等）2,320千円 ・タクシーシェア（負担金）7,844千円 ・人材、雇用等シェア（補助金）6,500千円 ○地域資源の発掘磨き上げを行い、観光地としての魅力向上を図る。 ・地域資源開発・商品化、観光拠点機能強化（委託料）15,280千円	取組イメージ  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額　（＋37億円） ②商工会会員数（＋9会員） ③ｶｰｼｪｱﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ利用件数（＋400件） ④ふるさと納税件数（＋450件）	関連URL	http://www.town.niseko.lg.jp/chosei/jichi_saisei/

事業概要【古平町ローカルスタートアップ創出・育成事業】

推進当初

申請者	北海道古平町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	51,000千円（15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・強い産業づくりを担う人材や事業者を持続的に生み出し、産業と雇用の創出を実現し移住定住者の増加を図る。 ・経済を回していけるようなﾛｰｶﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟやその候補人材を発掘・育成する基盤を構築し、継続的にﾛｰｶﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ等を創出・輩出する流れをつくる。 ・継続的にﾛｰｶﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟを創出することで循環型の地域経済が機能する持続可能な町を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①官民連携による事業推進体制の構築（委託）：3,344千円 ・連携推進体の準備、構築 ・事業拠点の設置、運営 ②首都圏人材の発掘・獲得（委託）：7,124千円 ・首都圏でのリクルートやスカウト、ローカルスタートアップ候補獲得活動 ・ローカルスタートアップ候補募集広報 ・情報発信Webサイト、広報用素材制作 ③伴走型育成支援（委託）：1,540千円 ・基礎知識習得プログラム（OFF-JT型）の設計・実施 ・ビジネス構想づくりプログラム（OJT型）の設計・実施 ④事業推進事務局（委託）：2,992千円 ・事務局運営		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋120人） ②ﾛｰｶﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ数（＋9人） ③ﾛｰｶﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ候補数（＋27人） ④首都圏・都市部からのﾎﾟﾃﾝｼｬﾙ人材獲得数（＋50人）	関連URL	調整中

事業概要【世界に誇る美酒と美食のまち、よいちガストロノミーツーリズムプロジェクト】

推進当初

申請者	北海道余市町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	172,468千円（54,550千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・一次産業の生産力強化及びデジタル技術の導入による作業の効率化を図る ・食関連コンテンツ（食・酒・歴史）を有機的にストーリーとして結びつけて高付加価値化された商品の造成、PRを図る ・酒蔵やレストラン、文化施設における環境整備を進め、特に富裕層や近隣のニセコ圏に滞在するインバウンドの誘客促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○食資源生産力の強化に資する整備 ・農水産資源の生産力強化に要する経費（補助金、委託料）　22,491千円 ○食文化形成にかかる有識者の招聘及び情報発信 ・情報発信媒体掲載料（報償費、委託料）5,200千円 ○富裕層の観光地として受け入れる体制構築 ・環境整備のほか、旅行商品及びインバウンド向けプロモーションの実施（補助金）13,000千円 ○文化施設等におけるイベントの開催 ・イベント開催費用（負担金）4,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋184.3億円） ②年間宿泊客数　（＋80,900人） ③ふるさと納税寄附件数の増加（＋126,792件）	関連URL	https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/chousei/jouhou/machihitoshigoto/index.html

事業概要【子どもをまんなかにつながる「東川スタンス」拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道東川町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	217,800千円（69,454千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・東川町で子どもをまんなかに自分らしい豊かな暮らしを望む人の移住定住による人口の維持増加 ・若い世代が安心して暮らし、希望する人が子を産み育てていける町づくりによる出生数増加 ・ワークライフバランスに配慮した女性が子育てをしながら働ける環境整備による町民所得額増加 ・子どもや若者との交流による高齢者の健康寿命の延伸 ・地域で子どもを育てる取組みによる地域コミュニティ機能の向上と地域プライドの醸成、Uターン促進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○子どもの心とからだが豊かになる事業 ・子どものテーマ型コミュニティ創出・拡大事業　8,437千円 ・子ども健やか成長促進事業　5,060千円 ○パパやママが楽しく子育てしながら働ける事業 ・楽しい子育て環境づくり事業　7,513千円 ・女性活躍・ワーク・イン・ライフ推進事業　6,556千円 ○おじいちゃんおばあちゃんが元気になる事業 ・生涯現役・活躍フィールド提供事業　5,610千円 ・健康づくり・安心生活推進事業　8,558千円 ○地域のみんなが明るくつながり誇りがもてる事業 ・多世代交流・共生促進事業　8,151千円 ・地域のまんなか子ども居場所づくり事業　5,280千円 ○若い世代が子どもと暮らす未来に希望が持てる事業 ・「若い世代が希望が持てるhigashikawa」構築事業　7,436千円 ・「出生率upのためのkeyプロジェクト」推進事業　6,853千円	子どもまんなか「東川スタンス」イメージ 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋120） ②年間の出生数（＋27人） ③町民の一人当たりの平均所得額（＋350千円） ④要介護（要支援）認定者の出現率（▲2.1）	関連URL	https://higashikawa-town.jp/

事業概要【通年の誘客と滞在型観光の推進により経済の好循環と雇用の創出を目指す美瑛魅力向上プロジェクト】 推進当初

申請者	北海道美瑛町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	265,871千円(113,371千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	通年の観光客の増加、滞在型観光の推進による宿泊者数の増加、それらの効果による地域経済の活性化や雇用の創出、転入者数の増加を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○滞在型観光の推進 ・白金エリアにおける観光の拠点となる施設の整備（39,319千円） ・町内２か所の道の駅における運営コンサルティング（11,484千円） ・観光周遊バスの運行　※対象経費なし ○冬期における観光客の呼び込み、白金エリアへの集客促進 ・人気観光スポットでのライトアップ事業（24,540千円） ・冬の新たな観光コンテンツであるスノーサイクルイベントの実施（2,500千円） ○オーバーツーリズム対策 ・青い池の駐車場管理（35,528千円）			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①一人あたりの地域における観光消費額（+2,550円） ②観光客入込数（+600千人） ③宿泊者年間延べ数（+100千人） ④体験プログラム体験者延べ数（+1,250人）	関連URL	調整中

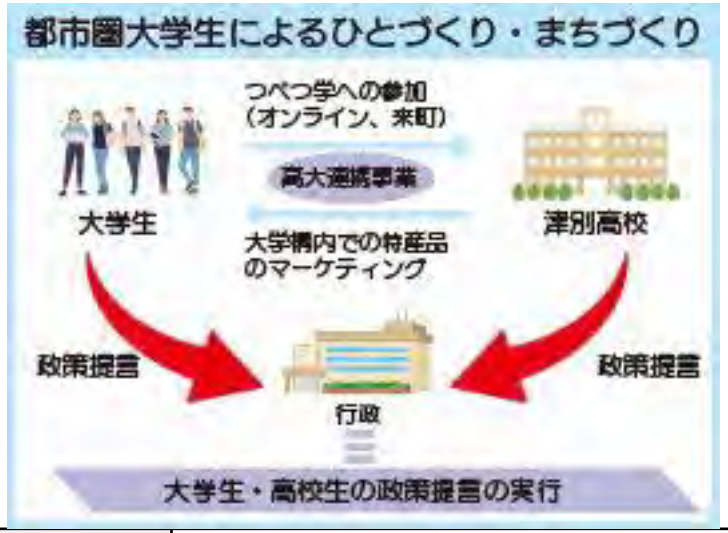
事業概要【空き家とDXを活用した関係人口創出事業】

推進当初

申請者	北海道中川町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	49,993千円（20,392千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 空き家とDXを活用した関係人口の創出と空き家の解消 • 既存住民と都市住民等の交流による地域コミュニティの構築 • 地域資源を活用した空き家改修による地域経済循環の創出 • 事業を通じた地域電子通貨の試験運用によるDX化の推進		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○拠点開発事業 ・拠点管理業務（委託料）1,900千円 ○魅力創出事業 ・DIYワークショップ開発業務（委託料）792千円 ○システム開発事業 ・システム開発業務（委託料）6,952千円 ○空き家改修事業 ・空き家のADDress住宅化（工事請負費）7,000千円　など		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋3件） ②本事業による関係人口の増加（＋300人） ③ADDress住宅の登録件数（＋5件） ④街守の登録件数（＋5件）	関連URL	調整中

事業概要【都市圏大学生によるひとづくり・まちづくり事業】

推進当初

申請者	北海道津別町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	7,500千円（2,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・高校生と大学生が、イベント参加時や恒常的なSNS等で本事業の取り組みのPRを行うことで関係人口・交流人口の拡大を図る。 ・高大連携事業を通して、大学生と高校生相互にスキルアップを図り、次世代を担う人材育成を図る。 ・本事業を通して関わりの持った高校生と大学生が継続的に関係を持つことで、将来的なＵＩＪターン増加を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外部人材招聘に係る来町経費 ・現地調査（高大連携事業含む）に係る経費 ・報告会に係る経費　　計　1,900千円 ○高校生と大学生のマーケティング実践に係るイベント実施費　計　500千円 ○報告会に係る費用 ・SNS配信料など　100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・地域への移住者数（UIJターン数）（+13人） ②・・・（仮称）つべつファン登録者数（+70人） ③・・・津別高校卒業生の地元就職率（+7%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証） https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/choseijoho/chihososei/1702.html

事業概要【デジタル人材の育成確保と企業誘致・就労創出を連動させたスマートワーク推進プロジェクト】 推進当初

申請者	北海道安平町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	162,506千円（46,114千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	デジタル人材の育成の考えを踏まえながら、子育て中の女性の就労が可能となる働き方の導入等により、仕事と子育てを両立し、安心して出産し子育てできる就労環境を提供すること。また、若年層が働きたいと思える就労場所の確保など「子育て・教育」環境の魅力化と新しい働き方を提供できる本当の意味での移住定住につなげる。 こうした取組みを通じて、デジタル技術を活用した便利で快適に暮らせるまちの実現を目指すもの。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	女性や若年層の活躍をさらに推し進めるため、子育てと仕事を両立することができ安心して出産し子育てできる就労環境の提供、若年層が働きたいと思える就労場所の確保、これら取組みを安平町の新たなブランドとして定着させるためのブランディングと町内外へのプロモーションを推進していくために必要な取組みを、「あびらスマートワーク推進プロジェクト」として展開し、推進していきます。 ●スマートワーク産業育成事業及び企業誘致推進事業 ・リスキリング事業（短期プログラム）（委託費）4,230千円 ・リスキリング事業（長期プログラム）（委託費）9,876千円 ・サテライトオフィス誘致・事業誘致推進事業（委託費） 10,829千円 ●ブランディング推進事業及びシティプロモーション事業 ・地方創生推進シティプロモーション事業（委託費） 12,984千円 ・安平町ブランディング事業（委託費） 8,195千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋30人） ②デジタル人材育成・確保数（＋45人） ③企業進出相談件数（＋45件） ④デジタル技術の町内事業者等への還元件数（＋5件）	関連URL	https://www.town.abira.lg.jp/gyosei/sogo-keikaku/second-plan/35

事業概要【恐竜ブランドを活かした過疎地域のクリエーション（創生）プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道むかわ町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	41,843千円（15,643千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• むかわ町の関係・関心人口を増やしまちの賑わいに繋げるため、デジタル技術と恐竜・化石を結びつけたプロモーションを実施する。 • 恐竜化石を活かしたまちづくりを持続していくために、関係・関心人口の訪町につながる周遊コンテンツを実施し、地域内での観光消費を促進し、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◆ デジタル技術を活用した「恐竜のまち」プロモーション・イベント開催経費（委託料）：8,485千円 ◆ デジタル技術を活用した周遊コンテンツ創出 ・恐竜化石発掘体験を中心とした周遊コンテンツの実施経費：6,031千円 ・携帯電話等ネットワーク圏外でも活用できるデジタル音声ガイドの開発・試行：1,127千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プロモーション事業の来場者数（＋900人） ②観光コンテンツの参加者数（＋140人）	関連URL	http://www.town.mukawa.lg.jp/

事業概要【かみしほろワークスタイル／アーティスト・イン・レジデンス推進事業】

推進当初

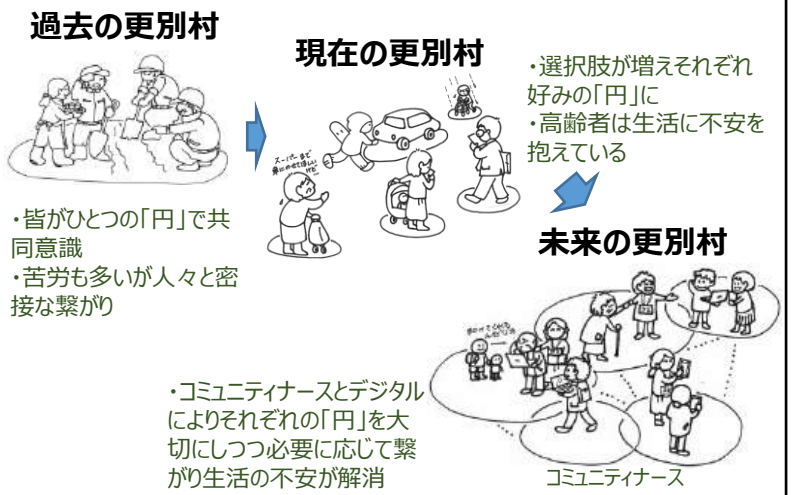
申請者	北海道上士幌町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	87,007千円（31,140千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・都市部からの人の流れを加速させ、関係人口を創出し、企業（起業）誘致と、将来的な移住を促すため、テレワーク・ワーケーションの受入体制を元地域おこし協力隊を中心に構築する。 ・ワークショップの開催により、これまで町と関わりを待たない層を呼び込む。 ・地域と都市部企業・個人が交流するきっかけをつくることで、新規ビジネス創出を図る。 ・PRイベントや助成により、テレワーク・ワーケーションによる来訪者を増加させる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①アーティスト・イン・レジデンスによる地域活性化 ・ワークショップ開催経費（委託料）：4,266千円 ・デザイン/クリエイター人材誘致：1,808千円 ・展覧会開催（委託料）：1,725千円 ・1家庭1アートPJ（委託料）：1,875千円 ・遊休不動産利活用：318千円 ②町内生産者（事業者）と都市部企業・人材のマッチング ・逆参勤交代（委託料）：2,200千円 ・Farm to table上士幌の実施（委託料）：3,069千円 ・副業兼業マッチング：2,539千円 ③テレワーク・ワーケーションの推進 ・首都圏シェアオフィスを活用したPR関連経費：6,042千円 ・こども園留学の実施（委託料）：7,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数(2拠点居住含む)（＋15人） ②アーティストinレジデンス応募者数（＋22人） ③シェアオフィス利用者数（＋200人） ④都市部企業・個人と町内事業者のコラボプロジェクト（＋5件）	関連URL	上士幌シェアオフィス https://www.kamishihoro.work/

事業概要【「農業王国めむろ」ブランドを活用した稼ぐ観光振興プロジェクト】

推進当初

申請者	北海道芽室町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	99,600千円（35,340千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・本町の基幹産業である農業ブランド「農業王国めむろ」の地域ブランド化を進める ・2024年に予定されている日高山脈襟裳国立公園化を「新しい稼ぐ観光事業」で活用する ・観光拠点である新嵐山スカイパークにアウトドアを核とした事業を展開する ・地元住民向けの農業ツアー等により地元住民を巻き込んだ「農業王国めむろ」の地域ブランド化を進める		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「農業王国めむろ」の地域ブランド化及び道内外へのプロモーション ・ブランド化構築委託 4,000千円　・道外プロモーション 1,200千円 ・地域おこし協力隊が起業したNPOと連携したプロモーション 8,000千円 ○日高山脈襟裳国立公園化を見据えた観光プログラムの構築等 ・アウトドア事業強化 2,800千円 ・めむろまちの駅案内機能強化 1,000千円 ・案内機能強化に係る通信手段整備 1,000千円 ○国立公園化を見据えたアウトドアを核とした観光拠点に事業展開 ・グランドデザイン策定委託 10,000千円　・人流データ活用 2,640千円 ○地元住民を巻き込んだ「農業王国めむろ」ブランドのPR ・子ども向け農業体験、住民向け農業関連ツアー 2,800千円 ・地元住民（子ども）による友好都市交流におけるPR 1,600千円 ○地元農産物を活用した新商品や新メニューを開発への支援　300千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋1億円） ②「農業王国めむろ」ブランドを活用した観光プログラム・農業プログラム体験者数（＋1,100人） ③道外プロモーション実施回数（＋5回） ④新商品・新メニュー開発件数（＋5件）	関連URL	https://www.memuro.net/administration/soshiki/seisaku/hyouka/gyousei-hyouka/index.html

事業概要【更別村スーパービレッジ構想におけるコミュニティナースとともにつくる地方創生】 推進当初

申請者	北海道更別村	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	96,900千円（32,168千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	**目指す将来像＝更別村版共助社会構築事業** 過去の更別村では皆が一つの「円」で共同意識が強く、苦労も多い分だけ近隣の人々との密接なつながりがあった。しかし、現在ではライフスタイルの多様化により選択肢が増え、それぞれが小さな「円」（縁）に閉じるように生活をしている。高齢者をはじめとした住民が生活に不安を抱くことになってしまっているため、必要に応じてつながり合うことのできる適度な関係性を結び直し、「100歳までワクワク 世代を超えてみんなでつながり合う幸せな地域」の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	**コミュニティナース普及・定着活動委託費：25,508千円** 村内での勉強会や講演会、地域組織・企業との連携を通じ、多世代へのコミュニティナースの取り組みの周知・啓発活動を進め、本事業への関与者を増やす。 **多世代交流事業委託費：5,580千円** 各種イベント、行事への参加、これまでの村内での活動実績等を踏まえ、多世代の村民と接点を増やす。村民の多世代に関する課題やニーズ等のヒアリングを行い、多世代交流のイベント、講座、ワークショップ等を通じて、多世代交流事業の企画検討を行う。 **関係人口の増加事業委託費：1,080千円** 北海道外からのインターン生や視察等研修の受け入れ、道外での講演の実施等を通じて、更別村の魅力、更別村の取り組みを周知、受け入れ、関係人口の増加を行う		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（＋9人） ②住民のウェルビーイングアンケートの「健康状態」の指標の増（＋6ポイント） ③商店街でのウェルビーイングプランの実現数（＋30件） ④村民コミュニティナースの登録者数（＋135人）	関連URL	https://www.sarabetsu.jp/gyosei/seisaku/sogo/supercity/

事業概要【村内外から人の流れをつくる交流促進事業】

推進当初

申請者	北海道更別村	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	49,500千円（9,900千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 若い世代を中心にあらゆる世代の村内外の人々が『出会い』『交流し』『居場所ができること』で人の流れの創出を目指す。 • 「村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業」により特別な人間関係を結び交流を促進する。 • 「村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業」により先進デジタル技術の活用の知見と出会いを創り起業・創業につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業 ①更別村の特色のある料理づくりなどを通じた特別な人間関係の構築 ・双方で教え合い交流が生まれる料理教室の調査・計画・実証費用：600千円 ・JAさらべつと取り組む更別村の特産品を使ったメニュー開発の調査・計画・実証費用：600千円 ・FMラジオ局や道内雑誌を活用した更別村のPRとイベント周知に関する費用：1,100千円 ②更別の既存ストックの利用方法の転換を行い魅力的な場所や交流機会の創出 ・官民双方の村内施設の使用方法の宣材動画に関する費用:3,000千円 ・村内飲食店へのSNSの使い方講座の調査・計画・実証費用：300千円 ・リアルとオンラインで実施する村の未来を考えるデジタルスナックに関する調査・計画・実証費用：600千円 ■村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業 ③先進デジタル技術を用いたエンターテインメントを介した新しい出会いの創出と知見の深化 ・ゲームを通じて実施するドローン体験会に関する調査・計画・実証費用：1,500千円 ・更別村の自然とコラボしたVR美術館に関する調査・計画・実証費用：2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業の関係人口構築による新規移住者数（＋9人） ②更別村の宿泊観光入込数（＋33,133人） ③当事業による更別村の公共施設の施設予約件数（＋90件） ④交流事業への村内外からの参加者数（＋165人）	関連 URL	https://www.sarabetsu.jp/gyosei/seisaku/sogo/supercity/

事業概要【世界を見据えた戦略的な農林水産業の推進プロジェクト】

推進当初

申請者	青森県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	385,310千円（122,612千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	• 農林水産業における外貨の獲得と生産性・付加価値の向上による農林水産業従事者の所得向上を目指す		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

○グローバルマーケットシェアの獲得（委託料等）　44,023千円
・新規ターゲットの調査・分析、パートナーとの連携による販路開拓
・東南アジア輸出コーディネーターの設置
○農業グローバル人財の育成（委託料等）　20,592千円
・青年農業士や雇用就農者等を対象とした農業版MBAの実施
・若手農業者及び農業を学ぶ高校生等を対象とした海外研修
○農業ＤＸの推進（委託料、交付金等）　20,964千円
・ロボット等を活用した農業ＤＸの実証
・農業ＤＸ等に係るセミナーや研修会の開催等
・普及指導員や産業技術センター等を対象としたデータ駆動型の普及指導体制の構築
○農協や卸売業者等の効率的な物流体制の構築（補助金）　37,033千円
・物流DX等の物流改善に関する研修会
・効率的な物流体制構築の検討に向けた補助、物流効率化のモデル的な取組に対する補助

（県内学生による韓国への海外研修）

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①地域における農林水産出荷額（＋70.74万円）
②農林水産品輸出額（＋15億円）
③新たに物流改善に取り組む農協や卸業者等の荷主業者（＋18者）

関連URL

（交付金の具体的使途等）
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html
（政策点検）
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html

事業概要【青森独自のディープな体験を磨くインバウンド観光消費拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	青森県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	367,169千円（111,311千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・新たなインバウンド獲得に向けた素地を確立し、観光消費額の向上につなげる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○欧米及び豪州を中心とした新たなインバウンド獲得へのアプローチの強化（委託料、負担金等）　48,235千円 ・欧米・豪州インバウンド需要拡大に向けたプロモーション等 ・クルーズ船の受け入れ態勢の強化等による寄港促進 ○津軽海峡交流圏を活用した新たな観光の創出（委託料等）33,789千円 ・航路を活用した「津軽海峡交流圏」の周遊コンテンツ強化、蟹田・脇野沢航路を活用した団体・個人利用促進 ○農泊を活用した交流拡大（委託料等）6,376千円 ・農泊の多様な受入形態への対応、農泊の国内外プロモーション ○本県アートコレクションの海外発信強化（委託料等）6,231千円 ・本県の有するアートコレクションの海外展開事例の調査等 ○インバウンド向け土産品等の開発支援（委託料等）16,680千円 ・インバウンド向け土産品等の開発コンサルティング等	 （青森港に寄港したクルーズ船の歓迎）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋288億円） ②外国人延べ宿泊者数（＋233,535人泊） ③本事業による海外OTAサイト掲載商品数（＋60件） ④むつ湾フェリー及び大函丸延べ旅客乗員数（＋31,256人）	関連URL	（交付金の具体的使途等） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html （政策点検） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html

事業概要【コワーキング・交流室付きワーケーション体験施設を活用した移住促進事業】 推進当初

申請者	青森県青森市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	21,157千円（10,909千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市における人口の社会減を始めとした諸課題に対応するため、本市浪岡地区が有する「津軽の交通結節点/活用可能な住居（空き家）が多い/生活利便性が高い」といった「地の利」を生かし、同地区に空き家リノベーションによる体験施設を整備し、「実生活がイメージできる生活体験」と「地域の多世代との交流」を生かした「地域一体での受入体制による交流体験」等を通じ、関係人口の増加を契機とした更なる移住・定住の促進を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○体験施設の整備及び管理運営 市街地にある空き家を借上げ、複数組を受入可能な体験施設及び交流の場としてリノベーションによる整備を行うとともに、施設運営に必要な維持管理を行う。 （リノベーション及び備品等設置に係る経費　5,299千円） （施設等借上げ及び維持管理に係る経費　3,056千円） ○移住体験モニター事業の実施 子育て世代等をメインターゲットに、近場での買い物体験や子育て世代との交流などの生活体験、地域住民との交流体験を実施する。 （交流体験実施に係る経費　311千円） ○ワーケーション体験モニター事業の実施 フリーランスの方をメインターゲットに、リモートワーク体験×余暇体験及び地域住民との交流体験を実施する。（機器等借上げ及び交流体験等実施に係る経費　2,243千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋37人） ②移住体験・ﾜｰｹｰｼｮﾝ体験参加者数（＋318人） ③体験以外の施設利用者数（＋88人） ④本市空き家バンクの登録数（＋15件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和６年7月公表予定 （効果検証） 調整中

事業概要【デジタルマーケティングを活用した青森県津軽地域の観光地域づくり推進事業】

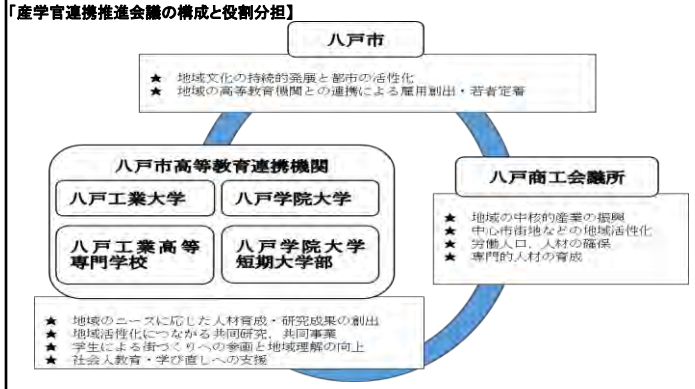
推進当初

申請者	青森県弘前市ほか13自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	125,574千円（35,844千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・津軽地域全体での観光に取り組む方向性の統一と地域における観光関連事業者の稼げる仕組みの確立 ・行政や事業者など多様な主体の連携を深めて圏域の総力を結集することで、新たな観光価値の発掘や多種多様な観光コンテンツの提供など観光振興のブレイクスルーを起こす ・地域の観光情報を集約してより多様な趣向に一度に応えられるようにスケールメリットを活かした面的なプロモーションの事業展開を行う		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○（一社）Clan PEONY 津軽のデジタルマーケティング分析能力の向上及び分析結果を踏まえた観光戦略策定とターゲット選定 ・観光DXを活用したマーケティング向上及び観光戦略の策定（委託費）4,204千円 ○マーケティング分析に基づいた、新たな観光の魅力発掘や事業者等との連携による受入環境整備 ・外部有識者を招聘し地域事業者と新たな観光資源を発掘（委託費）8,000千円 ○観光コンテンツ磨き上げや販路拡大による誘客の強化 ・観光コンテンツをインバウンド向けに磨き上げ（商品造成費）2,000千円 ・磨き上げた商品を海外OTAに掲載（委託費）1,000千円 ○ターゲット層への効果的な訴求手法を活用した面的な観光プロモーションの実施 ・ターゲットを絞ったGDN広告やInstagram広告の掲出（広告宣伝費）1,500千円		Clan PEONY 津軽 岩木山の恵みに触れる旅づくり
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋12,408,000千円） ②（一社）Clan PEONY 津軽ホームページのプレビュー数（＋184,400PV） ③（一社）Clan PEONY 津軽ホームページを介して販売された旅行コンテンツの販売額（＋2,100千円） ④旅行コンテンツの造成件数（＋40件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihousousei-koufukin.html （効果検証） 調整中

※青森県弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鰺ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町の広域連携事業

事業概要【産学官連携による八戸未来創造事業】

推進当初

申請者	青森県八戸市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	91,310千円（27,612千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」において、若者人口【15～29歳】の増減数を中期（2025年）に▲2,000人まで抑制し、長期（2045年）に増減を均衡させることを目標として定めており、当目標を達成していくために、産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着の醸成や地元定着等に向けた取組を進め、将来的な若者人口の社会増減の均衡を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産学官連携による市内企業や事業所のニーズ調査の実施 ・地元企業ニーズ調査（委託料）5,900千円 ○人材育成・雇用創出事業 ・社内人材育成支援事業（委託料）3,300千円 ・クロステックイノベーション事業（委託料）7,809千円 ○こどもの当市への愛着や理解を促進していくための魅力発信事業 ・こども専用ホームページの作成（委託料等）10,603千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋15人） ②若者の市外転出者（抑制）数（▲60人） ③産学官連携事業数（＋６事業） ④外国人留学生数（＋15人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.hachinohe.aomori.jp/ （効果検証） 調整中

事業概要【関係人口・交流人口拡大事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	259,160千円（75,509千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・観光を取り巻く環境変化に的確に対応するとともに、ニューヨーク・タイムズ紙への盛岡市の掲載による効果を全県に波及させるため、各種観光データを集約・分析するシステム「いわて観光DMP」等を活用した客観的なデータに基づく戦略的な観光施策を展開する。 ・本県ならではの地域資源を活用して地域のにぎわいの創出を図るとともに、ECやSNS等を活用し、県内外へ本県の魅力を発信することで、いつでも、どこでも、誰もが岩手とつながることのできる社会を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 国内外からの誘客と県内周遊促進 ・観光地域づくり支援(委託料) 13,173千円 ・知事トップセールス/旅行博出展(委託料、旅費等) 12,902千円 2 地域資源を生かした県産品等のWEB百貨店の設置 大手ECを活用した販売促進・事業者育成等(委託料) 11,001千円 3 文化芸術等を通じた岩手の魅力発信 デジタル配信等を通じた魅力発信(委託料) 9,422千円 4 海業推進モデル 企画コンサルティング・モニターツアー実施(委託料) 4,928千円 5 SNS等を活用した、県民とのコミュニケーションの強化及び県内外への発信強化 LINEを利用した広報及び広聴の充実(使用料) 1,320千円 等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+385.2億円） ②WEB百貨店(仮称)に参加した事業者の商品の売上（+217百万円） ③海業モニターツアー参加人数（+30人） ④岩手の魅力を発信する作品・映像等へのアクセス（+30,829回）	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

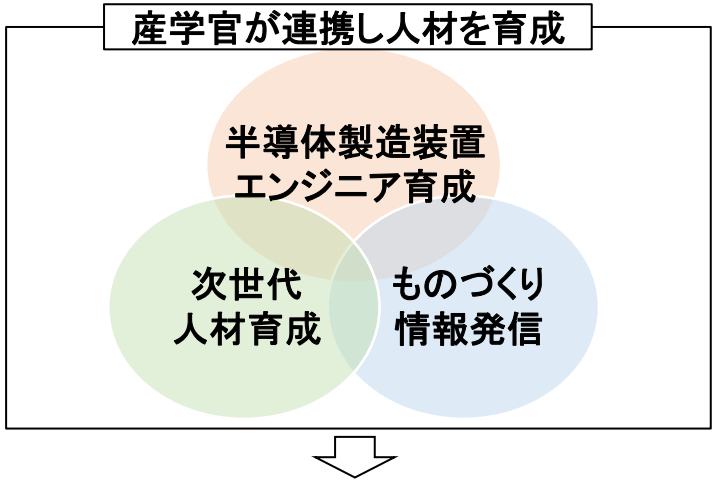
事業概要【移住・定住・雇用応援プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	495,489千円（142,823千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・本県への将来的な地元定着やＵ・Ｉターン就職を促進するため、高校生・大学生に向けて、岩手で働く魅力・価値を発信し、早い段階から意識づける。 ・地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成、ものづくりへの進路選択や就職につなげる取組を実施し、北上川流域のものづくり産業の高度化・高付加価値化を支える人材の育成・確保を図る。 ・農業を通じた移住・定住を促進するため、県外から移住し、県内での雇用就農を希望する者に対して、農業法人等とのマッチングを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	（１） U･Iターン機能強化事業 ・首都圏及び県内におけるＵ・Ｉターン就職やインターンシップの相談対応　33,762千円 （２） ものづくり人材の育成・確保事業 各段階に応じた出前授業、企業見学会、ものづくり体験等の実施 ・小中学校対象（教員・保護者含む）　924千円 ・高校対象（教員・保護者含む）　13,493千円 （３） いわて移住・雇用就農促進事業 ・県外から移住、雇用就農マッチングに係る委託費　5,277千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのＵＩＪターン数（+97人） ②本事業で実施する工場見学に参加した高校生の数（+8,700人） ③本事業による、市町村・地域団体等が行う定住・交流事業の実施数（+12件） ④新規就農者数（+840人）	関連 URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

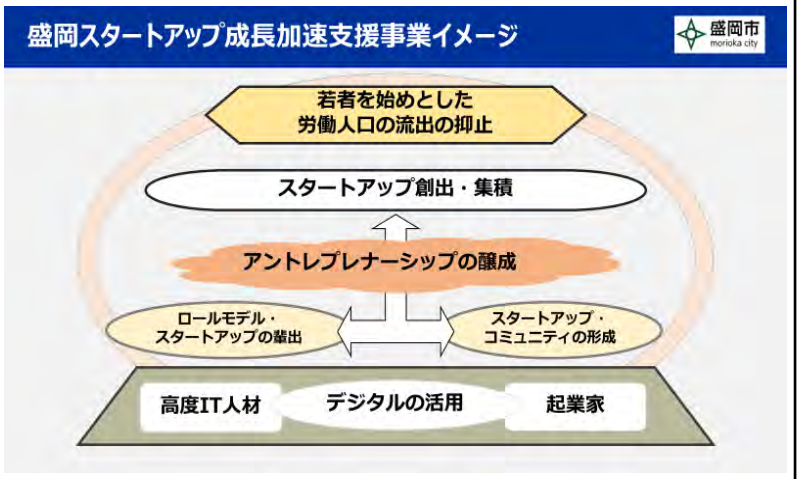
事業概要【半導体関連人材育成推進事業】

推進当初

申請者	岩手県	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	67,330千円（9,436千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	デバイスメーカーから製造装置メーカーまで多様な半導体関連企業が集積している本県の特徴を生かし、産学官が連携し人材の育成・確保を推進し、半導体関連企業の更なる業容拡大を集積を図り、もって、安定した雇用の創出及び所得の向上による地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○2025年度に半導体製造装置を備えた人材育成施設（所有・整備主体：(公財)いわて産業振興センター）が運営開始予定であり、開設に向け、専門家であるインストラクターを設置し、カリキュラムの構築や教材の準備など、産学官が連携して施設を活用した人材育成推進の体制を構築（委託料：9,436千円） ・インストラクター人件費 ・実習用消耗品 ・教材作成代 ・プロモーション費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋500人） ②半導体関連産業の製造品出荷額（＋500億円） ③県内大学等卒業者の県内就職率（＋1.5%） ④人材育成施設で実施する社会人向け講座の受講者数（＋250人）	関連URL	https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1011373/1011374.html

事業概要【盛岡スタートアップ成長加速支援事業】

推進当初

申請者	岩手県盛岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	28,000千円（6,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	地域のスタートアップの創出・集積を推進し、域内での起業・就業により若者を始めとした労働人口の流出を抑止する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ロールモデル・スタートアップ認定事業 ・ロールモデル・スタートアップ掘り起こし調査(委託料) 1,200千円 ・認定企業の募集、審査、認定(委託料) 1,200千円 ・ウェブサイト運営等情報発信(委託料) 1,400千円 ○スタートアップ・コミュニティ形成事業 ・セミナー開催(委託料) 360千円 ・メンタリング個別経営指導(委託料) 840千円 ・ピッチイベント等開催による資金調達・交流支援(委託料) 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋5人） ②コミュニティ参加者による起業件数（＋2件） ③コミュニティ参加スタートアップによる資金調達件数（＋5件） ④コミュニティ参加者数（＋30者）	関連URL	https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1030909/1030790.html

事業概要【テレワーク・ハイブリットワークで来訪・再訪の好循環創出による多拠点居住の推進】 推進当初

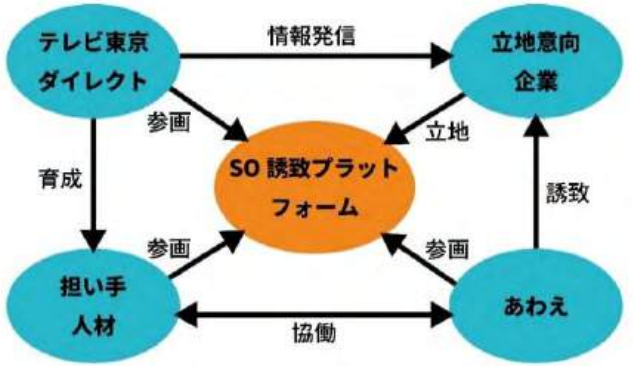
申請者	岩手県花巻市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	16,437千円（5,479千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・インフルエンサーを招聘し、本市での体験や交流も含めたテレワークについて、その交流や体験の様子を広く全国に発信し、花巻市でのテレワークの魅力を知っていただく。 ・この事業を通じて積極的な情報発信を行うにより、２拠点・多拠点居住者に訴求して、本市でのテレワークへの関心・意欲を醸成することが期待できる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1　インフルエンサーによる造成コンテンツ体験の情報発信（5,479千円） インフルエンサーを招聘し、テレワーク、農作業・伝承芸能・食にまつわる体験、宿泊を組み合わせたコンテンツを体験し、SNSなどの媒体（※）で情報発信を行う。 ※ローカルメディア「まきまき花巻」等の既存媒体や新規メディアサイト、SNSなど （1）インフルエンサー招聘・各種体験などの費用 （2）メディア発信費用 （3）コンテンツ（体験プログラム）造成現地視察旅費 （4）実施報告書の作成 2　市移住支援相談員による移住定住相談対応（本市単独事業で実施） 3　首都圏における花巻市への立地企業への事業周知（本市単独事業で実施）	 花巻市が実施した「テレワーク調査分析」の写真 （左上：テレワーカーによるピザづくり体験） （右上：テレワークの様子） （左：農業体験（大根ほり体験）に向かうテレワーカー）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数(当該年度目標値+5人) ②「まきまき花巻」における県外からの閲覧者数(当該年度目標値　+800人)	関連URL	https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/shisaku/1002860/index.html

事業概要【釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業】

推進当初

申請者	岩手県釜石市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	45,000千円（15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	東京大学をはじめとする圏域内外の高等教育機関等との連携を図りながら、市全体が学びの場となる「釜石オープン・フィールド・カレッジ」を構築し、様々な学びの場を創出することで、当市の未来を担う人材の育成や、あらゆるライフステージに応じた学びの場の提供に加え、地域外の大学生や社会人を呼び込むことで、新たな「つながり」を創出し、持続的な交流人口の増加を図るもの。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○釜石オープン・フィールド・カレッジ計画策定 ・コンセプト策定委託料　1,000千円 ○釜石オープン・フィールド・カレッジ運営体制強化 ・地域コーディネーター育成研修経費、協議会の運営経費、専門家誘致経費等 1,000千円 ○持続可能な地域づくりモニタリング ・観光来訪調査、教育意識調査等　2,500千円 ○フィールドスタディプログラムの造成 ・各種体験プログラムの造成、圏域内外の大学と連携した授業プログラム構築、共同イベントの構築等　4,000千円 ○釜石オープン・フィールド・カレッジプロモーション ・ウェブサイト構築、プラットフォーム構築経費等　6,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（当該年度目標値＋５人） ②プログラム活用者数（当該年度目標値+10人） ③プラットフォーム登録者数（当該年度目標値+50人） ④再訪希望者数（当該年度目標値+45人）	関連URL	https://www.city.kamaishi.iwate.jp/

事業概要【地方と首都圏を結ぶサテライトオフィス誘致プラットフォーム構築による地域活性化事業】 推進当初

申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	99,825千円（28,105千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・サテライトオフィス誘致による人口動態の改善と関係人口の創出する ・新産業の集積地としての地位を確立する ・地域課題解決の枠組みから新ビジネスが生まれる基盤を構築する ・担い手人材の育成によるプラットフォームを自走させる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○サテライトオフィス誘致支援事業 ・サテライトオフィス誘致戦略策定（委託料）：3,850千円 八幡平市に誘致する企業の方向性を定め、基本的な宣材資料等を作成。 ・マッチング支援（委託料）：2,255千円 イベント出展等で企業とのマッチングを行うとともに、アフターフォローでクロージング確率を高める。初年度は多方面へのアプローチを行い、立地確度の高い傾向のある業種等を洗い出す。 ○メディア活用及び新規事業開発支援事業 ・認知度向上対策（委託料）：9,900千円 ビジネスパーソンに対して複数メディアから多様な情報をリーチさせることで、単純接触効果による認知度・好感度向上施策を行う。初年度は幅広いチャネルに投下することで、どこからのアプローチがより効果的なのかを確認する。 ・新規事業開発支援（委託料）：8,800千円 誘致した企業等による地方発の新規事業について、ビジネスモデル等のコンペティションを行うとともにメディア露出を行うことによって、他地域への展開も支援し、立地のインセンティブとする。 ・人材育成（委託料）：3,300千円 育成するモデル人材像を定めるとともに、地場の民間企業等の人材に対して、メディア活用をするための実務についてのノウハウ移転を行うことで、事業の持続可能性を高める。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋3人） ②本事業によって誘致したサテライトオフィスの立地件数（＋4社） ③育成したプラットフォーム人材によるメディア活用施策数（＋6件）	関連URL	調整中

事業概要【Re:公民連携プロジェクト】

推進当初

申請者	岩手県紫波町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	13,350千円（1,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• 公民連携事業により得られた地方創生推進に係る効果を検証し、今後展開する事業へとつなげる • 「オガールプロジェクト」の効果を農村地域に波及させ、町全体の持続的な発展を目指す • オガールプロジェクトの核施設である「オガールプラザ」の、デジタル技術を活用したリニューアルに向けて調査・設計を行う		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・公民連携を振り返り、未来を考えるシンポジウム・講演会等の開催に係る経費　謝金及び旅費　400千円 ・（仮称）公民連携検証・検討委員会の設立及び開催に関する経費　委員謝金及び旅費　300千円 ・「紫波町公民連携白書」作成に係る調査・研究経費（委託料）500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①紫波町情報交流館の来館者数（＋97,000人） ②オガールプロジェクト等に関連する紫波町への有料視察件数（＋68件） ③オガールエリア内の来場者数（＋184,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.shiwa.iwate.jp （効果検証） https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4/2_13_machihitoshigoto/762.html/

事業概要【DX技術導入や地域連携を主軸とした農林業の構造改革推進事業】 推進当初

申請者	宮城県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	287,128千円（100,287千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・人口減少の影響が強い農林業へ、生産、加工・流通・販売、人材育成を包括的に支援することで、相乗効果により産業構造全体を改革する **・生　　産**：人材不足と低効率の改善に向け、効果の高いDX技術導入を推進する **・加工～販売**：低付加価値・低収入の改善に向け、生産者と関係業者をマッチングし、高収益の商品開発やサプライチェーン構築を支援する **・人 材 育 成**：人材確保に向け、高校生や未経験者まで支援対象を広げ、地域全体で育成を図る		

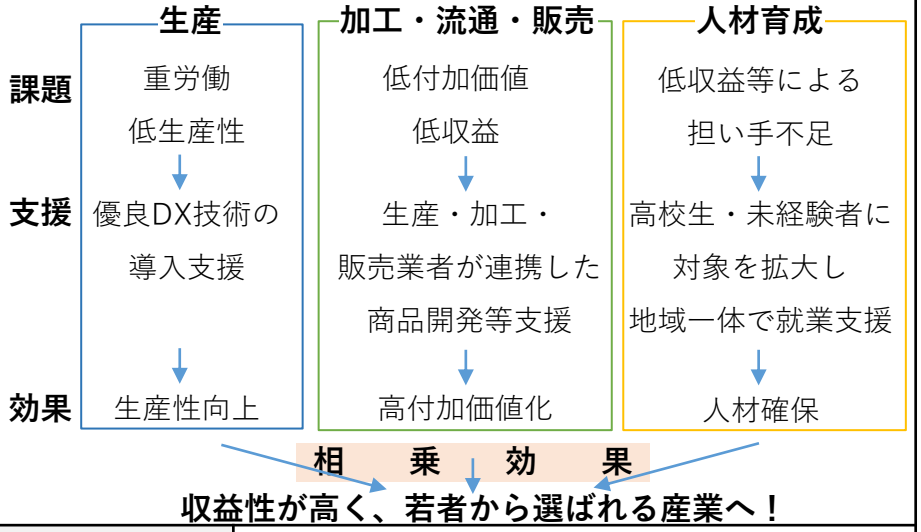
事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

1　DX技術導入による生産性向上（補助金等）12,624千円
- ・農業：DX技術研修会・アドバイザー派遣
- ・林業：広葉樹林の電子タグ登録等

2　高付加価値化・ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ構築（委託費等）69,037千円
- ・農業：マッチング、商品開発経費補助、商談会開催補助、
- ・林業：市場の需要調査、樹種の特定、広報活動費、建築物木造化・木質化モデル施工

3　人材育成・確保　　（報償費等）18,626千円
- ・農業：関係機関コンソーシアム形成・運営、研修実施
- ・林業：人材育成プログラム実施、関連機器導入



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①地域における農林水産出荷額（＋16.41千万円）
②DX技術導入事業者の増加数（＋40者）
③生産者・加工業者・販売業者の連携等による付加価値向上に資する商品開発数（＋40件）
④人材育成プログラムの修了者数（＋25人）

関連URL	調整中。

事業概要【インバウンド需要獲得と海外販路開拓の好循環創出事業】

推進当初

申請者	宮城県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	582,480千円（199,256千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・インバウンド需要獲得と輸出を通じた海外販路開拓との好循環を創出し、国内市場の縮小が見込まれる中でも地域産業の発展を実現する。 **・外国人観光客の誘客**：体験型の観光コンテンツの造成により本県への誘客や滞在日数の増加を図る。 **・県産品ブランド化促進**：海外における県産品の認知度向上につながり、「食」を目的とした外国人観光客の誘客や輸出の強化につながる。 **・外国向けの販路拡大**：処理水放出の制限等に対応するため、新たな海外販路を支援し、県産品の露出機会の増加や認知度向上を図る。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

1　外国人観光客の誘客　（委託費等）　60,000千円

多賀城等の歴史や文化を活用したナイトコンテンツの造成やイベントの実施

2　県産品ブランド化促進　（補助金等）56,929千円

・出荷、販売事業者と連携したプロモーション

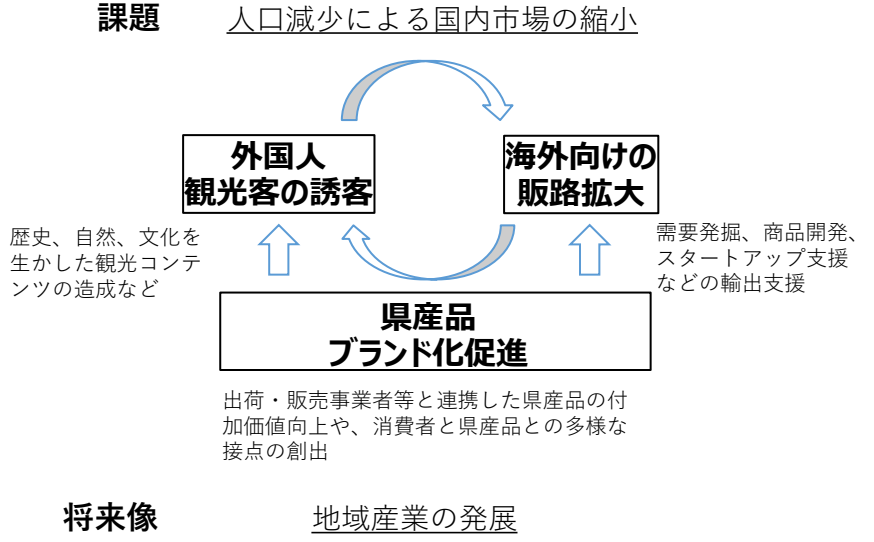
・消費者と県産品との多様な接点の創出を目的としたプラットフォームの構築やOMO物産展の開催

3　海外向けの販路拡大　（委託費等）82,327千円

・県産食品の現地需要発掘、商品開発、輸出支援

・新たに輸出に取り組む事業者のスタートアップ支援

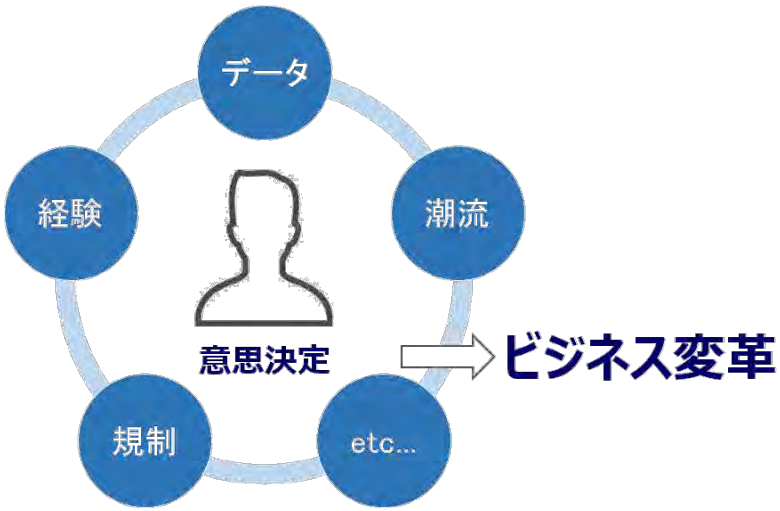
・県産工芸品等のプロモーション



KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋34億円） ②松島湾地域における観光客入込数の増加数（＋93万人） ③プラットフォームの海外アクセス割合（＋1.5%） ④海外展開した県産品数及び事業者連携による輸出バリューチェーンモデルの構築数（＋288件）	関連URL	調整中。

事業概要【産学官連携で取り組むデータインフォームド型のビジネス変革推進事業】

推進当初

申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	163,380千円（52,460千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	企業による「データ利活用」の促進に加え、データ・経験・潮流など複合的要素を意思決定に活用するデータインフォームド型のビジネス変革を推進することで、地域企業の付加価値の高い新ビジネスの創出・既存事業の高度化を実現するとともに、データインフォームド型のビジネス変革を担える学生・若者の地元定着や流入を促し、地域全体の経済的発展を実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○データインフォームドによる高付加価値ビジネス創出 ・データ利活用PBL（委託料）　10,460千円 ・ビジネス創出プログラム（委託料）　8,000千円 ・専門家による伴走支援（委託料）　10,000千円 ○データ利活用人材の創出・育成 ・教育プログラム（委託料）　7,000千円 ・啓発セミナー（委託料）　2,000千円 ○モデルケース創出に向けた実証実験支援 ・実証実験に係る経費（委託料）9,000千円 ○経営層を中心としたネットワーク構築・戦略的情報発信 ・企業間ネットワーク構築事業（委託料）2,000千円 ・戦略的情報発信（委託料）　4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（＋105人） ②ビジネス創出数（＋90件） ③データ利活用人材人数（＋660人） ④実証実験数（＋11件）	関連URL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/senryaku.html

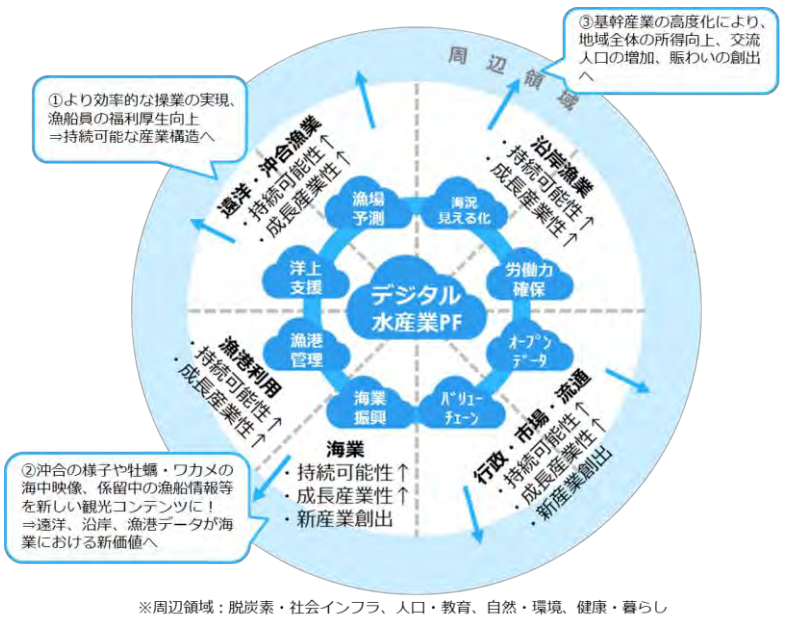
事業概要【不確実性への挑戦～全国のロールモデルとなるデジタル水産都市・気仙沼の実現～】 推進当初

申請者	宮城県気仙沼市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	417,159千円（139,145千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	デジタル化によって，本市基幹産業である漁業・水産業が抱える不確実性を軽減し，持続可能な産業構造の実現，成長産業化，新産業の創出による地域活性化を図り，水産庁選定の「デジタル水産業戦略拠点」として，全国のロールモデルとなるデジタル水産都市の実現を目指す。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

●デジタル水産業戦略拠点構想の実現
①遠洋・沖合漁船に対する洋上支援（委託料）13,115千円
…陸上から洋上への多角的なサポートに向けた調査・研究
②漁業・水産業の労働力確保（委託料）10,201千円
…漁業・水産業の担い手確保や繁閑ギャップ解消による労働力確保に向けた調査・研究
③沿岸水域の海況見える化（委託料）5,741千円
…スマート水産業を普及し，沿岸漁業の効率化と漁海況の見える化の実現に向けた調査・研究
④海業の情報発信と新たな海業コンテンツの創造（委託料）10,345千円
…タイムリーで多様な海業コンテンツのデジタルコンテンツ化に向けた調査・研究
⑤漁港管理のDX化（委託料）10,202千円
…漁港管理のデジタル化に向けた調査・研究
⑥水産データのプラットフォーム構築（委託料）9,815千円
…漁獲情報等水産データの一元的にオープンデータ化に向けた調査・研究
⑦水産バリューチェーンの構築（委託料）7,815千円
…本市漁業・水産業全体の長期的・安定的な利益構造を生み出すためのバリューチェーンの実現に向けた調査・研究
●デジタル水産業戦略拠点プラットフォームのシステム開発（委託料）54,138千円
●デジタル水産業戦略拠点構想の推進組織の運営（委託料等）17,773千円



※周辺領域：脱炭素・社会インフラ、人口・教育、自然・環境、健康・暮らし

KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+30億円） ②水産DX事業参画者数（+60事業者） ③市内デジタル人材育成数（+160人）	関連URL	https://www.kesennuma.miyagi.jp/index.html

事業概要【デジタル技術活用による食品産業振興加速化プロジェクト】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	202,097千円（54,904千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内食品事業者の所得向上が図られることで魅力的な雇用の場が創出され、食品産業を起点に地域経済全体が発展し、本県における県政運営の基本指針「新秋田元気創造プラン」の最重要課題である「人口減少問題の克服」に寄与する将来像を目指すこと。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スタッフによる県内食品事業者及び商品に関する情報収集及び県内食品事業者、食品バイヤー及び消費者の情報を一元化するデータベースを構築する。 ・データベース構築（委託料）4,800千円 ・スタッフ配置（人件費）5,134千円 ○デジタル技術を活用した情報発信やマッチング等を行うために食品バイヤーや消費者に関する情報収集などを行う。 ・情報収集のための展示会等出展（委託費）13,219千円 ○デジタル技術を活用した経営規模拡大や生産性向上を目指す事業者に対して、賃金水準及び企業価値の向上等に資する取組経費を助成する。 ・事業者支援（補助金）28,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内食料品製造業における新規雇用者数（＋18人） ②データベースに登録した食品事業者数（＋230件） ③デジタルを活用した生産性向上や事業規模拡大に繋がる事業者間連携数（＋4件）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【県内情報関連産業の競争力強化によるＤＸ推進事業】

推進当初

申請者	秋田県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	196,140千円（70,380千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・県内企業への伴走支援と優良事例の横展開による県内産業のＤＸ推進 ・ＤＸ推進に伴うデジタル需要の増大と県内ICT企業の競争力強化 ・県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中小企業のデジタル化からDXに向けた取組の支援 ・各種講習（謝金等）2,832千円 ○県内ICT企業を中核とした地域密着型コミュニティによる伴走支援と優良事例の横展開 ・伴走支援業務等（委託料等）15,980千円 ○県内ICT企業の競争力強化の支援 ・事業拡大に要する経費の補助（補助金）35,000千円 ○県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発支援 ・開発費の補助等（補助金等）5,418千円 ・行政とのマッチング支援等（委託料）11,150千円	 県内企業への伴走支援 メタバースの活用による地域課題解決	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋250人） ②県内企業の経営課題等に対するICT利活用の割合（＋10%） ③県内ICT企業における自社商品開発企業数（＋11件） ④体験型交流イベントの参加団体数（＋60団体）	関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

事業概要【秋田市シティプロモーション推進事業】

推進当初

申請者	秋田県秋田市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	63,364千円（14,638千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地方の閉塞感を取り払い、地方からクリエイティブで夢のある挑戦ができるまちへ ・若者の人の流れを生み、活気あり持続可能なまちの将来像を目指す ・ポジティブ意識とシビックプライドの醸成を図る ・住民にも、関係人口にとってもクリエイティブで魅力あるまちを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○クリエイター育成・プロモーション事業 ・エンターテイメントコンテンツ人材育成　3,842千円 ・次世代を担う小学生との取組 2,200千円 ○秋田市公式Instagramを活用した本市の魅力体感プロモーション事業 ・市内での写真展運営 3,560千円 ・WEB写真展等 1,185千円 ・企業との連携等　513千円 ○ターゲティング動画広告による本市のプロモーション3,338千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①秋田県に移住希望登録し、県外から本市に移住した世帯主が20代30代の移住者数（地域へのＵＩＪターン数）（＋103人） ②10～30代の市民調査における「秋田市が好き」（＋5%） ③ブランド総合研究所「地域ブランド調査」魅力度ランキング（135位） ④秋田県に移住希望登録し、県外から本市に移住した世帯数のうち世帯主が20代30代の割合（＋2.69%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1021674/1039762.html （効果検証） https://www.city.akita.lg.jp/shisei/hoshin-keikaku/1011478/1030699.html

事業概要【まちづくり人材育成プロジェクト】

推進当初

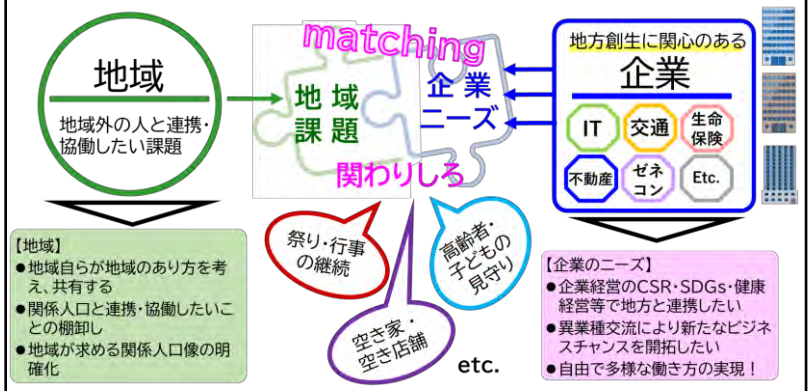
申請者	秋田県鹿角市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	57,694千円（17,820千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・ふるさとの未来を支える人材を育成する ・活気のある魅力的なまちづくりを目指し、地域を担うコア人材を創出する ・マンパワー不足を解消するため、まちづくりに挑戦する新たな関係人口の獲得を進める ・地域課題の解決に向け、多様な大学と連携を図りながら、大学研究を誘致する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地元企業での職場体験や地域との交流活動による農作業や祭り・伝統文化に触れる体験、地域の魅力発信 ・各種体験活動費用（謝礼、事務費等）3,854千円 ○まちづくり人材育成のための講座、塾、フィールドワークの開催 ・政策講義・フィールドワーク開催経費（事務費）45千円 ・かづの未来アカデミー開催経費（謝礼、事務費等）336千円 ・鹿角の未来創造わげもの塾開催経費（謝礼、事務費等）182千円 ○外部人材による地域課題解決のための講座、ツアー、交流会の実施 ・かづコトアカデミー開催経費（委託料）9,292千円 ・地域課題解決を図るツアー実施費用（委託料等）2,138千円 ・関係人口の交流（拠点・オンライン環境）支援費用（委託料等）1,190千円 ○大学連携による課題解決のための共同研究及び実証活動の実施 ・まちづくり人材育成の共同研究費用（謝礼）40千円 ・まちづくり実践・実証活動費用（補助金、事務費）743千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋174人） ②市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思う市民の割合（＋16.56%） ③市民の力で新たに生み出されたまちづくり事業数（累計）（＋15件） ④まちづくり実践活動（＝地域課題解決）に携わる関係人口数（+105人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制、効果検証） https://www.city.kazuno.lg.jp/shisei_machizukuri/shiikikasseika/6/5907.html

事業概要【高度外国人材等受入促進事業】

推進当初

申請者	秋田県仙北市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	28,512千円（8,778千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・仙北市ではサテライトオフィス誘致により市内に進出したIT企業等の成長や安定経営のため、国家戦略特区である優位性を活かして海外の優秀なＩＴエンジニアの雇用等を支援する。 ・市内に高度外国人材等が集まり、彼らに活躍と成長の機会を提供し、地域経済が活性化することで、地元の有望な若年層に新たな雇用の場、創業機会等の提供を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○湖・スキー場等の豊かな観光資源や東京とのアクセスの良さ等を活かして、高度外国人材等の市内招聘を促進するため、国内の外国人ITエンジニアや留学生等の高度外国人材等のニーズや市内不足サービスの調査や、市内事業者等の高度外国人材等に関するニーズ調査等を行う。（委託料）3,045千円 ○国家戦略特区の優位性を活かし、外国人材受入企業等の各種相談や情報提供、外国人を含めた起業・開業の相談・対応支援を総合的に行うグローバル雇用・創業ワンストップセンターを企画・設置する。 （委託料）5,233千円	内閣府 国家戦略特区 National Strategic Special Zones 仙北市 SEMBOKU CITY 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJ ターン数（＋45人） ②高度外国人材等視察数（＋24人） ③市内事業者への紹介数（＋45件） ④ワンストップセンター利用数（＋45件）	関連URL	交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=semboku-city-iot

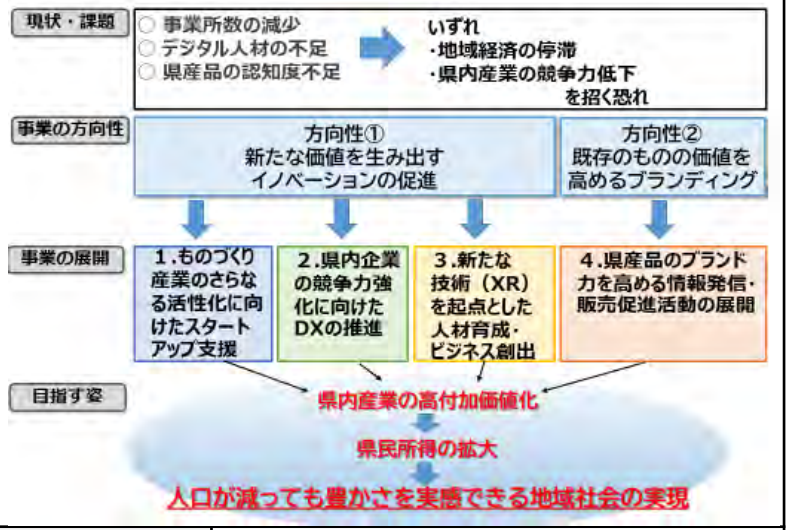
事業概要【地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト】 推進当初

申請者	山形県ほか６自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	444,226千円（143,841千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域活力の維持・向上に向け、地域の課題解決等に必要な「活動力」を、地域内外を問わない多様な主体から確保する。 ・都市部企業等の活力を地方で有効に活用できる流れをつくる。 ・関係人口や移住者などを受け入れ、ともに地域活力を創造するための地域側の基盤を強化する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◎関係人口等の拡大・創出・深化 ・地域等と都市部企業等とのマッチング、協働等への支援 43,091千円 ・副業・兼業人材と県内中小企業とのマッチング等 18,832千円 ・学会や大会等の誘致支援、県内での暮らし体験事業による関係人口等の裾野拡大 59,445千円 ◎地域の新たな担い手の受入体制強化 ・関係人口や移住者などの受入れに向けた研修会など 18,973千円 ・外国人関係人口創出拡大等に向けた機運醸成 3,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①山形県へのUIJターン者数（県移住相談窓口を通じて移住した人数）（＋52人） ②事業により創出した関係人口数（＋587人） ③事業により創出した交流人口数（＋22,997人） ④事業により関係人口を受け入れる体制が整った地域・団体等数（＋244地域・団体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/shingikai/index.html

※山形県、鶴岡市、酒田市、寒河江市、尾花沢市、朝日町、飯豊町の広域連携事業

事業概要【イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業】

推進当初

申請者	山形県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	429,834千円（144,228千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・本県の強みであるものづくり産業のさらなる活性化を図る ・DXの推進による県内企業の競争力強化を図る ・新たな技術を起点とした人材育成・ビジネス創出を図る ・戦略的なブランドプロモーションにより県産品の認知度向上・販売促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本県ものづくり産業の更なる活性化・新たな担い手の創出を図るためのスタートアップ支援（補助金等）12,422千円 ○山形県DX推進ラボを核とした、企業に対するＤＸへの働きかけ・不足するデジタル人材の養成事業を展開（委託料等）22,688千円 ○XRを起点とした若者への新たなコミュニティの提供、XR技術をビジネスに利活用できる人材の育成、XR関連産業新興に向けた基盤構築（委託料等）73,732千円 ○山形県ブランドへの好感・共感の醸成に向けた、県産品ポータルサイトやリアルでの情報発信及び物産展の開催による販売促進（負担金等）35,386千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①山形県における新規雇用者数（＋90人） ②一人当たりの県民所得（＋350千円） ③本事業を通して新たにDX認定事業者に認定された県内企業数（＋12社） ④物産展開催会場総数（＋3件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.pref.yamagata.jp/kensei/keikaku/shingikai/index.html

事業概要【山形市ならではの文化のアップデートによる地域経済活性化事業】 推進当初

申請者	山形県山形市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	195,064千円（59,022千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	山形市ならではの世界的に評価された多彩な文化を有する強みを活かして、文化から新たな経済的価値（商品、サービス、人材、事業）を生み出すムーブメントを起こし、付加価値の高い多様な産業の集積を図ることで、若者や女性、移住者にとって魅力ある労働・生活環境を創出し、人口の増加につなげ、都市の持続可能性を高めていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①山形市の文化を知ってもらうためのスクール事業（委託費）5,369千円 ②文化活動と学びのプラットフォーム形成事業（会議開催費）513千円 ③若者の活動支援事業（委託料）5,410千円 ④若者活躍推進プロジェクト事業 ・ワークショップ（委託費）4,115千円 ・DX研修（委託費）7,473千円 ・DX推進補助（補助金）13,200千円 ⑤山形市ならではの文化から経済的価値を生み出すアイデアコンペ開催事業（委託費）2,978千円 ⑥クリエイティブシティ見本市事業（委託費）3,854千円 ⑦メディアリンク事業（委託費）16,110千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①山形市の人口増減数（▲3,294人） ②文化・産業の基盤強化に係る事業へ参加した人数（＋500人） ③事業を通じて文化から生み出された経済的価値の数（＋100件） ④見本市出展者の売上高（＋15,000千円）	関連URL	https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

事業概要【歩いて、住んで、幸せになるまち「YAMAGATA」魅力アップ事業】

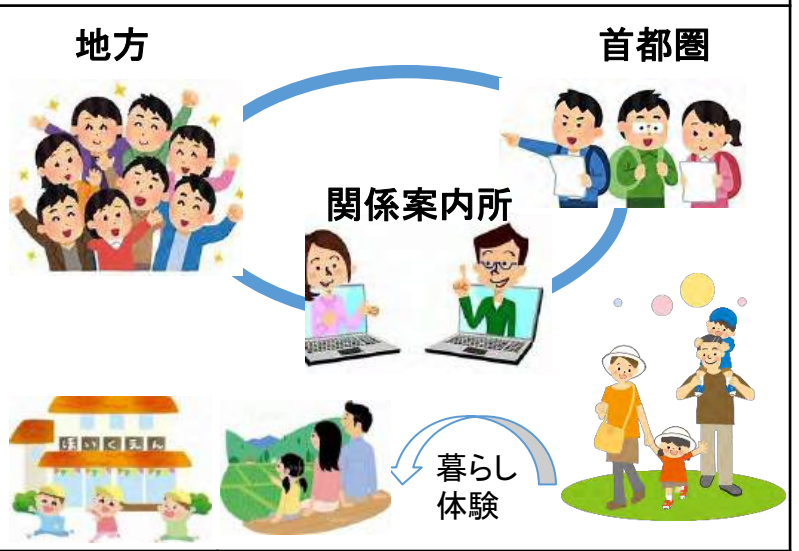
推進当初

申請者	山形県山形市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	353,226千円（155,664千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・中心市街地の回遊性、観光地間の回遊性の向上により、観光客の増加を図る ・観光客等の増加による地域経済の活性化を図る ・地域経済の活性化により新たな雇用機会の創出、雇用者所得の増加を図る ・雇用機会の創出、雇用者所得の増加により、若者定着の促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○国の登録有形文化財を有し、戦前まで花街として賑わいを見せた「花小路エリア」のリノベーションによるエリア再興 ・まちづくり計画策定（委託料） 10,000千円 ・旧料亭リノベーション実施設計（委託料） 46,156千円 ○慶應義塾大学SFC研究所及びJR東日本と連携した「共創ラボ」による社会イノベーションの取組により、日本一の観光案内所の整備とイベント開催、日本一の観光案内所を中心にしたデジタルネットワーク形成 ・「共創ラボ」運営（委託料） 5,000千円 ・多言語コミュニケーションツール借上げ（借上料） 1,180千円 ○「花小路エリア」リノベーション事業の供用開始に向けたプレイベント及び中心市街地回遊型イベントの開催 ・イベント開催（委託料） 17,808千円 ・花笠祭り提灯製作（負担金） 10,000千円 ○観光客誘客を目的とした国内外に向けた情報発信・プロモーション ・Webサイト等を活用した情報発信（委託料、役務費） 4,320千円 ・海外情報発信プロモーション（消耗品費、印刷製本費、役務費、委託料） 32,424千円 ○次年度以降の事業のブラッシュアップに向けた事業効果検証 ・ビッグデータを活用したデータ分析（委託料） 10,000千円	 国の登録有形文化財である旧料亭	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋300億円） ②外国人観光客入込数（＋15,000人） ③イベント参加者数（＋4,500人） ④情報発信サイト等閲覧数（＋300万ＰＶ）	関連URL	https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

事業概要【持続可能な繊維関連産業の創出を目指す米沢ファッションベースキャンププロジェクト】 推進当初

申請者	山形県米沢市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	14,400千円（5,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・繊維（洋装）関連企業の国際社会と調和を図りながら長期的・持続的に生産性を向上させる ・消費者ニーズを捉えた製品開発、ブランド力及び販路開拓の強化を推進する ・基幹産業である繊維関連産業の高付加価値化の実現を目指す ・産業観光等分野との連携強化により地域資源の活性化を図り、「ものづくりのまち米沢」の価値の向上につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	伝統的な繊維関連の洋装企業がデザイン、生産、ブランド力の向上等の面で連携し、独自のトレーサビリティ制度及び新たな現代ファッションの拠点形成を行うことで、サステナブルな次世代繊維産地を目指す。 〇事業全体のコーディネート業務委託　3,000千円 〇情報発信事業費　1,400千円 （ＨＰ・動画デザイン作成・ＳＮＳ配信等） 〇勉強会・セミナー等費用　440千円 （産地ブランド力向上、トレーサビリティ制度、 ロジスティクス・サプライチェーンの基礎について） 〇事務費　160千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋3人） ②本プロジェクトへの参画企業数（＋3社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【地域の未来を共に描く若者・子育て世代の関係人口創出・拡大推進事業】 推進当初

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	18,809千円（7,188千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「首都圏から温海地域へ新しい人の流れ」をつくり、さらに交流人口と関係人口の創出により地域の活性化を図る。 ・地域内外の若者が交流し、若者が継続して地域に関わる仕組みの構築を図る。 ・首都圏の子育て家族の温海地域での暮らし体験を促進し、子育て世代と地域の関わりづくりを図る。 ・若者・子育て世代から選ばれる地域を目指し、移住・定住・地元回帰の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【若者ネットワーク創出事業】 〇他の地域で地域づくりに取り組む若者を講師に実践事例の学びや関係人口創出に取り組む先進地視察の研修会を開催 ・若者地域づくり研修費用　144千円 〇地域内外の若者によるオンライン関係案内所の立上げ運営や企画イベント実施による関係人口創出・拡大 ・温海地域関係人口拡大推進事業(補助金)　854千円 【子育て世代の関係人口創出事業】 〇首都圏の子育て家族の関係人口創出を目的とした暮らし体験の提供 ・地域紹介、受け入れコーディネート(委託料）等　6,190千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者(18-35歳)のUIJターン数(＋30人) ②地域内外の若者の交流イベント参加者数(＋120人) ③保育園留学参加家族数(＋30世帯)	関連URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

事業概要【中心市街地活性化アクセラレーション事業】

推進当初

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	31,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・空き店舗コーディネーターの配置により、空き店舗所有者と借り手のマッチングを強化し、遊休不動産の利活用促進と魅力ある個店の誘致を進め、中心市街地の商業・サービス機能の向上を図る。 ・多様なイベントの継続的な開催により、まちなかの賑わいづくりを進め、中心市街地のコミュニティ機能や活力の向上を図る。 ・将来的には、中心市街地が抱える居住、観光、交通対策などの多くの課題解決に取り組むエリアマネジメント機能をもつ組織への発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○空き店舗コーディネーターによる空き店舗情報のデータベース化、物件オーナーと借手とのマッチング等のワンストップ対応 ・コーディネーター人件費、活動経費、宣伝広告費、報償費等 6,000千円 ○まちなか広場を活用した賑わいイベントの定期的・多発的な開催 ・イベント企画・運営、情報発信等（委託料）3,000千円 ○中心市街地で開催される自発的な賑わいイベント創出への支援 ・イベント実施にかかる経費支援（補助金）1,000千円	 鶴岡市市街地中央に位置する鶴岡銀座商店街。 普段は人通りが少なく、活用の進まない空き店舗も多い。	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地の空き店舗数（▲15軒） ②空き店舗利用マッチング件数（+27件） ③イベント動員人数（+12,000人）	関連URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

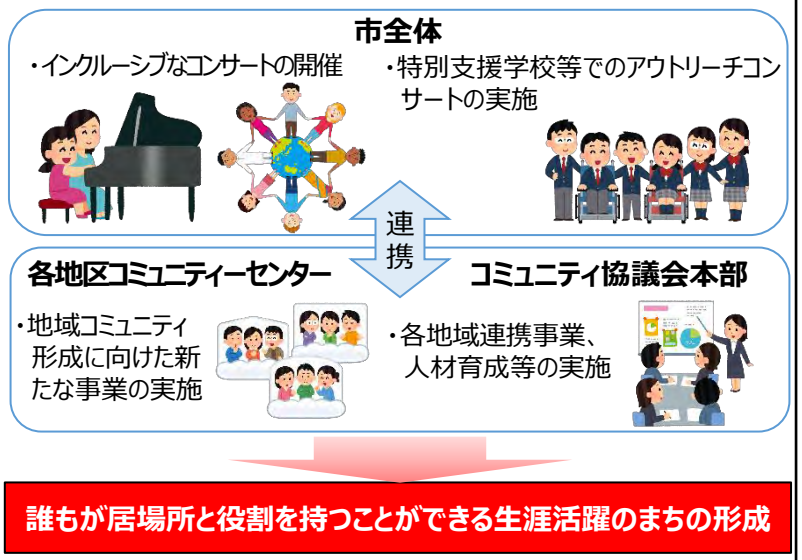
事業概要【中心市街地のにぎわい創造としごと創出事業】

推進当初

申請者	山形県村山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	47,720千円（15,640千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・若年層や移住者が住みたいと思えるような仕事環境を整える。 ・市内の空き店舗と起業創業を考える事業者とのマッチング。 ・「Link MURAYAMA」と「甑葉プラザ」を中心に市内事業者、新規事業者とともに新たな仕事の創出、新たな雇用の創出を生み出し、中心市街地の再開発。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中心市街地雇用創出事業 空き店舗等を活用した新規起業事業者とのマッチングと、市内企業とともに新しい仕事や雇用の創出 ・空き店舗等利活用促進（委託料）1,000千円 ・市街地活性化事業（補助金）1,100千円 ○UIターン促進事業 市内企業の販路開拓を図り、新たな仕事と雇用の拡大 ・ビジネスマッチング事業（負担金）3,500千円 ○移住・定住促進事業 首都圏等からの就職または起業者の不安を解消し、移住・定住につなげる ・お試し居住事業（委託料）250千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（＋75人） ②企業支援効果額（＋27,000千円） ③空き店舗を利活用した起業者数（＋10人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.murayama.lg.jp （効果検証） https://www.city.murayama.lg.jp

事業概要【生涯活躍のまちづくりに向けた地域コミュニティ形成推進事業】

推進当初

申請者	山形県長井市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	185,390千円（51,248千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域コミュニティ形成を促進し、誰もが居場所と役割を持つことができる生涯活躍のまちの実現を図る。 ・コンサート等を通じて市民へインクルージョンの考え方の浸透を図る ・新たな地域づくり計画に基づき、公民館時代の事業から脱却した新たな事業の展開を各コミュニティセンターで行う		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな地域づくり計画を踏まえ、地域振興分野、健康分野、防災・安心安全分野の事業を各コミュニティセンターにて実施。コミュニティ協議会本部では人材育成等を実施 ・各コミュニティセンターにおける事業費：10,134千円 ・コミュニティ協議会本部事業費：12,272千円 ○障がい者や外国人等を招待しインクルーシブなコンサートの開催や、市内福祉施設や特別支援学校でのアウトリーチコンサートの実施 ・音楽コーディネーター人件費：4,000千円 ・コンサート等出演者への出演料及び費用弁償費：9,369千円 ・コンサート出演団体への出演手数料：8,723千円 ・コンサート等のPR及びプログラムに係る費用：2,300千円 ・コンサート等の舞台演出等に係る経費：2,500千円 ・コンサート開催時における委託費：1,250千円 ・コンサート等開催に係る消耗品費：700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJターン数（＋123人） ②１公演当たりのコンサート来場者数（＋650人） ③コミュニティセンター事業参加者数（＋18,474人）	関連URL	（効果検証） https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/2/3/1/chihousousei/chihousouseikanrenkouhukin/index.html

事業概要【若者から100歳まで全世代が活躍できる健幸まちづくり事業】

推進当初

申請者	山形県南陽市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	106,114千円（28,583千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少に歯止めをかけるため、“健康都市”をまちのコンセプトに掲げ、あらゆる世代の誰もが、関わりや交流を持つ場所や仕掛け、活躍する機会をつくる。そして、その魅力を市民からPRすることで、“選ばれるまち”として、交流人口・関係人口を増やし、定住人口の維持・増加につなげる。そこで、本事業では、まちの魅力向上にむけて、中長期的なハード整備の効果を高め、かつ短期的な効果が期待されるソフト事業として、“インセンティブ健康施策”と“コミュニティ活性化施策”をパッケージ化させた大規模なポピュレーションアプローチ事業を実施する。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

◆ウォーカブルをを鍵としたコミュニティ活性化施策

・生涯学習活動・観光イベント・スポーツ運動教室、ウォーキングラリー等の企画

・オリンピアンによるスポーツPR、定住促進むけたシンポジウム開催

◆子育て×運動・健康によるウエルネス向上策

・商工会等と連携した市内企業に対する健康施策への参加促進

・子育て世代（特に女性）に対するコンディショニング教室への参加促進

◆まちの魅力発信力の強化

・市民活用促進・ヘルスリテラシー向上にむけた健幸アンバサダー養成

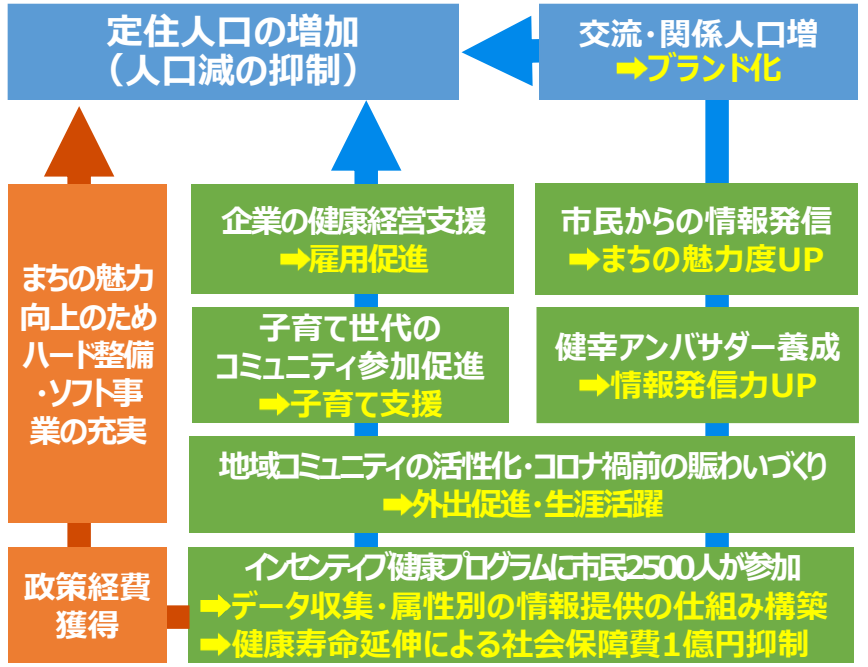
・参加者2500人による本市の魅力の再認識と情報配信

◆健幸まちづくり施策を促進させるためのインセンティブ健康プログラムの実施

・若者から高齢者まで市民1割2500人が参加を目標に実施

【経費：令和6年度　28,583千円】

コミュニティ活性化施策（スキーム構築・事業計画策定）　3,850千円
情報発信むけた基盤構築　15,619千円
住民の情報発信力の強化　842千円、事業評価　2,475千円
消耗品・その他諸経費・拠点整備他　5,797千円



KPI

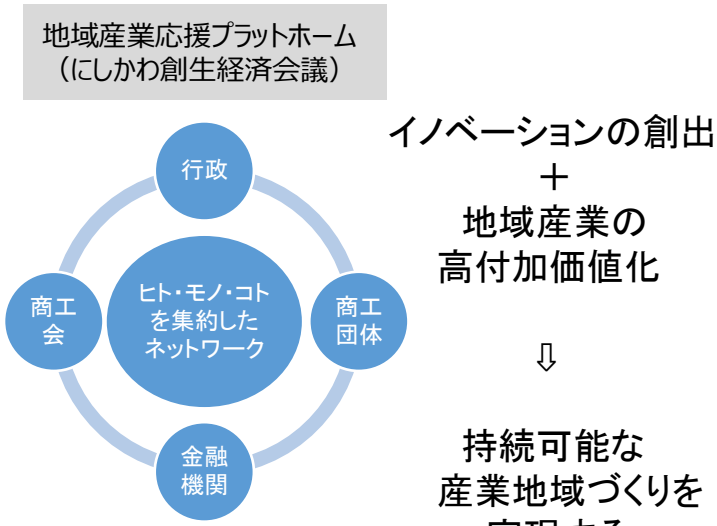
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①地域の人口・世帯の減少数（▲470人）
②健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数（＋200人）
③インセンティブ健康施策の参加者数（＋2,500人）

関連URL　調整中

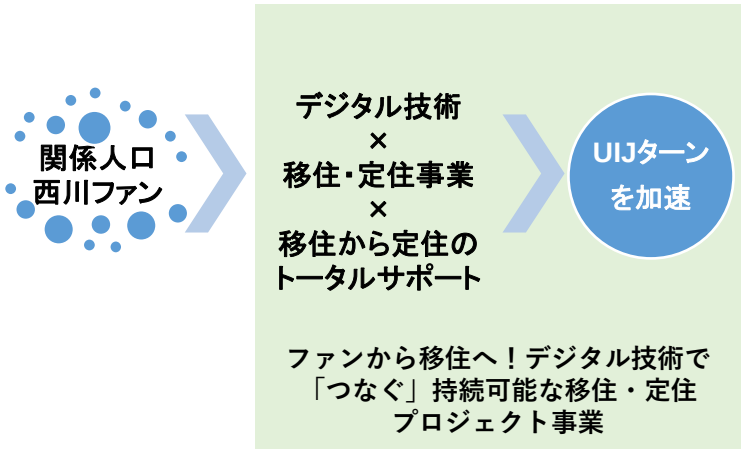
事業概要【共に前へ！まちの強みとデジタルを融合させた選ばれる産業地域の構築に挑戦】

推進当初

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	218,665千円（75,840千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材の確保を図る ・地域で始めたい、学びたい、手がけたいなど、西川町でチャレンジできる環境づくりを整備する ・地域が抱える課題解決を図るため、都市圏の企業ノウハウや高度スキル人材とのマッチング機会を創出する ・町内事業者のデジタル化及びDXを推進し、経営のパワーアップを後押しする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○次世代の地域産業を担う人材の掘り起こし、人材育成 ・ニーズ調査、セミナー開催（需用費、役務費、委託料、負担金等）4,500千円 ・創業起業スタートアップへの支援等（需用費、役務費、委託料、負担金）15,500千円 ・デジタル人材の育成（需用費、使用料、委託料、負担金）1,500千円 ・短期ワーカー、外国人留学生等の受入支援（費用弁償、委託料、負担金）8,000千円 ○外部人材等とのマッチングに要する経費 ・企業及び人材とマッチング支援（需用費、役務費、委託料、負担金等）6,000千円 ・仕事と暮らし体験の受入れ（費用弁償、需用費、委託料、負担金等）3,600千円 ○町内事業者のデジタル化及びDXの推進 ・DXのニーズ調査、デジタルを活用した企業情報の発信（委託料、負担金等）6,690千円 ・デジタル実装体験の開催（需用費、使用料、委託料、負担金）8,550千円 ・新商品開発等への支援（需用費、役務費、委託料、負担金）18,500千円 ・都市圏の企業との連携共創に対する支援（需用費、委託料、負担金等）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業者数（＋25人） ②本事業による育成人材数（＋50人） ③本事業による成約件数（＋5件） ④本事業によるプロフェッショナル人材とのマッチング件数（＋35件）	関連URL	https://www.town.nishikawa.yamagata.jp

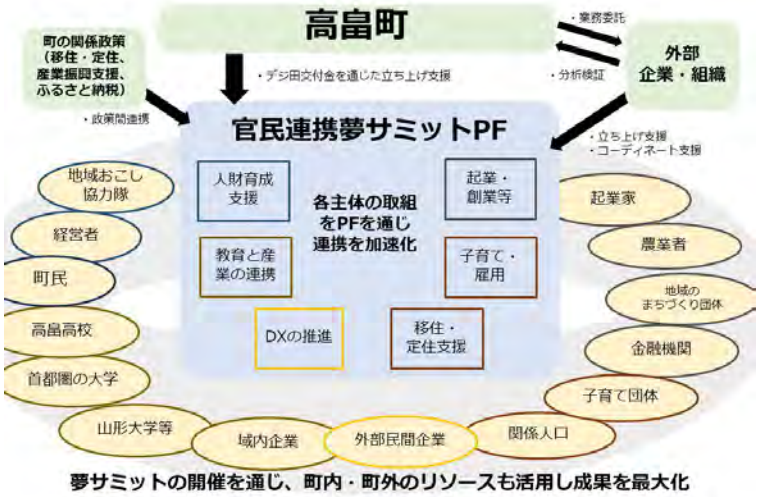
事業概要【ファンから移住へ！デジタル技術で「つなぐ」持続可能な移住・定住プロジェクト】

推進当初

申請者	山形県西川町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	163,451千円（56,329千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 関係人口を移住につなげるきっかけづくりを行い、移住者目線に立ったワンストップで移住までをフォローできる体制を構築し、UIJターンを促進する。 • 移住希望者が溶け込みやすい地域性を育むため、デジタル技術を活用した「地域づくりや文化・スポーツ等の事業」を展開し、コミュニティ活動の再生・強化を図る。 • 全世帯配布タブレット等を活用した関係人口でも主役となり得る新たなデジタルコミュニティの形成を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関係人口の移住可能性調査（負担金）2,640千円 ○民間人材と連携した移住支援スキームの構築（負担金）8,174千円 ○地域のイベントや交流プログラムの開催等による移住希望者のコミュニティづくり支援（負担金）8,473千円 ○「デジタル推進メンバーズ」による「タブレットスクール」の開催支援・WIFI整備（負担金）10,363千円 ○地域や自宅に居ながら参加できる地域コミュニティの形成（負担金）10,694千円 ○デジタルを活用したeスポーツや文化芸術等の関係人口を巻き込んだイベントの開催（負担金）9,343千円 ○移住後のサポートシステムの構築（負担金）2,046千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJターン数　（＋30人） ②本事業を通じて関係人口がUIJターンした人数（＋19人） ③地域のコミュニティ活動数（＋15回） ④デジタル技術への苦手意識がなくなった高齢者の割合（＋90%）	関連URL	調整中

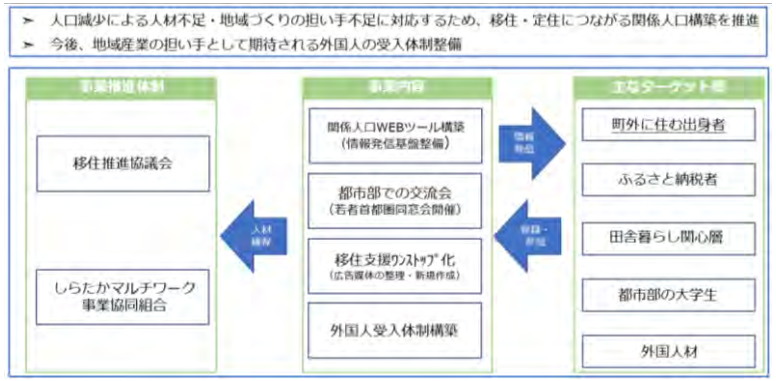
事業概要【人材育成を軸とした夢サミットプラットフォームによる官民協働のまちづくり事業】

推進当初

申請者	山形県高畠町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	206,000千円（44,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 高畠夢サミットの開催と夢サミットプラットフォームの設立（取組①） • 地域課題の解決を図る起業・創業の実現と経営人材の育成（取組②） • 高畠高校の教育の魅力化と産業、町民、高畠ファンとの連携（取組③） • 官民連携の子育てネットワークの環境整備と社会全体で子育てを応援する機運の醸成（取組④）		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○高畠夢サミットプラットフォーム構築事業（取組①） 委託料、謝金、請負：21,000千円 ○経営人材・起業家の育成支援（取組②） 委託料：10,000千円 ○課題解決型ビジネスのパイロットプロジェクトの実施 補助金：3,000千円　補助率1/2（上限3,000千円） ○課題解決型社会実験の実施　補助金：3,000千円（定額） ○中高生が地域とつながる学びの場の創出（取組③） （１万人プロジェクトの実施）　委託料、謝金：3,000千円 ○まちまるごと子育て推進事業（取組④） 謝金、委託料、人件費等：4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業実施期間中の地域の人口減の緩和（＋80人） ②課題解決型起業創業新規プロジェクト数（＋13件） ③夢サミット参加者数（＋200人） ④中高生による学びのヒアリング実施件数（＋1万件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

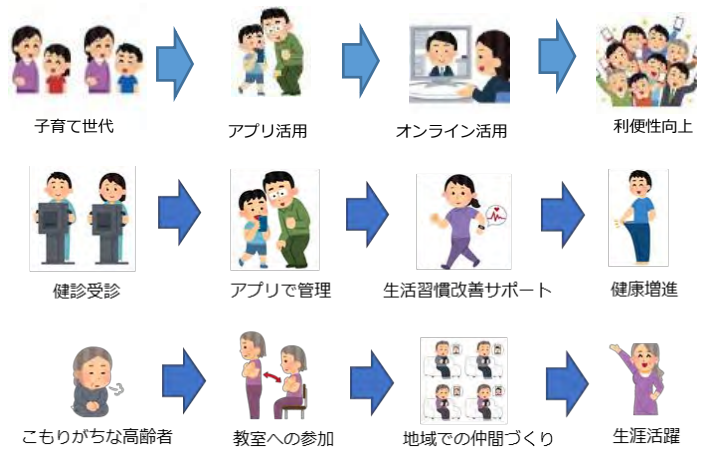
事業概要【～新たな人の流れで町を活性化～　多様な人材還流促進事業】

推進当初

申請者	山形県白鷹町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	50,500千円（15,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ
目的（効果）	移住者として本町の定住人口となるUIJターンはもちろんのこと、定住には至らないものの、本町に関心を持ち、継続的に多様な形で関わる関係人口を増加させる。それら関係人口が実際に町と関わって地域住民と交流を重ねるうえで、地域課題の解決や地域の担い手としての役割を担うというような新しい人の流れを形成する。それらの動きを通じ人口減少によって機能低下した町を活性化する新しい人材として活躍できる環境を構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○情報発信基盤整備と都市部等の関係人口が町に関わり続ける仕組み構築（委託料） ・情報発信基盤整備2,000千円 ・登録ツールの構築1,000千円 ・都市部における若者や町出身者との交流イベント開催 2,000千円 ○移住支援のワンストップ窓口（一元管理）化と移住体験の充実（委託料） ・移住支援のワンストップ窓口化1,500千円 ・よりリアルな移住体験の提供　3,500千円 ○外国人の受入体制整備（委託料） ・受入体制構築に向けた基礎調査5,000千円	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋15人） ②本事業で実施する関係人口登録者数（＋60人） ③本事業で実施する移住体験者数（＋８人） ④町内に住民票を有する外国人数（＋１０人）	関連URL	https://www.town.shirataka.lg.jp/1370.htm

事業概要【子育て支援・健康応援推進事業】

推進当初

申請者	山形県白鷹町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	33,500千円（7,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• 地域産業、地域文化を支える人材の確保に向けては、町内の子育て世代や生産年齢人口が、さらには高齢者が活躍することが必要となっている。その基盤となるのが健康であることから、子どもから高齢者までの全町民が自分に合った健康づくりを実践できる仕組みを構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○子育て支援アプリ機能拡張　（1,500千円） ○自身の健康データ利活用デジタルツール導入（1,500千円） ○町立病院と連携した人間ドック受診から生活習慣改善トータルサポートプログラム構築（1,500千円） ○SNSでの精密検査受診勧奨、生活習慣改善指導フォローアップの仕組み構築（1,000千円） ○自助意識の醸成・活躍するボランティア・高齢者等の支援の仕組み構築（2,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数（▲1,252人） ②この町でこどもを産み育てていきたいと思う人の割合（＋12%） ③要介護認定率（▲0.5%） ④運動習慣者の増加率（+5%）	関連URL	令和６年10月公表予定

事業概要【電動モビリティ地域共創コンソーシアム　ものづくりキャリア開発プロジェクト】

推進当初

申請者	山形県飯豊町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	8,995千円（2,999千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・小学生から高校生のキャリア開発を支援し人材育成を行い、本町の主要産業である製造業の担い手を確保し持続可能な産業基盤の構築を目指す。 ・本町の貴重な資源である電動モビリティシステム専門職大学への進学を促進し「地元で学び、働き、暮らす」循環を生み出すことで、地域内定着を促進し若年層の町外転出を抑制する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ものづくりキャリア開発プロジェクト】 〇ものづくり×デジタル技術実践塾（仮称） ・ものづくりや情報通信技術などのデジタル化社会を支える人材の育成及び確保を図るため、小学生から高校生を対象としたキャリア開発を支援する事業を委託して実施。（委託料）2,500千円 〇企業見学ツアー（仮称） ・参加者移動用バス使用料、資料代など （委託料）499千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本町へのUIJターン者数 （＋9人） ②ものづくりキャリア開発プロジェクト参加者数 （＋60人） ③ものづくりキャリア開発プロジェクト参加者のうち、電動モビリティシステム専門職大学への進学者数 （＋13人） ④電動モビリティ地域共創コンソーシアム加盟企業数 （＋9社）	関連URL	https://www.town.iide.yamagata.jp/012/mobility_consortium_matome.html

事業概要【魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業】

推進当初

申請者	福島県ほか３自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	131,623千円（55,048千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少・高齢化が進む中、サービス産業が衰退し、それが若年層の減少を加速させるという負のスパイラルを回避する観点から、鉄道沿線を軸に都市機能が集積するという構造を活かして、沿線の市町村間で機能を分担・連携する「コンパクト＋ネットワーク」を構築し、住民が参画した地域社会を形成することにより、持続可能な地方創生を実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○駅と鉄道を活かした地域活性化を図るためのプレゼン大会と沿線住民の関心を高めるためのイベントを開催する。また、広報媒体等による情報発信を行う。加えて、路線ごとの地域活性化に必要なデータを収集するため、調査を実施する。 ・水郡線全線開通90周年記念イベント（委託料）11,736千円　・webサイト構築（委託料）4,500千円　・特集記事掲載（委託料）3,839千円　・PR動画制作（委託料）5,192千円 ・鉄道輸送の高度化に向けた検証事業（委託料）11,913千円 〇交通結節点機能強化に向けた鉄道駅利用状況調査（委託料）3,057千円 ○交通空白地解消に向けたモビリティサービス検討調査（委託料）3,751千円 ○乗車機会を提供するための水郡線全線開通90周記念団体臨時列車を運行（委託料）1,000千円（印刷費）60千円 ○地域運営ワーキンググループの開催、住民の受入れ意識の醸成、泉郷駅前を含むまちなか賑わいづくり（委託料）10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲6,389人） ②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合（＋4.50%） ③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合（＋40.00%） ④地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校在学中）（＋70.00%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市：調整中 石川町：https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/index.html 玉川村： https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/000054.html （効果検証） 福島県：調整中 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 石川町：調整中 玉川村：調整中

※福島県、郡山市、石川町、玉川村の広域連携事業

事業概要【デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	196,995千円（66,355千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・デジタル技術の製造現場への導入により、働き方改革を推進し、ものづくり企業の魅力向上を図る。 ・中小ものづくり企業が働きやすい企業に成長することにより、女性・若者の新規就労者が増加し、活躍することで地域の魅力の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○製造業における働き方改革モデルの創出 ・セミナー、ワークショップの開催及びコーディネータ、アドバイザーを派遣　（委託料）15,730千円 ○地域産業の魅力向上支援 ・日本酒の製造工程をデジタル技術で見える化するIoTセンサデバイス及びデータ共有システムを試作開発 （需用費）5,150千円、（役務費）300千円、 （備品購入費）20,000千円 ○働き方改革高度化支援 ・デジタル技術の試験導入と効果検証が手軽にできる「試作キット」の開発及び実証ラボの整備 （需用費）6,679千円　、（役務費）3,863千円　、 （備品購入費）13,189千円、（その他）1,444千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+571千円/人） ②セミナー、ワークショップ、成果発表会等の参加者数（+370人） ③デジタル技術導入支援数（累計）（+300件） ④デジタル技術の導入による働き方改革・改善件数（累計）（+30件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/ （効果検証） 令和７年８月公表予定

事業概要【地域課題解決プロジェクト創出事業】

推進当初

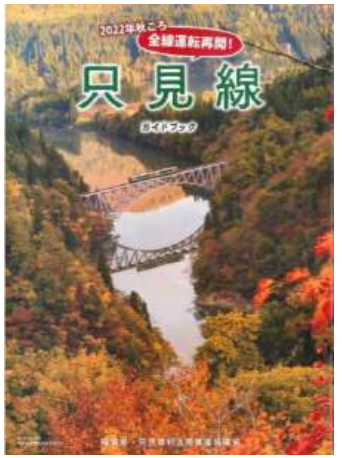
申請者	福島県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	405,531千円（135,177千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・多種多様な人材が自分らしい働き方をできる新たなしごとの創出 ・地域課題を解決する新たなチャレンジ人材の確保 ・新規性・成長性をもった事業者と地元企業の連携による新事業創出		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新規性・成長性のある事業者の創出・意識醸成 ・ウェブサイトの構築・運営（委託料）4,995千円 ・ピッチコンテストの開催（委託料等）11,333千円 ・新規プロジェクト立ち上げ支援（委託料等）20,456千円 ○地域課題解決に向けた新規チャレンジ人材育成 ・県内等の大学・研究機関の事業化支援（委託料等）42,857千円 ・学生へのチャレンジ支援（委託料）1,298千円 ・女性の創業支援専門人材育成(委託料等）6,621千円 ○新規性・成長性のある事業者の成長支援と県内企業との連携支援 ・県内での事業拡大に向けた成長支援（委託料等）25,040千円 ・新規性・成長性のある事業者と地元企業のマッチング支援（委託料等）22,577千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地方へのＵＩＪターン数（+240世帯） ②新規プロジェクト立ち上げ件数（+9件） ③地域課題解決事業と県内企業等のマッチング件数（+22件） ④意識醸成に向けたコンテスト参画数（+270人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/ （効果検証） 令和７年８月公表予定

事業概要【桜を起点としたデジタル誘客・消費喚起事業】

推進当初

申請者	福島県田村市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	57,715千円（19,315千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・「観光のまち」を取り戻すための桜を起点とした誘客促進による消費喚起を図る ・原発事故後に一度は失われたシビックプライドの醸成に向けた市民参加型の観光の組成 ・インバウンド誘客に向けた受け入れ環境の強化を見据えた多言語対応デジタルパンフレットの整備 ・市内観光周遊の活発化に向けたデジタルスタンプラリー等による周遊促進、消費喚起		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○桜を起点としたデジタルスタンプラリーを実施し、市内の周遊促進の企画実施 ・アプリ開発・システム構築（委託料）1,500千円 ・特設サイト構築費（委託料）300千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）950千円 ○インバウンドの受け入れ環境整備に向けたデジタルパンフレット整備、 現物パンフレットの整備 ・企画・設計（委託料）130千円 ・既存ポータルサイト改修・開発（委託料）3,100千円 ・既存ポータルサイト多言語翻訳費（委託費）400千円 ・ディレクション・管理（委託料）1,370千円 ・高齢者向け現物パンフレット作成（委託料）1,000千円 ○台湾に向けたインバウンドプロモーション ・台湾需要調査（委託料）3,000千円 ・企画・設計（委託料）3,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）4,000千円 ○閑散期における誘客促進に向けたフォトラリーの実施 ・企画・設計（委託料）165千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額　（+9,000,000円） ②台湾人旅行客入込数（+100人） ③デジタルスタンプラリー消費額（+270,000円） ④デジタルスタンプラリー・フォトラリー参加者数（+600人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_1_1.html

事業概要【半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光Ｘ（エックス）圏創生プロジェクト】 推進当初

申請者	福島県只見町ほか４自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	131,667千円（23,145千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・八十里越街道・只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域観光経済効果を増加する。 ・広域観光連携による地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織を作る。 ・観光交流人口⇒関係人口⇒移住定住人口のサイクルを増加させ、人口減少による課題を解決する。 ・観光・経済・移住・環境教育の連係により人材の育成と確保を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○只見町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業2,600千円 ・只見線魅力化・魅力発信事業3,000千円 ・只見線ビュースポット整備事業（ハード）1,000千円 ○南会津町 ・八十里越街道開通PR強化事業2,000千円 ○金山町 ・八十里越街道開通PR強化事業1,540千円 ・会津川口駅・只見線沿線魅力化事業3,350千円 ○三条市 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業5,355千円 ○魚沼市 ・只見線魅力化・魅力発信事業4,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額　（＋11,944,080千円） ②只見線区間平均通過人数（＋84人） ③移住者UIターン者数（＋223人） ④エリア内連携コンテンツ数（＋8件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 只見町：調整中 南会津町：調整中 金山町：調整中 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：調整中 （効果検証） 只見町：調整中 南会津町：調整中 金山町：調整中 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：調整中

※只見町、南会津町、金山町、三条市、魚沼町の広域連携事業

事業概要【「塙町特産品」を活用したFOODY(食を目当てに旅行する富裕層)をベースとした広報・マーケティングによる来町者数増・地域経済活性化事業】

推進当初

申請者	福島県塙町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	131,600千円（33,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	• 「魅力ある塙町特産品を塙町へ食べに来る」という、情報発信のための特定のコンテンツをベースとした「町内外に向けた多量の情報発信」を行うことにより、塙町の魅力が町外に伝わり、交流人口の獲得の効果が期待でき、さらに特産品の地産地消関連イベントを開催することで宿泊者数が増え、観光活性化に寄与する。 • 観光産業の発展により新たな雇用機会が生まれ、関係人口が増加し、最終的に労働人口の増加と移住・定住人口の増加に貢献する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○イベント開催広報事業（広報ネタとしてのイベント実施費用実費含む） 9,500千円 ・塙町特産グルメ試食イベント　紅葉バージョン/クリスマスバージョン/お正月バージョン/節分バージョン （近隣市町村新聞折込、ポスター作成貼付、試食用食材等、映える装飾品等） ・塙町特産モクテル試飲イベント（モクテルコンテスト等含）紅葉バージョン/クリスマスバージョン/お正月バージョン/節分バージョン （近隣市町村新聞折込、ポスター作成貼付、試飲用材料食材等、映えるドリンク装飾等） ○デジタルマーケティングSNS情報発信事業 5,200千円 ○プレスリリース高頻度発信事業/メディアリレーションズ対応事業 6,000千円 ○地元企業のデジタル人材育成支援事業 500千円 ○FAMトリップツアー実施事業 2,000千円 ○観光関係者に対する現況教育研修事業 7,200千円 ○事業管理事務局運営事業 3,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額　（＋159,141千円） ②メディア露出数（＋36回） ③宿泊者数（＋1,575人） ④観光協会サイトアクセス数（＋12,150PV）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.hanawa.fukushima.jp （効果検証） https://www.town.hanawa.fukushima.jp

事業概要【豊かな自然の中で実現する自分だけの「たまかわくらし」プロジェクト事業】

推進当初

申請者	福島県玉川村	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	56,068千円（20,908千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	人口減少及び高齢化の加速化による地域の担い手の流出と地域産業の衰退に歯止めをかけるため、移住相談窓口の一本化や官民が連携した移住者等サポート体制を構築の構築、受入意識の醸成により、「暮らし」、「仕事」、「コミュニティ」の各方面での事業を展開し、UIJターンを促進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・村の現状を発信するとともに、個人の状況に合わせた暮らし方や働き方の提案やコミュニティの橋渡し役となるトータルサポート窓口「たまかわくらし移住定住サポートセンター」設置運営費用 委託費等　6,148千円 ・地域産業の活力を取り戻し、地域産業の特性を活かした多様な働き方を実現させるための体制を整備する費用 委託費等　8,550千円 ・コミュニティへの参画支援や設立、空き家の利活用を促進するための費用 委託費等　3,210千円 ・お試し住宅の整備費用 修繕費等　3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJターン数（+25世帯） ②移住相談者数（+100組） ③移住定住サポーター養成数（+11人） ④地域事業者との連携数（+50件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

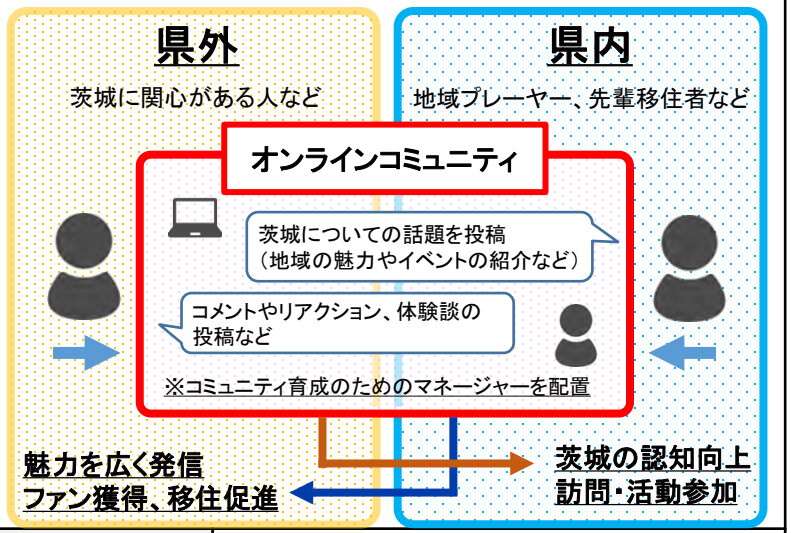
事業概要【稼げるインバウンド茨城・誘客促進事業】

推進当初

申請者	茨城県、石岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	549,723千円（191,241千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	• 本県の特性を踏まえた観光コンテンツの磨き上げや魅力ある旅行商品の造成促進などに加え、誘客活動を戦略的に展開し、運輸業や宿泊業、飲食業等、幅広い産業への経済波及効果を狙う • 官民一体となったサービス・質の向上を通じた観光消費単価の増加や周遊の促進、また、農業・輸出分野と連携したインバウンドとアウトバウンドの好循環を創出させ自立的に稼げる観光地域づくりを目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コンテンツの高付加価値化に向けた新規コンテンツ造成 （委託料）77,410千円 ・本県の地域資源を活かした新規コンテンツの造成等 ・歴史・文化的コンテンツの造成、企画展・イベント開催等 ○富裕層を対象とした販売促進・プロモーション （委託料）90,054千円 ・各市場の特性に合せたプロモーション等 ・旅行博への出展や商談会、ファムトリップ、メディア向けセミナー等 ・本県歴史・文化の紹介動画等によるプロモーション ○観光地経営に向けた調査・分析（委託料）8,800千円 ・個人旅行者の動向分析等 ○富裕層を含む中長期滞在の訪日外国人等を対象としたサポート体制の構築（委託料）14,977千円 ・「IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター」の認定、研修、相談対応等	韓国からのゴルフツアー	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額　（＋22.5億円） ②１人１回当たり訪日外国人旅行消費単価（＋18,750円） ③外国人延べ宿泊者数（＋126,000人泊）	関連URL	https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html

事業概要【デジタル技術を活用した移住促進事業】

推進当初

申請者	茨城県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	240,224千円（81,124千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・県外の人々が本県の暮らしや地域の人々の魅力を知り、ファンになる仕組みの構築を図る ・本県の魅力を継続的かつ効果的に浸透させていくことにより、本県へのさらなる移住促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オンラインコミュニティの構築・運営（委託料）14,800千円 ・システム構築のための開発・運用・改修等 ○オンラインコミュニティへの参加者の確保（委託料等）23,485千円 ・コミュニティ参加促進イベントの企画運営等 ○オンラインコミュニティ活性化のための話題創発（委託料）42,839千円 ・コミュニティマネージャーの育成 ・コミュニティ内の話題の充実・多様化のためのプログラムの企画運営 ・県北地域における話題提供を行うコミュニティの造成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋790人） ②オンラインコミュニティ参加者数（＋2,750人） ③オンラインコミュニティをきっかけに本県を来訪等した人数（＋110人）	関連URL	https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/keikaku/chiho/koukakensyoubukai.html

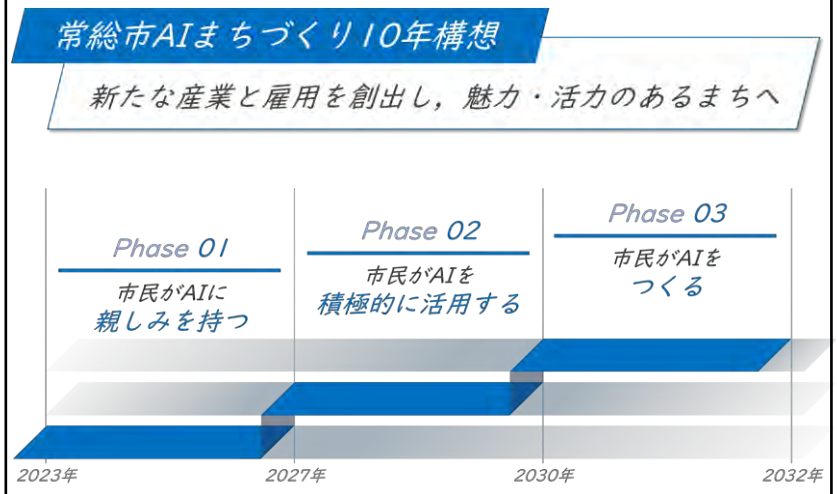
事業概要【「スポーツクライミングのまち龍ケ崎」推進事業】

推進当初

申請者	茨城県龍ケ崎市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	100,161千円（20,161千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• 優位性や独自性を発揮できるスポーツクライミングを軸に、市の認知度向上やシビックプライドの醸成を図る • 日本、世界規模の大会招致等を通じてにぎわいを創出し、若者世代を中心とした交流人口の増加、移住・定住促進を図る • 人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保していくことで、活力ある持続的な発展を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○戦略策定に向けた審議会の運営支援及び協議会の構築推進：940千円 ・戦略策定に向けた審議会運営に係る資料提供等側面支援 ・2年目以降の事業推進の主体となる官民連携の協議会を設置 ○3C調査及び分析：5,950千円 ・トップ選手へのヒアリング等を通じた市場分析 ・近隣地域の動向や政策間連携に係る先進事例調査等競合分析 ・ステークホルダー等連携可能な地域資源調査 ○「スポーツクライミングのまち」実現に向けた戦略策定：7,800千円 ・将来像、基本方針、施策体系、アクションプラン等をまとめた「基本構想」を策定 ○キックオフイベント開催：5,471千円 ・トップクライマーによるデモンストレーションや体験会等を組み込んだイベント開催、情報発信、プロモーションの実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲580人） ②スポーツイベントの参加者数（＋1,500人） ③龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）に設置しているボルダリングウォールの利用者数（+900人） ④事業に参画する団体数（＋30団体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【常総市AIまちづくり推進プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県常総市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	96,525千円（19,395千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	ＡＩなどの先端技術を活用した新たな産業と雇用の機会を創出することで，若年層を中心とした生産年齢人口の還流を促進し，魅力と活力あるまちづくりを推進するとともに，市内の小中高生に対しAI教育の機会を提供することにより，将来のAI人材を育成し，本取組により集積した先端技術を活用する企業等の雇用需要を満たし，持続可能なまちを実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「常総AIまちづくりコンソーシアム」の運営管理 ・イベント時の専門家・講師招聘費　300千円 ・コンソーシアム運営事務に係る需用費　150千円 ・コンソーシアム運営支援委託料　2,500千円 ○将来のAI人材育成のため，市内小中学生へのキャリア教育やAIリテラシー教育，プログラミング教育の実施 ・AI教育支援委託料　8,000千円 ○多くの方にAIに親しみを持つ場を提供するため，市所有の自然体験施設「あすなろの里」における，AIモビリティの体験搭乗などのAI体験プログラムの実施 ・AIモビリティ体験実施に係る人件費　3,205千円 ・AIモビリティ体験運営に係る需用費　240千円 ・園内におけるAIモビリティ走路等環境整備工事　5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋42人） ②AI等の先端技術を活用した地域課題解決プロジェクトの新規実施件数（＋５件） ③AI教育に取組む市内小中学校数（＋17校） ④あすなろの里でのAI体験プログラム参加者数（＋2,500人）	関連URL	常総市まち・ひと・しごと創生の取組 https://www.city.joso.lg.jp/kurashi_gyousei/shisei/seisaku/comprehensive_plan/machi_hito_shigoto/

事業概要【新たなコミュニティによる関係人口創出事業】

推進当初

申請者	茨城県高萩市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	6,732千円（2,244千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・新たな人の流れが生まれる仕組みをつくり、関係人口の拡大を図る。 ・将来的な移住者の拡大を目指すため、就業に居住地が影響しない職業の方向けにターゲットを絞って取り組む。 ・本事業の参加者と、市内各地域で行われている伝統的な行事との関係性を構築し、地域との関りを深める。 ・市内各地域行事運営の支援者を拡大し、地域行事の伝承を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たなコミュニティと地域住民との協働活動事業 ・関係人口創出事業（委託料）2,002千円 ○移住検討者支援事業 ・高萩起業塾オンライン配信に伴う環境整備委託（委託料）242千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋30人） ②コミュニティによる地域との協働事業の回数（＋9回） ③高萩起業塾のオンライン受講者数（＋12件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/gyousei/news/page006897.html

事業概要【インナープロモーション推進プロジェクト】

推進当初

申請者	茨城県守谷市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	46,732千円（14,877千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	当市のシティプロモーションは市外からの移住推進等を主目的としたアウタープロモーションではなく、市民一人ひとりの市に対する愛着形成や当市に住んでからの関わりを深めていくためのインナープロモーションを中心に推進しており、将来的にまちを発展させていく「担い手」を作ることを最終目的としている。本事業はこのインナープロモーションの取組みを加速化させ、将来的なまちの「担い手」育成に繋げていくことを目的とする。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○シティプロモーション推進事業 市民による魅力情報発信制度の構築、イメージキャラクターを活用した魅力発信、新シティプロモーション戦略プランの策定 ・絵本製作業務委託（委託費）1,161千円 ・シティプロモーションアドバイザー謝金（報償費）1,848千円 ○文化財保護事業 指定文化財のデジタルアーカイブ化及び文化財を活用したロゲイニングイベントの実施 ・撮影や画像加工及びデジタル公開に関する費用（委託費）5,116千円 ○アントレプレナーシップ教育推進事業 学生向けの起業家教育×地域課題プログラムの実施 ・アントレプレナーシップ教育プログラム業務委託（委託料）995千円	 守谷市イメージキャラクター こじゅまる	 デジタルアーカイブ化の公開 HPの仮想トップページ
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（＋450人） ②市民記者が発信する専用SNSアカウントのフォロワー数（＋1,000人） ③デジタルアーカイブ「わたしたちの守谷」の年間ページビュー数（＋72,000PV） ④アントレプレナーシップ教育プログラムの受講者累計数（＋60人）	関連URL	https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/index.html

事業概要【新たな価値を創造するデジタル技術を活用した持続可能な産業バリューチェーン強化推進事業】 推進当初

申請者	茨城県那珂市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	80,189千円（20,082千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農産物の生産、販売、流通のデジタル化による生産流通システムの体制整備を図る。 ・統一的なブランドコンセプトを作成することによる一貫した農産物の周知による需要喚起を図る。 ・生産流通システムの体制整備及び農産物のブランド化事業を推進することで、那珂市の持続可能な魅力ある産業振興の好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	１　デジタル技術を活用した市場ニーズ把握 （１）販売予測AI導入（委託料）　6,900千円 ２　デジタル生育管理システムの導入 （１）AIほ場管理システム（委託料）　768千円 （２）管理ほ場借上（借上料）　20千円 （３）システム導入研修（委託料）　500千円 ３　現場ニーズ把握のワークショップ・イベント （１）ワークショップ運営委託（委託料）　6,716千円 （２）専門家派遣費（報償費）　630千円 （３）市場調査イベント運営（委託料）　2,200千円 （４）ホームページ作成（委託料）　1,799千円 （５）誘導ツール作成（印刷製本費・備品購入費）549千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（＋12,400千円） ②デジタル技術導入経営体数（＋35経営体） ③デジタル技術導入した経営体あたりの増加経営面積（＋30a）	関連URL	https://www.city.naka.lg.jp/page/page004107.html

事業概要【つくばみらい市100年間愛される地元創生プロジェクト 】

推進当初

申請者	茨城県つくばみらい市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	60,420千円（20,420千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	当市のシティプロモーション事業として、つくばエクスプレス開業により増加した新たな住民と、旧来在住の住民とのふれあいや交流の促進、地域への愛着の醸成や、市が従来持つ魅力的な資源等を効果的に活用しながら、更なる移住定住や、就労促進の一助となるような取組を積極的にPRすることにより、「100年間愛される地元になるまち」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○【アート制作体験（ＷＳ）事業】 6,000千円 ・子ども向けのアートワークショップ、市民全体向けの制作事業などを実施 ○アート事業【企画構成支援事業】 6,000千円 ・どのように実施するのか専門的知見を受ける ○米PR事業　8,420千円 ・米・食味分析鑑定コンクール国際大会のプレ大会の開催		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数　（+450人） ②アート事業実施により「市に愛着が沸いた」市民の割合（+70%） ③市内農家が米コンテストへ出品する数　（+60件） ④ゴルフ場への職業体験を実施した市内学生（市内小中学生・高校生）の人数　（+7人）		

事業概要【空き家・空き店舗等の活用による商店街のにぎわい創出を通じた町内活性化事業】

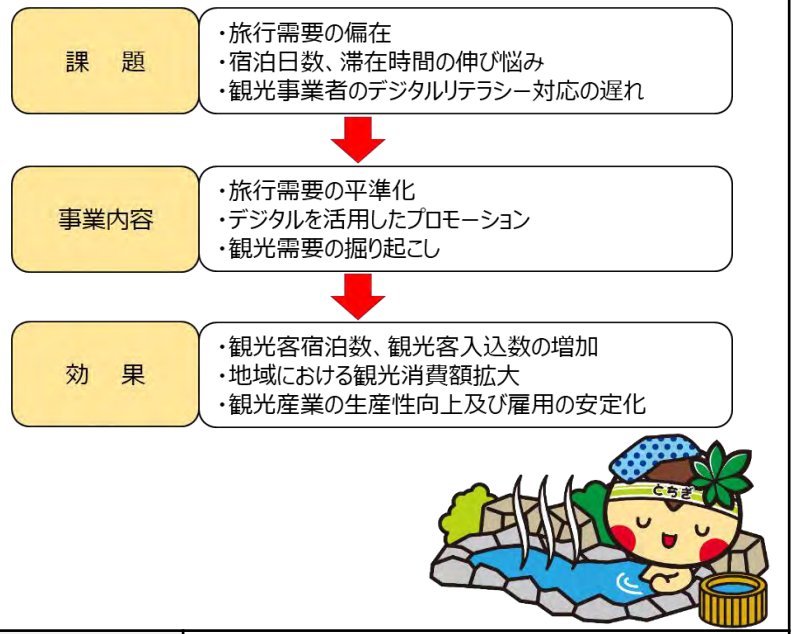
推進当初

申請者	茨城県大子町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	24,750千円（11,330千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・商店街の空き家等を活用したビジネスを創出し、その歴史や文化を維持するとともに、新たな産業と雇用の創出を図る。 ・若者の定着や地方回帰を促し、観光及び商業の中心地として持続する商店街を目指す。 ・町内観光スポットと商店街との新たな人の流れを創出し、観光消費額の増加を図る。 ・人流データ等を活用し、EBPMを推進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○商店街のにぎわい創出を通じた町内全域の活性化を見据えた戦略の策定 ・戦略の策定（委託料）　9,594千円 ・戦略を実行する推進体制の構築準備（委託料）　1,406千円 ○本事業の効果を的確に測定し、当町におけるEBPMを推進するための人流分析システムの導入 ・人流分析システム使用料（使用料）　330千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋281,344千円） ②駅前商店街と袋田の滝との観光周遊数（＋18,860人） ③駅前商店街への来客数（＋143,027人） ④駅前商店街において、空き家等を活用して創出されたビジネスの数（事業承継を含む。）（＋2件）	関連URL	調整中

事業概要【平日にもう１泊事業】

推進当初

申請者	栃木県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	292,291千円（80,451千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・「旅行需要の平準化」に焦点を当て、夏休みや紅葉シーズン等の繁忙期や土日祝日を避けた旅行を促進し、新たな旅行需要の喚起とオン・オフシーズン間の格差是正を通じて、県内観光関連産業の生産性の向上と雇用の安定を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○旅行需要の平準化に向けた「平日にもう１泊」キャンペーンの実施 ・県内同一宿泊施設に平日を含み２連泊以上する55歳未満の旅行者に、地域限定電子クーポンを発行（委託料） 11,042千円※クーポンは交付金対象外 ○デジタルを活用した誘客プロモーション等の強化 ・観光地におけるWEBマップ活用状況の分析等（委託料） 9,062千円 ・県公式観光HP「とちぎ旅ネット」特集ページ作成等（委託料） 17,872千円 ・配信サービス放送番組内での広告配信等　16,166千円 ○観光需要の掘り起こし ・とちぎDMO「とちぎ観光地づくり委員会」の開催事業　3,857千円 ・ワーケーションの定着に向けたプログラム造成支援等（委託料） 3,200千円 ・スポーツ大会等に伴う来県者のエクスカーション助成等（補助金等）5,280千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋470億円） ②観光客宿泊数（＋139万人） ③観光客入込数（＋2,290万人） ④観光客宿泊数のうち１泊の割合（▲0.3%）	関連URL	https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html



事業概要【新ビジネス創出による農業・農村収益力向上事業】

推進当初

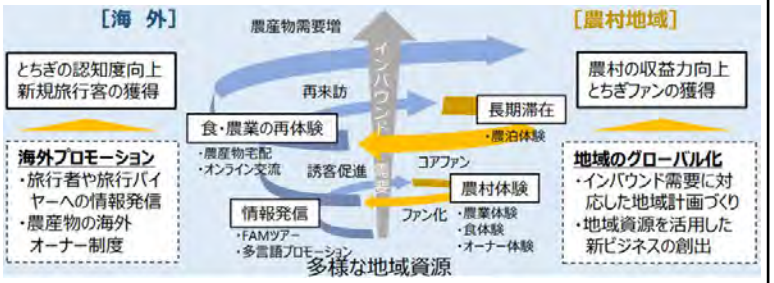
申請者	栃木県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	519,667千円（149,173千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農産物の収穫・加工、農家や古民家での宿泊体験、地域の文化・伝統等と組み合わせたストーリー性のあるツーリズムを創出するなど本県特有の地域資源等を活用し、誘客促進につなげることで、訪日観光客の来訪者数増加及び海外での県産農産物の需要拡大を図り、本県農業・農村の収益力を強化する。 ・県産農産物の輸出に取り組む産地や事業者等の実情に合わせた支援を行うとともに、独自技術による新たな価値を持つ農産物加工品を開発し、新たに輸出に取り組む事業者を増やすことで、海外販路開拓・拡大を図り、本県農産物の国際競争力を高める。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

○とちぎの農村等の魅力海外発信事業
・とちぎの農村の魅力発信による誘客促進（委託料等）9,840千円
・現地インフルエンサーを活用した情報発信（委託料等）1,990千円
○いちご等の本県特産品を活用したプロモーション事業
・本県の強みである「いちご」等の農産物の情報発信（委託料等）
20,382千円
○インバウンド需要に対応した農村地域の稼ぐ力強化事業
・農村プロデューサーによる新たなビジネスの創出支援（委託料）
7,400千円
○農産物輸出体制強化事業
・アドバイザーの設置等による輸出拡大への総合的強化（委託料等）
12,961千円
○農産物産地づくり事業
・新たな産地づくりに必要な大型機械の導入等の支援（補助金）
34,922千円
○新たな需要に応じた農産物加工商品開発事業
・農産物加工品の製造支援（補助金）30,093千円

【展開イメージ】



訪日観光の促進と県産農産物の需要拡大の**「好循環」**による**農業・農村の収益力向上を実現**

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①地域における農林水産出荷額（＋103.5万円）
②農村地域に宿泊する訪日外国人観光消費額（＋7.4千万円）
③とちぎの農村ならではのグローバルビジネス創出数（＋4件）
④輸出に取り組む生産者数（＋12者）

関連URL

https://www.pref.tochigi.lg.jp/a01/senryaku/sousei15senryaku.html

事業概要【官民協働による「共創のまちづくり」推進プロジェクト】

推進当初

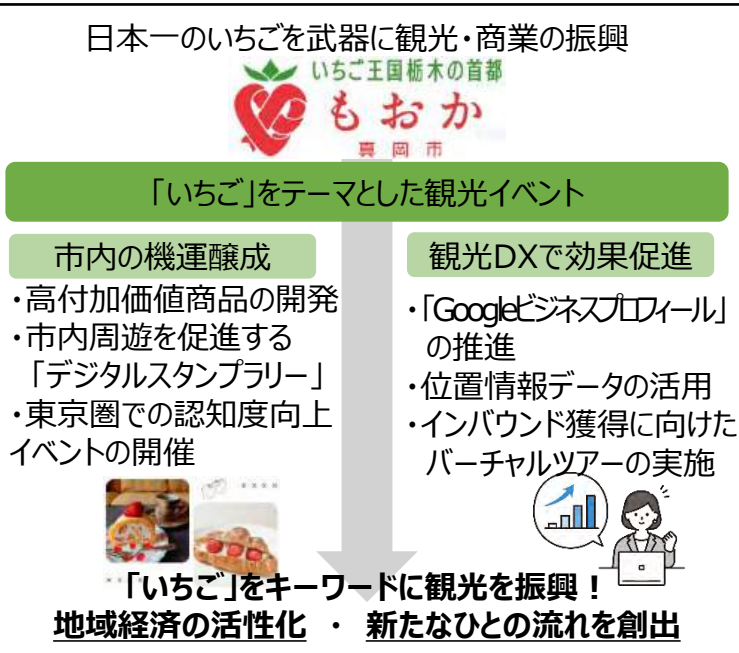
申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	160,000千円（44,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内外の多様な人材とのマッチングや共創の種を生む拠点となる「交流の場」を創出 ・自治体間競争に勝ち抜き，共創・協業のパートナーとして選ばれるまちを目指す。 ・共創・協業による地域課題の解決につながるプロジェクトを生み出す。 ・人口減少社会においても持続的なまちの成長や発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○都市拠点における「交流の場」（コミュニティスペース）のモデル設置・運営（委託費）　30,000千円 ・都市拠点における施設利用に係る経費 ・「交流の場」におけるコーディネーター人件費 ○「（仮称）公民連携プラットフォーム」の設立・運営（委託費）5,000千円 ・学識経験者を含めた共創のワンストップ窓口となる組織の創設 ・共創事業の具体化や地域課題の解決に向けたマッチングの支援 ・オンライン上でのマッチングの場となるホームページの作成・運用		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋40人） ②具現化・社会実装された共創プロジェクト数（＋4件） ③「（仮称）公民連携プラットフォーム」で受け付けた民間企業等からの提案数（＋10件）	関連URL	調整中

事業概要【世界で輝く「スポーツのまち　うつのみや」の実現】

推進当初

申請者	栃木県宇都宮市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	175,260千円（20,260千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・本市の新たなスポーツ資源である「スケートボード」と「ＢＭＸ」のイメージ定着を図る。 ・「スケートボード」や「ＢＭＸ」を核とした，スポーツに係る観光消費額の拡大を図る。 ・アーバンスポーツの愛好者や競技者人口の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東部総合公園開園準備（委託費）9,480千円 ・開園時における利用促進を図るため，本公園に整備予定のスケートパークの整備イメージパースなどの資料作成 ・スケートボードやＢＭＸなどの国内外の大会誘致・開催に向けたPR活動等 ○アーバンスポーツフェスティバル（委託費）10,000千円 ・国内トップ選手らによるデモンストレーションやワークショップを実施 ○国際・国内競技大会の誘致準備　780千円 ・スケートボードやＢＭＸに係る国際・国内大会の誘致・開催に向けて，国際・国内競技団体との関係構築を図る。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋7.5億円） ②スケートボードとBMXのイベントの来場者数（＋4.2万人） ③スケートボードとBMXのイベントのまた来たいと思う人の割合（＋255%）	関連URL	調整中

事業概要【「いちご王国栃木の首都もおか」交流促進・地域経済活性化プロジェクト】 推進当初

申請者	栃木県真岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	83,000千円（61,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	着実な農業振興により培われた本市最大の特色である生産量「日本一のいちご」を観光や商業の振興にも活用することで、新たな人の流れを創出し、地域の活性化を図ります。そのために、「いちご」をテーマとした観光イベントの開催、高付加価値商品の開発の補助などを行うとともに、行政及び民間事業者の観光DX化を図ることで交流人口の増加に加え、地域経済の活性化につなげていきます。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「いちご」をテーマとした観光イベントを開催し、新たな人の流れ創出と「いちご」を活用する市内事業者の機運醸成 ・イベント開催費（委託料・ソフト）32,000千円 ・イベント開催費（委託料・ハード）18,000千円 ○観光客の市内全体への周遊を促進 ・デジタルスタンプラリー実施事業（委託料）3,000千円 ○新たな人の流れを創出するために東京圏での認知度向上を図る事業を実施 ・認知度向上イベント事業費（委託料）600千円 ○行政及び民間事業者の観光DXを推進 ・Googleビジネスプロフィール推進事業費(委託料)1,400千円 ・位置情報ビッグデータ分析システム使用料 1,000千円 ○インバウンド需要を獲得するための取組 ・国際交流バーチャルツアー運営費（交付金）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋168.61百万円） ②観光入込客数（＋29.71万人） ③観光情報（市HP）閲覧回数（＋250回） ④外国人宿泊者数（＋147人）	関連URL	https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/sogoseisaku/gyomu/seisaku_keikaku/4/1691.html

事業概要【「陶器市のまちから通年観光のまちへ」観光地域づくり事業】

推進当初

申請者	栃木県益子町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	18,000千円（6,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	新型コロナウイルスの影響などに起因する観光客入込数の落ち込み等により、冷え込んだ町内経済を活性化させるべく、DMOましこラボが旗振り役となり、陶器市以外の平常時にも観光客を町に呼び込むため、アフターコロナの時代に適応した綿密な観光振興施策を打ち出し、観光資源の高付加価値化や観光客の回遊性向上等を図り、観光消費額の増加に繋げることで「地域の稼ぐ力」を引き出し、持続可能な観光地づくりに取り組む。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○インスタグラム等を活用したアンケートの実施やマーケティングリサーチやその分析 （交付金（委託料・消耗品費等に充当）：1,000千円） ○電子マップや多言語Webマップの作成 （交付金（委託料・印刷製本費等に充当）：3,000千円） ○ SNS媒体や公共交通機関を活用した広告・プロモーション （交付金（委託料・消耗品費・印刷製本費等に充当） ：2,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋554万円） ②観光客満足度（＋4.3%） ③陶器市を除いた平常時の観光客数（＋18万人） ④外国人観光客宿泊数（＋240人）	関連URL	https://www.town.mashiko.lg.jp/page/page001955.html

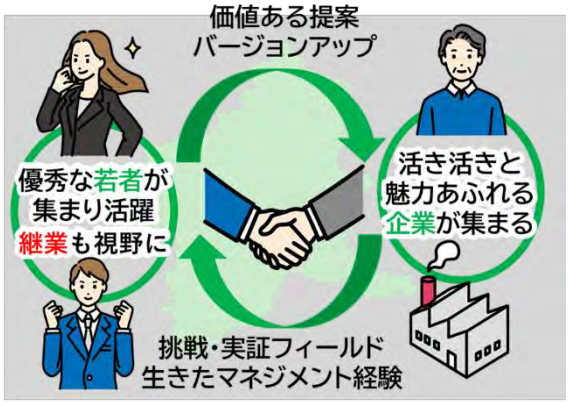
事業概要【デジタルを活用した二地域居住・関係人口の「地域の担い手促進」事業】

推進当初

申請者	栃木県那須町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	19,040千円（6,680千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「訪問・滞在増加」や「地域住民との交流」促進をとおして、二地域居住者等の地域との関係性を深める ・就業やイベントの運営参加のきっかけをつくり、地域の担い手不足解消を図る ・地域住民との交流や地域体験・就労体験等により、二地域居住者・関係人口の増加を図る ・テレワーカーの育成により、場所や生活にとらわれない働き方を推進する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	**①「那須町ふるさとアプリ」の運用・開発改修** （委託費：4,000千円） ・交流・関係性深化のための「地域活動・イベント情報発信」 ・訪問・滞在増加、地域住民との交流促進のための「ポイント制度」 ・滞在利便性向上のための「町民サービス提供」等 **②地域交流促進プログラム** （企画費・講師謝費礼等：480千円） ・就労体験（農業・酪農・テレワーク等） ・町民との交流・町内周遊 ・ワークショップ **③テレワーカー育成プログラム** （委託費：2,200千円） ・二地域居住に興味がある非テレワーカーの人たちに向けて、テレワーク就業の理解促進セミナー・スキルアップ講座を実施	 ①地域活動への参加 ②地域交流・就農体験 ③テレワーカー育成	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋130人） ②地域活動等の情報発信回数（＋90回） ③地域交流促進プログラム参加人数（＋30人） ④テレワーカー育成プログラム参加人数（＋90人）	関連URL	https://www.town.nasu.lg.jp/office0301/section-1.html

事業概要【県民総活躍の未来をつくる若手人材の確保・育成事業】

推進当初

申請者	群馬県、前橋市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	558,906千円（186,302千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・特に若手人材に着目して、群馬県への流入、ポジティブな労働移動等を促し、新たな人材の採用や確保を図る。 ・若者の起業・継業意欲の向上、企業によるリスキリングを促しDX人材を育成することで、これからの県内産業を担う人材の確保を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○未来を担う若手人材と地元企業との交流機会の創出（委託費等）4,024千円 ○採用力・情報発信力の強化（委託費）7,316千円 ○UIターン就職促進（委託費等）33,736千円 ○企業と若者のマッチング支援拠点の運営（委託費等）111,016千円 ○産学官連携による地域人材育成・定着支援（委託費等）926千円 ○若者の起業・継業意欲の向上、課題解決力の育成（委託費）19,000千円 ○DX人材リスキリング推進（委託費）　10,284千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①群馬県へのUIJターン数（+5,700人） ②本事業における県内企業の人材確保人数（+3,000人） ③県内企業のリスキリング実施率（+60%） ④ぐんまネクストジェネレーター制度を活用した若者と企業とのマッチング成立件数（+15件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （評価検証） 調整中

事業概要【温泉文化の振興を呼び水とした地場産業・地域の活性化】

推進当初

申請者	群馬県ほか２自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	504,586千円（158,862千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・ユネスコ無形文化遺産登録への機運醸成とともに、温泉文化の高付加価値化を図る ・関連産業に頼らない地場産業を構築するため、地場産品のブランド力・認知度を向上させ、ファン獲得を図る ・新たな外国人材の受入スキームを構築し、温泉地・地場産業の持続性確保を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、普及啓発イベント及び調査研究を実施 ・イベント等開催経費（委託料等）29,162千円 ・調査研究経費（委託料等）8,000千円 ○地場産品のブランディング戦略を策定し、新たなビジネスモデル構築及び販路拡大を支援 ・ブランディング戦略策定（委託料等）30,354千円 ・販路拡大支援（委託料等）52,528千円 ・設備整備（補助金）30,580千円 ○現地大学等とのネットワーク構築及び働く場としてのプロモーションを実施 ・外国人材の受入に係る現地説明会等（使賃料等）1,000千円 ・プロモーション企画（委託料）7,238千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋234人） ②主要温泉地観光入込客数（＋900千人） ③開催イベント参加者数（＋6,800人） ④群馬県内の上州地鶏指定店舗数（＋9店舗）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （評価検証） 調整中

※群馬県、鳥取県、群馬県中之条町の広域連携事業

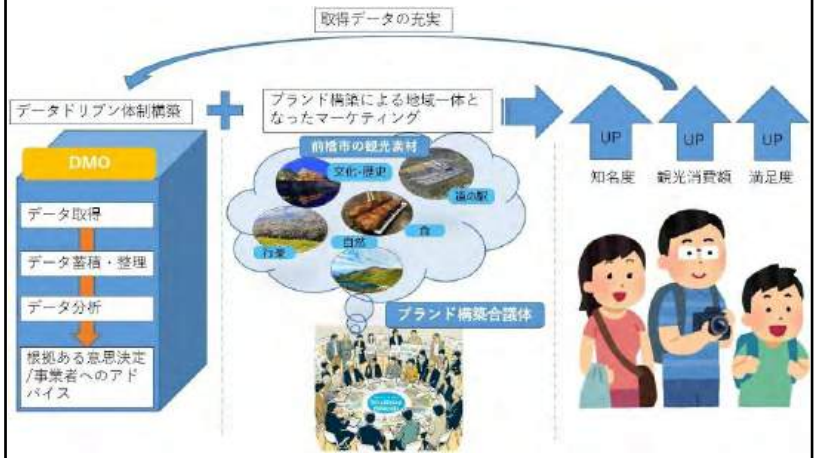
事業概要【日本最先端クラスのデジタル県推進事業】

推進当初

申請者	群馬県、桐生市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	2,320,007千円（200,562千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・産業のデジタル化とデジタルクリエイティブ人材の育成等により、日本最先端クラスのデジタル県を目指す ・国際的に評価の高いアルメニアのTUMOセンターを、アジアで初めて、群馬県に整備する ・TUMO Gunmaとして、群馬県独自の最先端の教育プログラムを提供し、デジタルクリエイティブ人材を育成する ・デジタルやクリエイティブな取組を招致し、デジタルクリエイティブ産業の集積を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルクリエイティブ人材の育成のため、TUMO Gunmaを中心とした教育プログラムの提供、イベントの実施 ・TUMO Gunma開設・運営（委託費等）97,975千円 ・映像クリエイターインキュベーション事業（委託費等）30,237千円 ・サテライト施設の運営費用（委託料等）19,132千円 ・デジタルリテラシー向上に係るイベント等開催（委託費等）4,818千円 ・デジタルクリエイティブ拠点基本構想策定（委託費）48,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン就職者数（+9,000人） ②デジタルクリエイティブ企業の進出数（+20社） ③共創プロジェクト組成数（+30件） ④年間利用者数（+29,720人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （評価検証） 調整中

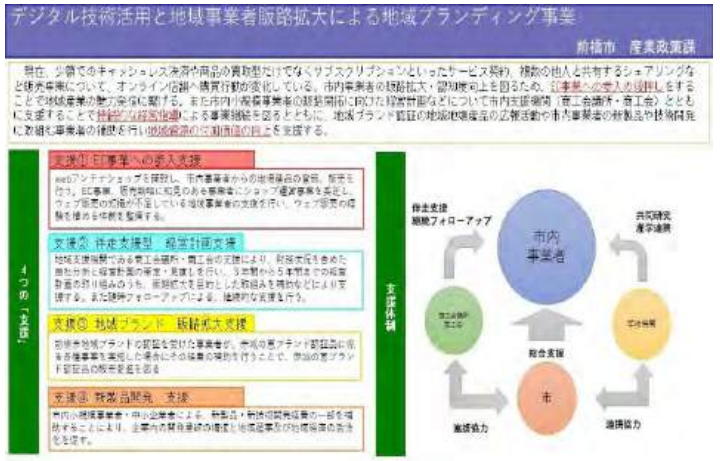
事業概要【データドリブン経営構築及び前橋・赤城観光ブランド構築による観光振興事業】

推進当初

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	76,626千円（24,942千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・データに基づいたマーケティングを主体とする経営体制を整え、効率的かつ効果的な観光を活用した地域経営を実践する ・取得したデータを基に、前橋・赤城の観光ブランドを構築し、当該観光ブランドを地域全体で一体となって推進する ・選ばれる観光地・稼ぐ力をもつ地域を目指し、交流人口や観光消費額を増加させ「持続可能な観光を活用した地域経営体制」を築く		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○DMOデータドリブン経営体制構築を起点とした観光DX化の推進 ・データドリブン計画策定（委託料、会議開催経費）3,900千円 ・システム導入・維持管理（使用料）940千円 ・データ収集（使用料）800千円 ・研修（研修・視察費）360千円 ・推進人件費（コンベンション協会人件費）4,600千円 ○前橋・赤城の観光ブランド創出・定着促進 ・ブランド推進体制構築（推進主体組成・活動経費）790千円 ・伴走支援委託費（委託費）2,000千円 ・コンテンツ造成（試作・実証経費）2,120千円 ・プロモーション戦略実行（広報・PR経費）1,900千円 ・管理経費及び人件費（コンベンション協会人件費）7,532千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+750百万円） ②データ活用協定事業者数（+60件） ③本事業で造成したコンテンツへの参加人数（ウェルネスツーリズム＋赤城山ファンづくり）（+650人） ④作成したプロモーション動画の総再生回数（+16万回）	関連URL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

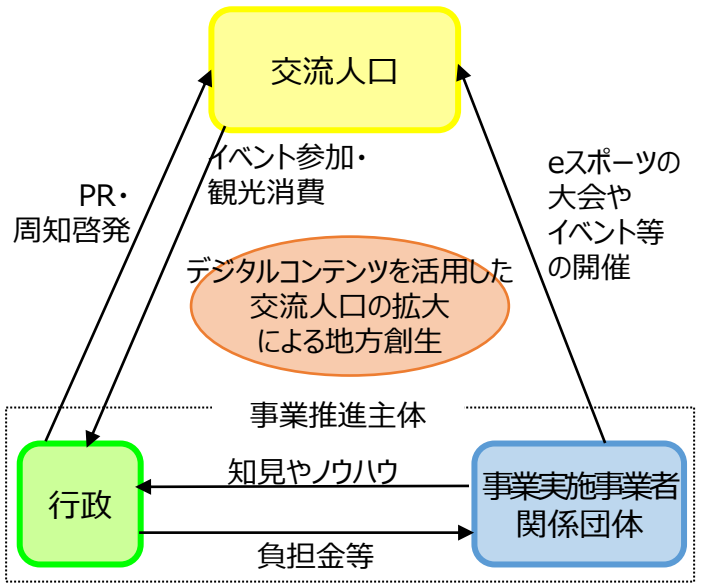
事業概要【デジタル技術活用と地域事業者販路拡大による地域ブランディング事業】

推進当初

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	100,500千円（33,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内事業者の販路拡大・認知度向上を行うため、EC事業への参入の後押しをすることで地域産業の魅力発信に繋げる ・市内支援機関（商工会議所・商工会）とともに支援することで持続的な経営指導による事業継続を支援する ・地域ブランド認証の地域地場産品の広報活動や市内事業者の新製品や技術開発に取組む事業者の補助を行い地域資源の付加価値の向上を支援する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル技術の活用支援 ・オンラインアンテナショップ事業（委託料）10,000千円 ○競争力の強化支援 ・伴走型販路開拓支援事業（補助金）20,000千円 ・地域ブランド認証品の販路拡大事業（補助金）500千円 ・新製品・新技術開発事業（補助金）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+930人） ②フォローアップ事業者のうち売り上げが向上した事業者の割合（+125%） ③オンラインアンテナショップ参加件数（+240件） ④地域ブランド売上高向上商品の割合（+156%）	関連URL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

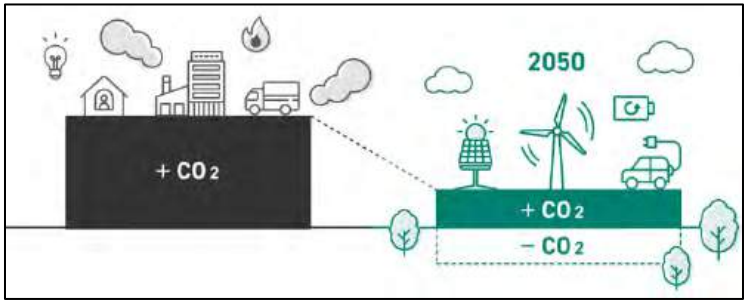
事業概要【eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した交流人口拡大事業】

推進当初

申請者	群馬県伊勢崎市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	66,803千円（10,079千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・ｅスポーツを軸としたデジタルコンテンツを新たな観光資源として掲げ、新しい「本市を訪れるきっかけ」を提供することにより交流人口の拡大を促進し、移住定住施策の促進と併せて、関係人口、更には定住人口へと深化させることで賑わいあふれる伊勢崎市を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○世界遺産を有する境島村地区を題材としたVR映像の作成と、VRハンググライダー体験会の開催 ・開催委託料：1,617千円 ○市内外から多くの来訪者を呼び込める場面でのeスポーツイベントの開催 ・開催委託料：3,300千円 ○ｅスポーツを活用した本市の観光振興を周知啓発するPR動画の制作 ・制作委託料：550千円 ○本市に来街し交流人口となるきっかけを創出するための、ｅスポーツ大規模大会の開催 ・開催負担金：3,000千円 ○まちづくりをシミュレーションできるゲーム等を活用した児童や学生向けのまちづくりコンテストの開催 ・開催委託料：1,100千円 ○事業実施に係る消耗品費・警備委託料 ・消耗品費：240千円　・警備委託料：272千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（＋66,909,000円） ②eスポーツ大規模大会の年間来場・視聴者数（＋1,100人） ③eスポーツイベントの年間開催回数（＋11回）	関連URL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/shingikai_iinkai/machizukuri/16179.html

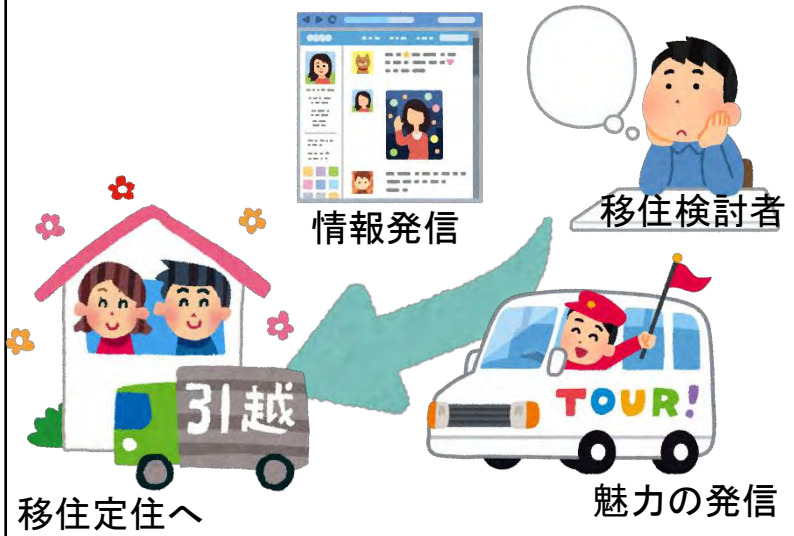
事業概要【環境と経済の好循環が生み出す中小企業の新たな魅力創出による地方創生プロジェクト】

推進当初

申請者	群馬県富岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	23,190千円（7,290千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・中小企業が脱炭素の取組を積極的に進めることで、企業イメージの向上、競争力の強化、取引先の拡大などにつなげ、人、もの、情報が集積するまちとなり、市全体の活性化を図る。 ・売上高等の向上により、新たな雇用を生み、地域経済および若者の流入によるまちの活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	脱炭素に向けて何ができるか「知る・考える」、自社の二酸化炭素排出量を「測る・把握し改善する」、二酸化炭素排出量を「削減する・自走する」の取組を行う。 〇CO2排出量可視化システム導入支援（委託料）660千円 〇脱炭素アドバイザー派遣事業（委託料）4,430千円 〇省エネ診断支援（補助金）100千円 〇脱炭素セミナー等開催（負担金）　100千円 〇省エネ設備更新支援（補助金）2,000千円	 出典：環境省ホームページ「脱炭素ポータル」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋15人） ②本事業参加企業における売上高の伸び率（＋1.5%） ③開催した環境経営セミナー・環境啓発セミナーへの参加者数（＋90人） ④本事業参加企業におけるエネルギー使用量の削減率（▲15%）	関連URL	https://www.city.tomioka.lg.jp/www/contents/1681782065775/index.html

事業概要【移住から定住へ　社会減の抑制のための定住促進事業】

推進当初

申請者	群馬県上野村	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	38,750千円（14,550千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住者を含めた若い世代の定着を目指し社会減の抑制のため、定住の促進を図る。 ・転出者を抑制し人口減少に歯止めをかけることで、地域や業の担い手の確保を図る。 ・移住前や移住直後に村の文化や風習等を体験する機会を創出し、移住への不安を和らげることで移住の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○村内外の若い世代へ本村の認知度及びイメージ調査の実施 ・イメージ等調査委託費：3,300千円 ○定住促進のためのウェブコンテンツ等の作成及びSNS等による移住希望者との交流サイトの構築 ・移住定住のためのコンテンツ作成業務（委託費）：8,800千円 ○移住体験ツアーメニューの開発事業。 ・移住定住体験ツアーメニュー開発業務（委託費）：2,200千円 ○村の魅力を伝え、村に愛着や誇りがもてるために、むらの歴史や伝統、文化等に触れる機会の創出を図る。 ・歴史・文化等の伝承のための講演会等開催業務（消耗品・謝礼等）：550千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本村へのＵＪＩターン数（＋80人） ②社会減の減小数（＋17人） ③交流サイト利用者数（＋130人） ④移住定住体験ツアー参加者数（＋70人）	関連URL	調整中

事業概要【嬬恋ウェルネスリトリート事業】

推進当初

申請者	群馬県嬬恋村	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	53,500千円（7,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 交流を増進させ地域の活性化、移住の促進を行う。交流イベントの実施や、ウェルネスリトリートを推進する人材を育成すると共に活躍する拠点を整備し、事業効果の増進を図る。 • ウェルネスツーリズムを本村における新たな観光資源として位置づけ、関係機関と協力し誘客を行い地域の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○村民と長期滞在者の交流の場となるよう運動を通じた交流イベントを実施し地域の活性化へ繋げる。 ・イベント実施費用　2,300千円 ○観光客等にマーケティング調査を行いウェルネスツーリズムのプランを作成する。 ・ウェルネスツーリズムプラン造成費用　1,000千円 ○「運動」というキーワードを活かし村民、長期滞在者、観光客についてイベントを通して交流を図り、移住、再訪に繋げる。 ・イベント実施費用　1,200千円 ○民間企業に委託しウェルネスリトリートを支える人材の育成を図る。 ・人材育成費用　2,800千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJターン数　（＋10人） ②年間参加者数（＋140人） ③村外参加者数（＋30人） ④観光客入込数（＋2,100人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp （効果検証） https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/www/contents/1676254604955/index.html

事業概要【「来て良し・住んで良し」埼玉づくり官民連携プロジェクト事業】

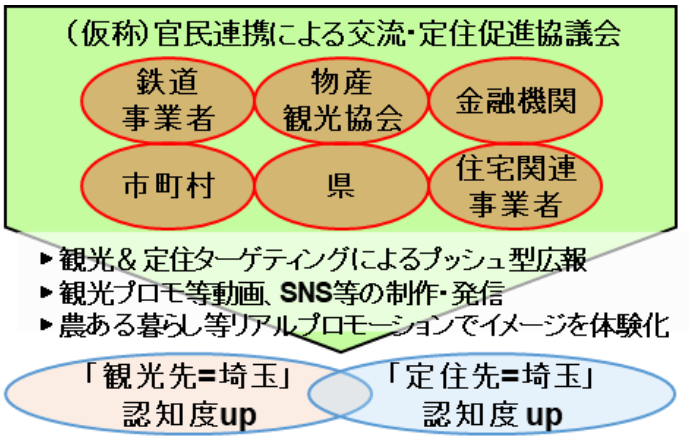
推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	100,113千円（35,101千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本事業により、「都心から時間をかけず、気楽に観光が楽しめる」魅力的な場所として認知され、本事業の取組前に比べて本県を訪れる交流人口（観光入ができる」「農ある暮らしができる」魅力的な場所としての認知度も向上し、本事業の取組前に比べて本県で暮らす定住人口（UIJターン数）が増加し、上述のよう込客数）が増加し、上述のような本県の観光コンテンツを楽しむ方で賑わうまちを目指すことを目的とする。また、「豊かな自然環境と高い生活利便性を両立した暮らしな便利な生活基盤で子育て世代層などがのびのびと暮らせるまちを目指すことを目的とする。この2つの面における本県への人の流れを変えることで、地域が賑わい経済活動が活発な魅力的な地域として持続可能な発展を続ける埼玉県を実現する。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

1 （仮称）官民連携による交流・定住促進協議会設置・運営事業
協議会創設、総会・部会等開催…(使賃料・報償費274千円)
2 交流・定住促進プロモーション等事業
①子育て層向けプロモーション動画、オンデマンドセミナー動画制作
…(委託料・需用費9,936千円)
②子育て層へのターゲティング広告、特設サイト、SNS等情報発信 …(委託料等6,193千円)
③観光、移住・定住の一体的情報発信・相談拠点の設置・運営
…(委託料13,001千円)
④プロモーション動画と連動した現地訪問促進セミナー、移住・定住・交流イベント等開催
…(使賃料・役務費・需用費2,057千円)
⑤地域おこし協力隊卒業者等ネットワーク創設、卒業者等地域人材の発掘・育成研修
…(報償費・使賃料200千円)
3 農ある暮らしの魅力発信事業
①観光感覚で参加できる農ある暮らし体験ツアー開催…(委託料・役務費3,201千円)
②農ある暮らし専門セミナー開催…(報償費・需用費・役務費239千円)



「訪れたい場所」「暮らしたい場所」埼玉の実現

KPI

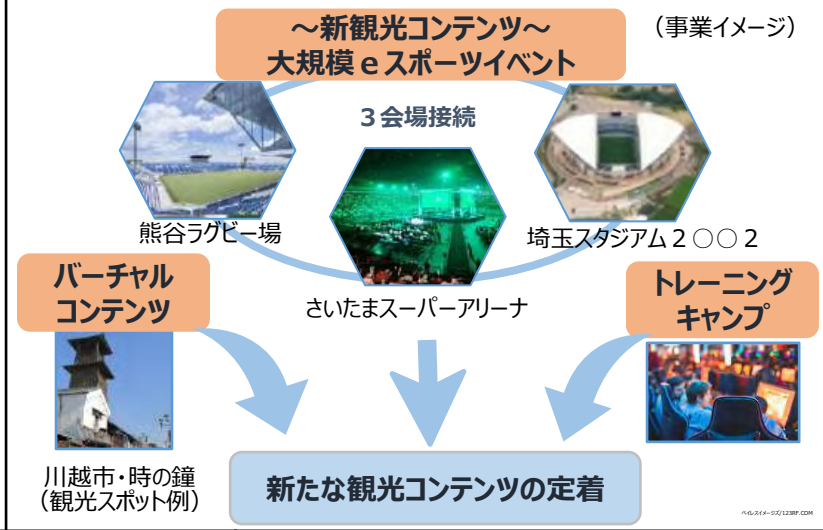
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①地域へのUIJターン数　（＋302人）
②本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数　（＋50,254千人）
③農山村へつないだ都市住民の延べ人数　（＋4,500人）
④企業と連携して実施した交流・定住人口獲得のための事業数　（＋7事業）

関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/chihou-sousei.html

事業概要【ｅスポーツを活用した観光コンテンツ創出事業】

推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	99,111千円（33,743千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	●新たな観光コンテンツを創出することにより、観光客数及び観光消費額を増加させ、観光振興を図る ・県内市町村や民間事業者主体によるｅスポーツイベントの開催を促し、「ｅスポーツ」を本県の新たな観光イメージとして定着させる ・ｅスポーツの普及・裾野拡大により、共生社会、賑わい創出、産業振興などの社会課題を解決する ・ｅスポーツ（デジタルデバイス）に触れる機会の拡大により、県民のデジタルリテラシーの向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロ選手によるエキシビションマッチの観戦や人気ｅスポーツを体験できる、大規模ｅスポーツイベントの開催 ・イベントの開催及び動画配信（負担金）　22,333千円 ○人気ｅスポーツ内でのバーチャル観光を可能にする、オリジナルコンテンツの作成 ・観光素材撮影及びバーチャルコース作成（負担金）　4,078千円 ○全国から高校生を呼び込む、ｅスポーツトレーニングキャンプの開催 ・キャンプの実施及び観光ＰＲ経費（負担金）　4,912千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額　（＋2,277円） ②イベント体験参加者数　（＋4,052人） ③イベント配信動画再生回数　（＋24,000回） ④「ｅスポーツ」に関心があり、ｅスポーツをするまたは配信等で観戦している県民の割合　（＋23.73%）	関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/documents/yusikisyakaigi.html

事業概要【労働生産性の向上支援による持続可能な地域経済推進事業】

推進当初

申請者	埼玉県さいたま市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	390,022千円（113,011千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	人口減少・生産年齢人口減少、物価上昇等の社会経済状況においても、DX・GX支援やオープンイノベーション推進等「業務効率化」と「付加価値向上」の２つの方向性による多様な労働生産性向上支援を通じて、持続可能な地域経済の実現につなげ、市民のwell-beingを目指す。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

【事業概要】
市内企業の労働生産性の向上させるため、企業の業務効率化支援と付加価値向上支援という２つの方向性で支援を実施するもの。

【主な経費】

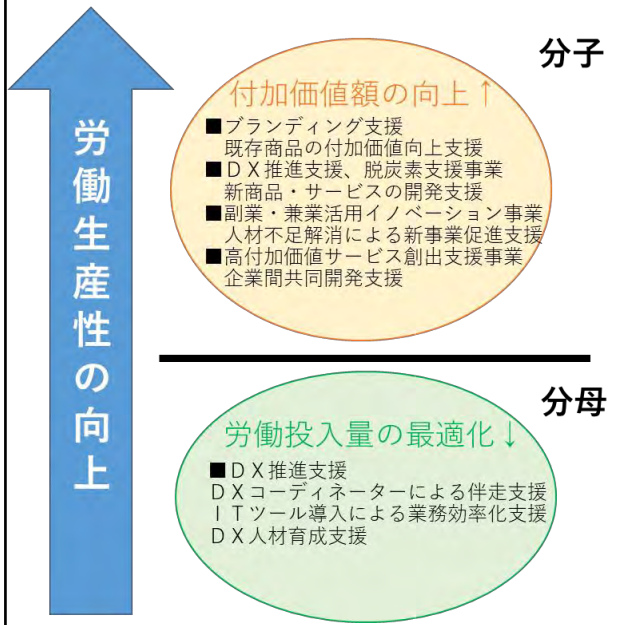
■ＤＸ推進支援事業
・コーディネータ人件費：17,800千円
・ＤＸ補助金：25,000千円
・その他セミナー費等：20,837千円

■副業・兼業活用イノベーション事業
・委託費：2,000千円
・専門家謝金：2,475千円
・交通費・会場使用料：215千円

■高付加価値サービス創出支援事業
・専門家謝金：6,600千円
・委託費：3,000千円
・企業間共同開発補助金：5,000千円
・交通費・会場使用料：2,540千円

■脱炭素支援事業
・コーディネータ人件費：2,100千円
・ＧＸ補助金:15,000千円

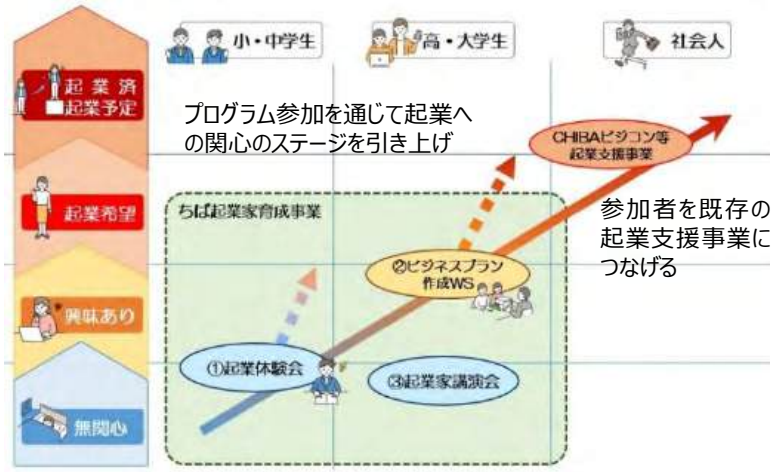
■ブランドプロモーション支援事業
・専門家謝金：9,750千円
・交通費・会場使用料：694千円



KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+70人） ②労働生産性の平均向上率（+9%） ③副業人材・異業種企業等とのマッチング件数（+60件）	関連URL	

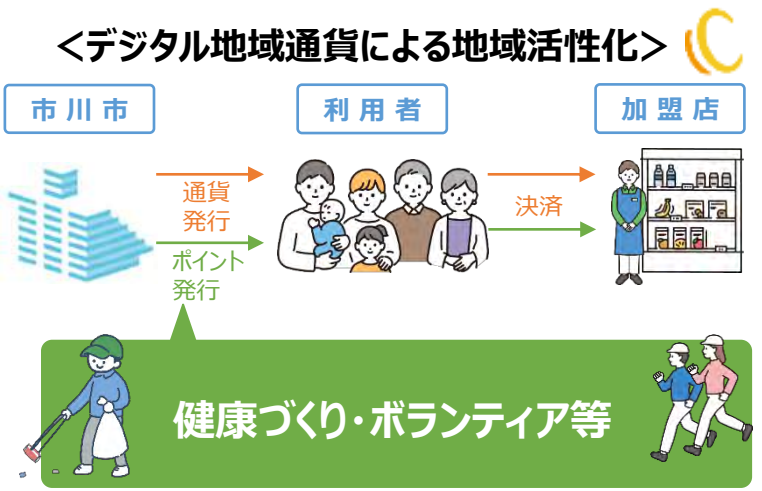
事業概要【ちば起業家育成事業】

推進当初

申請者	千葉県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	54,000千円（18,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・県内様々な地域で、若年層を対象としたその地域の特性を踏まえた独自の体験型プログラムを実施し、参加者のアントレプレナーシップ獲得を支援。これらの取組を通じて、参加者の将来の職業選択の幅を広げるとともに、県全体の若年層の起業機運を高める。 ・各プログラムは、県内企業・地域や教育機関と連携して取り組む。また、一部プログラムでは、参加者を対象に支援講座を実施し、デジタル技術を活かしたビジネスプラン作成などを強力に推進。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	若年層のアントレプレナーシップ（起業家精神）向上を図るため、以下の取組を実施。起業を志す人材の育成を進めます。 ①小中学生を対象とした起業体験会（委託費9,200千円） 将来の千葉県を担う意欲的な小中学生を対象として、県内企業を相手方としたBtoB型の起業体験プログラムを2カ所で開催。 ②高校生・大学生等を対象としたビジネスプラン作成ワークショップ（委託費6,000千円） 起業に興味がある高校生・大学生等を対象としたビジネスプランを立案するワークショップを開催。 ③高校生等向け起業家講演会（委託費1,000千円） 若い世代に起業をより身近に感じてもらうため、起業家による講演イベントを開催。開催の模様は別途、オンライン限定配信を行う。 ④参加者募集等に係る広報費・一般管理費等（委託費1,800千円） ①～③のプログラムの参加者募集及び事業結果の広報等を行う。	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域へのUIJターン数（＋3人） ② 小中学生向け起業体験会申込者数（＋80人） ③ 高校・大学生向けワークショップ修了者数（＋25人）	関連URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyou-ikusei.html

事業概要【デジタル地域通貨推進事業】

推進当初

申請者	千葉県市川市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	308,122千円（98,403千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	持続可能な未来につながるまちづくりを目指して、デジタル地域通貨事業の推進を行う。 （１）デジタル地域通貨の仕組みを活用した市内経済循環の実現による地域経済活性化 （２）ボランティアや自治会活動等にインセンティブとして行政ポイントを付与することによる市民活動の活性化 （３）健康ポイントを通じた健康寿命の延伸		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル地域通貨を発行・管理するためのシステム及びアプリケーションの運用・保守を行うもの システム使用料（使用料） … 7,634千円 チャージ環境提供手数料（手数料） … 54,109千円 ○加盟店の獲得やコールセンターの運営等事務局の運営を行うもの 事務局経費（委託料）… 24,450千円 ○健康ポイントを発行・管理するためシステム及び利用者アプリケーションの運用・保守を行うもの システム使用料（使用料） … 12,210千円	<デジタル地域通貨による地域活性化>  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋1,200人） ②加盟店舗数（＋400店） ③ICHICOポイント付与（＋65,680千円） ④健康ポイント事業Arucoへの新規参加者数（＋4,000人））	関連URL	調整中

事業概要【大規模スポーツイベントを契機としたトップスポーツチーム連携による交流・関係人口創出事業】

推進当初

申請者	千葉県船橋市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	79,000千円（49,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	船橋市内で実施する初の全国規模のスポーツイベントとなる、B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025を契機とし、多様なステークホルダーに、本市をホームタウン等として活動するトップスポーツチームを地域資源と捉えてもらうとともに、そのイベントの効果を一過性とさせないよう、各ステークホルダーが継続的に連携を推進する体制を整え、ブランディングやシティプロモーション等の取り組みを実施することで、新しい交流・関係人口を創出し、地域活性化・経済活性化を推進するとともに、チーム応援の機運醸成に繋げていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	以下に掲げる事業を実施する委員会を設立し、船橋市、チーム、経済団体等様々なステークホルダーが連携する体制を整え、交流・関係人口増加に向けブランディング・シティプロモーション等の事業について、自立性をもって継続的に検討・実施する体制となるまでの期間、その費用を補助する。 ○オールスター付帯企画に係る補助金　34,000千円（以下補助対象事業の想定） ・場外イベント（パブリックビューイング、県内魅力発信エリアの展開 等） ・オールスターウィーク（市内主要駅周辺店舗におけるデジタルスタンプラリー、選手会見 等） ・宣伝広告（シティドレッシング、イベントパンフレットの作成 等） ・委員会設立・運営 ○スポーツチーム連携推進事業への補助金　15,000千円（以下補助対象事業の想定） ・地域活性化イベント（パレード、報告会、パブリックビューイング、ファン感謝祭 等） ・チームPR・シティプロモーション（屋外装飾、プロモーション動画作成、コラボレーション商品制作販売 等） ・委員会設立・運営	 ©CHIBAJETS FUNABASHI	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（＋4,850人） ②市外から流入した滞在人口（＋4,500人） ③船橋市プロスポーツ等連携推進委員会が実施する連携事業数（＋10事業）	関連URL	調整中

事業概要【手賀沼エリアの水辺観光拠点化推進事業】

推進当初

申請者	千葉県柏市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	59,000千円（27,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・コロナ禍を経て，生活や価値観も多様化し，自然環境で過ごす時間や暮らしの需要が高くなっている。 ・手賀沼周辺地域は東京都心からも近距離であり，現在の暮らしの延長上で，都市の利便性を享受しつつも，手賀沼を中心とした水辺・自然環境の魅力や様々なコンテンツなどを体感・体験してもらうことで，暮らしのなかにある観光地，田園地域としてのモデルの確立を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○手賀沼周辺地域活性化事業 手賀沼エリアの奥手賀ゾーンの拠点において，それぞれの地域資源を活用したコンテンツの創出と強化に向けた事業等を実施する。 ・各種イベント等の企画実施に関する委託費：10,000千円 ・水辺空間を活用した賑わい創出実証委託費：3,000千円 ○TEGA GATE化推進事業 手賀沼西側の「キタカシゾーン」に中核になる北柏ふるさと公園の拠点化機能の向上に向けた検証及び手賀沼への公共交通機関からのアクセスを促進するためのイベント等を実施する。 ・観光事業の民間参入の可能性調査委託費：10,000千円 ・地域産品を活用したイベントに関する委託費：4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（手賀沼エリア）（＋100百万円） ②手賀沼エリアの観光施設の観光入込客数（＋146.50千人） ③各拠点にて実施したコンテンツの利用者数（道の駅しょうなん体験コンテンツ利用者＋水辺の拠点コンテンツ利用者数＋わしのや農業交流拠点活性化コンテンツ利用者数）（＋2,400人） ④手賀沼西側における新たな地域観光イベントの利用者数（＋12,000人）	関連URL	https://www.city.kashiwa.lg.jp/keiei/shiseijoho/keikaku/sonota/jinkovision.html

事業概要【暮らしを支える地域モビリティ・ミックス推進事業】

推進当初

申請者	千葉県勝浦市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	55,273千円（24,238千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	●公共交通空白地の解消 ●夜間の移動手段の確保による地域住民の安全確保及び観光振興 ●運行管理におけるデジタル技術の導入による利便性向上 ●モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●公共交通不便地域の解消に向けた新たな公共交通の運行（委託料等）9,850千円 ●夜間における移動手段の確保（委託料）2,662千円 ●デマンドタクシーにおける運行管理システムの導入（委託料等）8,910千円 ●地域公共交通活性化協議会の運営支援及び地域公共交通計画の進捗評価・見直し（委託料）1,353千円 ●公共交通を利用したお出かけツアーの実施（委託料）759千円 ●モビリティ・マネジメントに関するセミナーの実施（委託料）704千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲1,164人） ②人口における社会増減数（＋80人） ③市内路線バス利用者数＋デマンドタクシー利用者数＋新たに導入された公共交通の利用者数（＋3,100人） ④旅行消費単価（＋600円）	関連URL	調整中

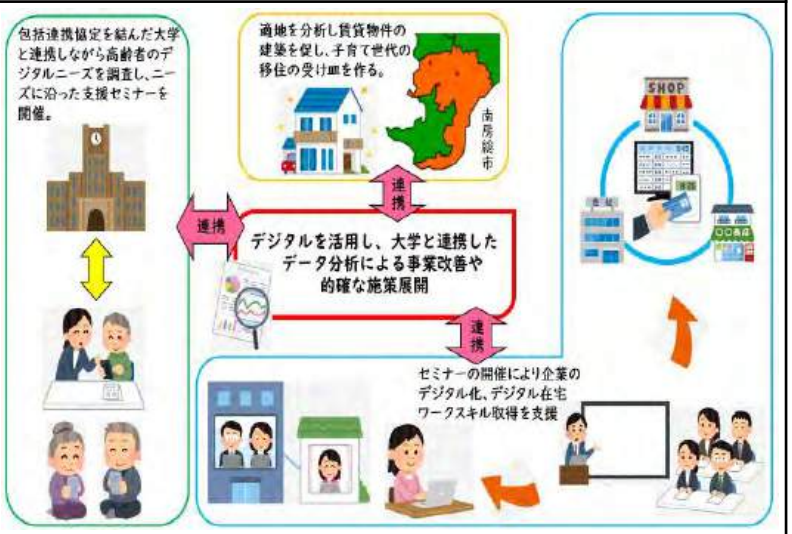
事業概要【我孫子市自転車観光推進事業】

推進当初

申請者	千葉県我孫子市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	18,706千円（9,086千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成 ・２４時間３６５日借りられる観光スマートサイクルの導入 ・自転車を切り口に個別性の高い多様な観光資産を一括して振興 ・第１次産業・第２次産業・第３次産業の一括振興と地域経済循環の改善をはかる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成 ・観光ポータルサイト制作費（委託料）　1,300千円 ・観光ポータルサイトホスティング費（委託料）　10千円 ・パンフレット制作費（委託料）　1,500千円 ・サイン看板作成費（委託料）　916千円 ・ポスター制作費（委託料）　152千円 ○観光スマートサイクルの導入及び運営 ・設置費（委託料）　273千円 ・運営費（委託料）　1,343千円 ・管理費（委託料）　234千円 ・備品購入費　3,358千円	 自然と文化と食に恵まれた地域 多様な観光資産を一括振興 →地域経済循環の改善へ	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋13,525百万円） ②ポータルサイトの訪問者数（＋19,753.33人） ③ポータルサイトの新規訪問者数（＋98,676.67人） ④スマートサイクルの貸出回数（＋11,293.33回）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【デジタルを活用した地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	千葉県南房総市、千葉県館山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	117,597千円（39,199千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・デジタルを活用し大学と連携しながら、効果的な施策展開、事業見直しを実施する。 ・民間事業者に本市での賃貸住宅事業への参入を促すとともに、入居から市内定住への流れを作る。 ・市内のデジタル化を図るため、伴走支援セミナー等を開催する。 ・大学と連携し、高齢者のデジタル社会への対応を支援するため、デジタル活用セミナーを開催する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大学と連携し、より高度な分析結果の算出、施策展開体制を整備 ・要因分析経費（委託料）：1,000千円 ○企業・市民をターゲットにデジタル化の伴走支援の実施や市内事業者を対象にデジタル化導入、市内進出する事業者・起業家に対して、事業拡大や起業に関する経費に補助 ・市内事業者デジタル化セミナー等開催（委託）：8,800千円 ・デジタル人材スキルアップセミナー等開催（委託）：3,500千円 ・企業のデジタル化機材等導入に対する補助金：10,000千円 ・事業拡大、起業のための機材導入に対する補助金：15,000千円 ○高齢者を対象としたデジタル活用セミナーを実施 ・調査研究業務及びセミナー業務委託（委託）：899千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのＵＩＪターン数（+9人） ②デジタル導入企業数（+48社） ③デジタル人材スキルアップセミナー参加者における就労者数（+63人） ④65歳以上の総合健診申込における、インターネット予約の割合（+4.50%）	関連URL	調整中

事業概要【海業推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	81,890千円（40,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 漁業者を中心として、地域の水産物や海、漁村の魅力を発掘して新たな経済的資源として活用するサービス産業「海業」に地域内・外の関係者や企業を巻き込んで取り組み、地域の新たな産業と雇用を創出する • 「海業」を地域の基幹産業として定着させ、天然の水産資源のみに頼らない継続的な地域活性化による定着人口の増加を図る • 成功事例を横展開し、地域の特徴を活かした海業を県下全体への拡大を実現する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域特性を活かした海業のモデル事業の実施によるビジネスモデルの創出【かながわ海業モデル創出事業】 • 外部委員によるモデル地域選定費　55千円 • 委託費　19,500千円（漁業者、企業、市町で構成するグループに委託：３地域） • 外部委員によるモデル事業評価経費　445千円 ○海業に活用可能な地域資源（漁村・海の魅力）の抽出と海業参入促進のための本県に適した海業の企画・提案【海の魅力の掘り起こし事業】 • 委託費　20,000千円	 漁船クルージング 地域水産物の活用	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地方へのＵＩＪターン数（＋1,950人） ②海業推進事業に係るマッチング件数（＋12件） ③海業人材育成プログラム参加者数（＋120人） ④海業のスタートアップセミナー及びシンポジウムの開催回数（＋6回）	関連URL	（交付金の実施状況及び効果検証） https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihousousei-kofukin.html

事業概要【本県農業の将来を担う経営体育成プロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	159,583千円（56,861千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・本県農業をけん引するモデル経営体を育成するとともに、本県の農業経営体や産地の全体的なレベルの底上げを図り、目指すべき農業構造への転換を加速させる。 ・著しい気候変動の中でも安定した生産を維持し、農業者の所得を確保するとともに、食料の安定供給の面で我が国の食糧基地としての本県の役割を果たす。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①将来の本県農業を担う経営体等の育成 ○モデル経営体の育成 ・外部専門家による経営発展サポート（委託料）10,800千円 ○収益性の高い園芸産地の育成 ・外部専門家を活用した先進的な取組実証（委託料）4,500千円 ○次代を担う農業人材の確保・育成 ・人材確保・育成に係る取組支援（補助金）3,000千円 ・人材確保・育成に係る研修会の実施（委託料・使賃料）3,500千円 ②異常気象に対応した技術開発・指導 ○新たな新潟米生産振興の基盤整備 ・プラットフォーム実証（委託料）15,889千円 ・高温耐性品種の品質安定化（報酬費）396千円 ○新潟米の安定生産技術の開発 ・生育予測システムの構築と水稲モニタリング技術等の開発（需用費等）18,776千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+404億円） ②新規就農者数（+840人） ③DX化した地域のうち水稲うるち玄米の１等級比率県平年値以上地域数（＋20市町村）	関連URL	調整中

事業概要【デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	270,032千円（69,054千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・幅広い世代や雇用形態の雇用を掘り起こし、さまざまな業界・業種の企業に対し多様な人材活用を促しながら、 双方の円滑なマッチングを促進し、労働力を確保する。 ・これまで働きたくても働けなかった人が、時間や場所に捉われずに働ける就労スタイルや副業・フリーランスなどの働き方を実践できるよう、人材の育成・普及や企業の人材活用促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ギグワーク（単発・短時間の働き方）や在宅テレワークなど多様で柔軟な働き方を実践できる就労マッチングプラットフォームの構築 〈マッチングサービスの開設・運用〉 ・アプリケーション・ウェブサイトの制作、運営等（委託料）13,635千円 〈働き手の掘り起こし〉 ・意識醸成・人材発掘セミナーの開催等　（委託料）3,227千円 〈企業に対する多様な人材活用促進〉 ・ギグワーク人材活用促進セミナーの開催等（委託料）8,227千円 ・業務デジタル化に向けた組織内の人材育成（補助金）2,400千円 ・インターンシッププログラムの制作　等（委託料・補助金）11,000千円 ○多様で柔軟な働き方を実践できる潜在的な雇用の掘り起こし 〈在宅テレワーカーの育成〉 ・在宅テレワーカー養成講座の開催等（委託料）19,710千円 〈企業に対する在宅テレワーカー活用促進〉 ・業務切り出しワークショップの開催　等（委託料）10,855千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋29,628人） ②デジタル技術を活用したマッチングプラットフォームにおける企業の求人件数（＋120,750件） ③多様な人材活用を図る取組企業のネットワークに参画する企業数（＋30社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/tihou/sosei2020/soseikaigi/soseikaigi2023.html

事業概要【地域の担い手育成と潜在資源の活用による持続可能なまちづくり事業】

推進当初

申請者	新潟県新潟市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	100,900千円（22,900千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・将来を担う若い世代が集い、考え、活躍する場として「まちの仮想学校」を設立する ・地域資源を活かし、地域の魅力づくりに貢献できる事業者を育成し、リノベーションまちづくりを推進する ・上記取組により、地域で活躍する民間プレイヤーを増やし、活力あふれる・持続可能なまちづくりを推進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様なつながりをつくるコミュニティの形成 ・「まちの仮想学校」を設立し、まちに関わる講座やフィールドワークを実施（負担金）6,000千円 ○潜在資源の活用促進 ・建物単体の再生を超えてエリアの価値向上に取り組める人材を育成し、「にいがた2km」のリノベーションまちづくりを推進（委託料）13,400千円 ・郊外におけるモデル事業として、「松浜地区」のリノベーションまちづくりを推進（負担金）3,500千円	 「（仮称）にいがた2km学校」のイメージ 福井市では、都心のまちづくりの一環として「ふくまち大学」を令和4年度から実施	 「リノベーションスクール」のイメージ 実際の不動産を活用し、新規事業化に取組む。全国各地で事業を行うコーチが伴走
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲18,606人） ②本事業を通じた育成人材による地域活動の実施件数（+12件） ③「まちの仮想学校」参加者数（+1,200人） ④本事業を通じた空き店舗活用数（+5件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/niigata2km/project/kaikou.html （効果検証） https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/tihou/sosei2020/soseikaigi/soseikaigi2023.html

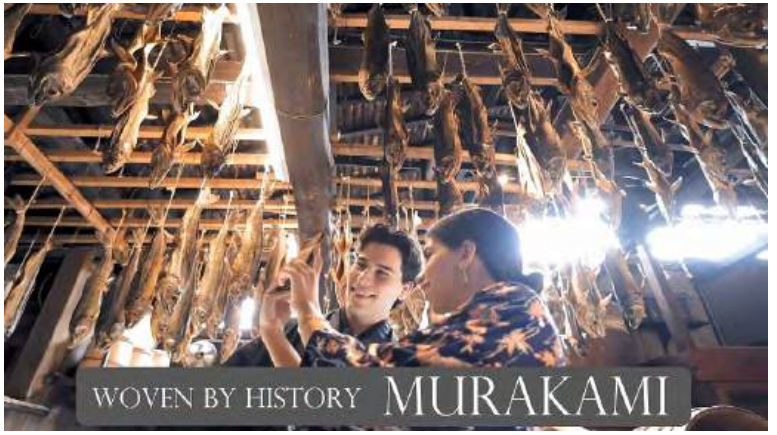
事業概要 【「脱炭素」を軸とした新産業創出・産業振興の推進】

推進当初

申請者	新潟県長岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間内の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	224,482千円（62,994千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内企業が生み出した環境価値(CO2削減量)のクレジット化・運用により、市内産業全体の脱炭素化に向けたスキームを構築する。 ・国内有数のパワーエレクトロニクス研究拠点(長岡技術科学大学)を有する本市の優位性をPRし、関連産業の拠点化に向けた取組みを進めていくことで企業・人材の集積による産業振興と地域活性化につなげる。 ・資源循環＝脱炭素化に資する産業創出に向けた取り組みを進め、新分野の産業振興や雇用創出につなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	**１.市内産業の脱炭素エコシステムの構築** 市内企業が生み出した環境価値を集約し、J-クレジットとして登録するプロジェクトを実施するとともに、取り組み促進のため、市内企業の再生可能エネルギー導入支援を実施 ・クレジット集約・登録・運用経費　（負担金）1,500千円 ・市内企業の再生可能エネルギー導入事業補助金及び関連経費 （補助金）20,000千円（謝金）82千円 ※再生可能エネルギー導入によるCo2削減分をクレジットとして提供することを補助要件とする。 **２.脱炭素関連産業の振興** パワーエレクトロニクス産業の集積に向け、国内最大級の関連産業展への参加により、本市の優位性を対外的にPR ・産業展示会出展経費（負担金）1,250千円 **3.バイオエコノミーの推進** 有機廃棄物を「地域の未利用資源」として活用する、資源循環に資する産業創出や新規事業に対し支援を実施　（補助金）40,000千円（謝金）162千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に関連する事業における市内の新規雇用者数（＋75人） ②市内に新たに創出された事業件数（＋6件） ③Jークレジットプロジェクト参加企業数　（＋15社） ④市内のパワーエレクトロニクス産業関連企業数（＋12社）	関連URL	https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate11/senryaku/index.html

事業概要【村上からMURAKAMIへ　世界へ向けた村上の観光推進プロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県村上市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	25,300千円（8,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	村上市は新型コロナ収束以降の観光入込の回復が滞っており、認知度不足や新たな旅行ニーズへの対応が課題。当事業では万博を契機に、関西を中心とした国内及び国外へとプロモーションを広げ、観光誘客を強化。本市の「鮭の食文化」をはじめとする豊富な食材・自然・歴史文化を官民連携やテクノロジーを活用して観光誘客と産業振興を促し、受入体制の整備を進めることで、村上からMURAKAMIへ、国際基準の観光地への変革を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○関西への情報発信強化と、観光物産フェアなど現地プロモーションを展開し、関西を中心に国内誘客を促進させる 【委託料】3,250千円 ○海外インフルエンサーと連携し、SNS等を通じた情報発信のほか、インバウンド向けツアーの造成等を行う 【委託料】2,750千円 ○インバウンド誘客強化と並行して、多言語パンフレット等の作成など受入体制の整備を進める。 【負担金】1,500千円 ○観光および地域経済の波及効果等をタイムリーに測定し、より事業の実効性を高めるための分析ツールを導入する 【委託料】1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋10,314万円） ②観光客入込数（+626,337人） ③②のうちインバウンド誘客数（＋256人）	関連URL	https://www.city.murakami.lg.jp/

事業概要【燕ならではの「人材育成と雇用創出の好循環」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	新潟県燕市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	82,319千円（32,981千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・子どもや若者の社会的スキルや勤労観・職業観の育成、地域への誇りや貢献意識の醸成に取り組むことで、若者の地元就職・Ｕターン就職や市内の若手社員の定着や人材育成を推進する。 ・市内企業や製品の魅力を広く発信することで、市内企業に対する認知度とブランド力の向上を図る。 ・新たな産業の創出や、企業誘致活動に戦略的に取り組むことで、本市への将来的な若者流入を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○社会的スキルや勤労観・職業観の育成 ・小・中学生リーダー育成講座の開催（委託料ほか）1,341千円 ・キャリア教育講演会や職場体験の実施（委託料ほか）3,825千円 ・STEAM教育の実現化（委託料ほか）1,343千円 ・高校生企業見学や講演会の開催（バス借上料ほか）1,273千円 ・若手社員スキルアップ研修開催（委託料ほか）475千円 ○若者と市内企業との接点の創出 ・燕三条魅力発信イベント開催（負担金）18,753千円 ・イベント等での燕ブランドプロモーション（広告料ほか）2,250千円 ○若者にとって魅力ある仕事・職場の創出 ・新たな産業の創出をサポート（謝金ほか）721千円 ・産業用地開発ビジョンの策定（委託料）3,000千円	 ▲ STEAM教育実現化プロジェクト（イメージ）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋120人） ②24歳以下の有効求人倍率（巻公共職業安定所管内） （▲0.42） ③従業員4人以下の事業所における新規学卒（高校卒）就職者の就職後 ３年以内離職率（新潟労働局管内）　（▲15%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1316.html （効果検証） https://www.city.tsubame.niigata.jp/soshiki/kikaku_zaisei/1/2/1359.html

事業概要【上杉謙信公から繋がる歴史・文化をいかした通年観光～越後の都 誇れる上越の３つの暮らしと心意気～】

推進当初

申請者	新潟県上越市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	137,766千円（49,326千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	観光という手法を用いて魅力的な歴史・文化資産などの地域資源を更に付加価値の高い観光資源として継承し、歴史・文化を伝承することにより、『「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立』、『ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客』、『通年観光の効果が地域全体に及ぶ取組』を進め、市民のまちへの愛着や誇りの醸成、地域資源をいかした生業の創出を図り、若者が帰ってきたくなるまち、若者・女性が働きたくなるまちづくりを目指すもの		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光コンテンツ検討事業 ・観光コンテンツ計画策定業務委託料　10,461千円 ○回遊観光戦略・観光施設基本構想検討事業 ・回遊観光戦略・観光施設基本構想策定業務委託料　9,944千円 ○鉄道遺産群活用基本計画検討事業 ・鉄道遺産群活用基本計画策定業務委託料　9,911千円 ○屋台会館・海浜公園賑わい創出事業（秋・冬） ・屋台会館・海浜公園賑わい創出事業（秋・冬）委託料　14,982千円 ○観光PR用媒体管理委託 ・観光PR用媒体管理業務委託料　2,510千円 ○久比岐自転車道誘導用路面標示設置事業 ・久比岐自転車道誘導用路面標示設置工事費　1,518千円	 ＜春日山城エリア・観光拠点エリア等の将来イメージ＞ ＜直江津屋台会館・海浜公園＞ ＜直江津D51レールパーク（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋7,244円/人） ②春日山地域の観光入込数（＋50,055人） ③高田小町の観光入込数（＋3,936人） ④直江津D51レールパークの観光入込客数（＋1,881人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） • https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/soumukanri/shokanjimu-soumu.html • https://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kikaku/kyougikai-soukai-kaisaikeika.html

事業概要【地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業】

推進当初

申請者	富山県ほか13自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	521,102千円（179,034千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	県民のウェルビーイングを向上させる最適な交通サービスを実現するために、地域の「投資」と「参画」を得るとともに、本県が有する鉄軌道ネットワークという「財産」をまちづくりに活かし、地域による駅を中心とした交通まちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●まちづくりと連携した駅の機能強化に対する「投資」事業 ・観光案内所の機能向上等　負担金17,490千円　ほか ●鉄軌道サービスのレベル向上と地域内のモビリティサービスに対する「投資」事業 ・鉄軌道サービスのダイヤ平準化の取組み補助　33,268千円　ほか ●地域交通ネットワーク内の移動・交流の創出に対する「投資」事業 ・システム開発費やプロモーション費の支援　補助金10,000千円ほか ●地域の活力・魅力向上のための「参画」促進事業 ・新たな移動サービスを立上げる取組を支援　補助金30,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲30,755人） ②中心市街地等の歩行者通行量（富山市・高岡市の中心市街地及び駅周辺の歩行者通行量）（+342人） ③県民１人当たりの地域交通利用回数（+5.1回） ④県内の自動車保有台数（貨物・特殊車両除く）（▲53,580台）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【「寿司」を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業】 推進当初

申請者	富山県ほか５自治体※	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	862,950千円（278,040千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	多くの方に富山県を認知し、関心を持ってもらえる状態を作り出す必要があるため、寿司をキーワードに戦略的に富山県の魅力を伝え、富山県の価値を高めるための地域ブランディングを推進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●ブランド確立に向けた展開 ・寿司をはじめとした食の魅力を発信するイベント開催、WEB等を活用した情報発信の取組み　委託料10,000千円ほか ●プロモーション等による消費喚起に係る取組み ・海外旅行エージェント向けの寿司をはじめとした食の魅力、伝統工芸やワークショップ等の観光プロモーション　委託料　16,000千円　ほか ●ブランド基盤を支える取組み ・若手寿司職人育成イベントに関する取組み　委託料1,924千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+184億円） ②担い手育成関係事業に参画した人数(+47人) ③磯根資源養殖生産量（+2.1トン） ④主要都市圏で「寿司と言えばイメージする都道府県」で「富山県」を第一想起する方の割合（+31.1%）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、射水市、氷見市、黒部市の広域連携事業

事業概要【市民との協働による地域課題の解決と付加価値の創造による持続可能なまちづくり事業】

推進当初

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	206,044千円（44,647千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	少子・超高齢化による人口減少が進行する中で、市民が積極的に地域活動に参加する機運を高め、様々な活動において行政・市民・企業等が協働し地域の抱える課題の共有や解決に取り組むことで、地域住民同士の連帯感の醸成、コミュニティの活性化につなげる。また、様々な取組を通じて付加価値を創造し、現在の市民だけでなく、次世代の市民となりうる人にも積極的に「選ばれるまち」となることで、持続可能なまちづくりを実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 「富山市に住み続ける・帰ってくる・貢献する」意識の醸成 （1）「それって富山市！？」プロモーション事業 （委託料） 8,300千円 （2）移住受入促進事業（委託料）2,750千円 2 持続可能な付加価値創造事業 （1）富山市版オリジナルSDGs学習ボードゲームの開発 （委託料）5,000千円 （2）SDGs先進中小企業ミートアップツアー （委託料）4,000千円 3 地域の活性化に向けた取組 （1）「教育×交通」共創モデル創出事業（委託料）10,000千円 （2）学校跡地等活用事業 （委員報酬、報償費、費用弁償、印刷製本費、手数料、委託料） 9,597千円 （3）「TOYAMAまちなか音楽祭」事業（委託料）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山市の世帯数（＋3,450世帯） ②富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数（＋46,729人） ③県内大学卒業生の県内就職率（＋4%）	関連URL	https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html

事業概要【若者・女性のキャリア発信及び起業・開業・就業支援プロジェクト】 推進当初

申請者	富山県高岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	86,970千円（28,790千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・やりがいのある仕事が少ないというイメージを変えるため、多様な職種があることや本市でキャリアを積んでいくことができることを発信し、学生の市内定着やUターンを促進する。 ・地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスの起業など、地方での新たなしごとを創出する。 ・人手不足が課題の分野での就業を支援し、人材確保を図るとともに地方へ人の流れを創出する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学生を対象として、市内企業の仕事を体験するインターンシップの機会や女性先輩社員のキャリアについて話を聞く機会を創出 ・インターンシップ運営、動画の制作（広告費）600千円（委託料）8,690千円（うち対象外経費5,000千円） ○学生とともに課題解決に取り組む企業への支援 ・地域課題解決に取り組む企業への支援（委託料）500千円（消耗品費）160千円（郵便料）40千円 ○新たなビジネスの創出を模索する人・団体と、地域課題をつなぐマッチングや人材育成セミナーを実施 ・マッチング、セミナーの実施（委託料）8,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口のUIJターン数（＋300人） ②創業件数（累計）（＋360件） ③県外大学等卒業時に就職した者に占める県内Uターン就職者の割合（＋2.6%） ④転入・転出の均衡（＋362人）	関連URL	https://www.city.takaoka.toyama.jp/gyosei/gyoseijoho/seisaku_keikaku/13/6870.html

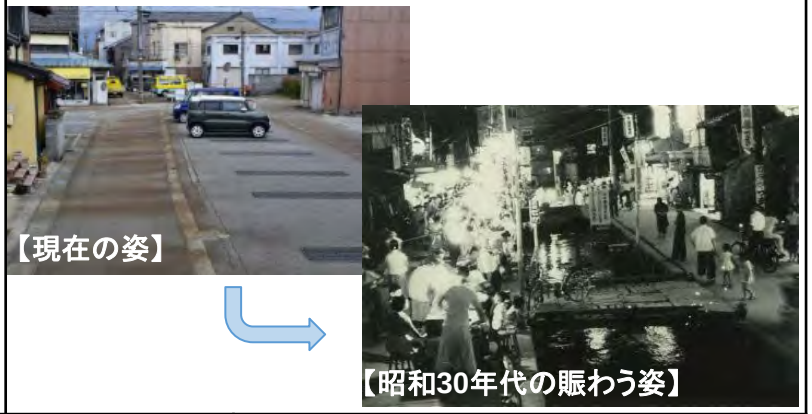
事業概要【人と水がめぐるまち。魚津市活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県魚津市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	13,333千円（4,298千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・担い手として、外国人を含めて市外からのマンパワーを活用し、地域活動・地域産業の活性化を図る。 ・まちの活性化に寄与する人材の発掘、発掘した人材を育成・活用する体制を構築する。 ・域外人材と地域住民との交流により関係を深化させ、地域内での内発的発展に繋げる。 ・魚津市に関心・愛着を持ってもらい、「第二のふるさと」として将来的な二拠点居住・移住に繋げる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○たてもんFAN CLUB　魚津のタテモン行事を国内外に活動をPRし、通年でタテモンに携わるサポーターを増やす。たてもんFAN CLUB設立等(委託料)1,000千円 ○博物館ワーケーション　夏休み期間に魚津水族博物館・埋没林博物館を活用し、子どもは自由研究、親はコワーキング等でテレワークを行い、地域の親子との交流を図る。企画・運営（委託料等）650千円 ○社会課題解決型実証実験「ローカルスタートアップ育成プログラム」本市に関心・興味を持つ都市部在住者が対象。地域課題を解決する人材を育成するプログラム企画・運営(委託料）2,000千円 ○関係人口人材育成　若者を中心とする地域主体の交流事業（委託料）648千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数　（＋90人） ②市の関係人口事業に参加するリピート数　（＋89人） ③本事業の域外参加者を受入する人材・事業者数　（＋30者） ④定住応援室が運営するSNSのフォロワー数及びHPアクセス数（＋32,068人）	関連URL	https://www.city.uozu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=8497&topkb

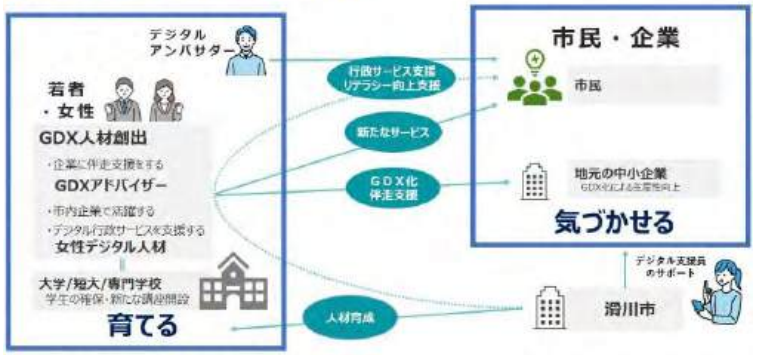
事業概要【旧町部の歴史文化や公共空間を再活用したまちづくりと観光拠点との連動による「街の再生」プロジェクト事業】

推進当初

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	43,000千円（17,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	旧町部エリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査、事業推進組織による一体的なプロジェクトマネジメントを実施し、賑わいと利便性の向上を図り、転入者等のまちなか居住の誘導を実現する。また、旧町部エリアと他観光拠点をAR・VRでデジタル連携し接続性の向上と周遊化を図ることで、域内滞在時間と消費額を向上させ、更なるまちの魅力向上と投資を呼び込み、より住みたいまちづくりを目ざす。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○旧町部エリアの中心地におけるエリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査 ・調査業務（委託料）11,600千円 ・エリアビジョン策定（委託料）5,400千円 ※同一の委託業務として発注予定		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（＋170人） ②旧町部エリアに新たに入居した空き家、空き店舗の数（＋35件） ③事業を通じて来客数が増加した店舗の数（＋22件） ④情報コンテンツの利用回数（＋177,500人）	関連URL	https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/4/1/8506.html

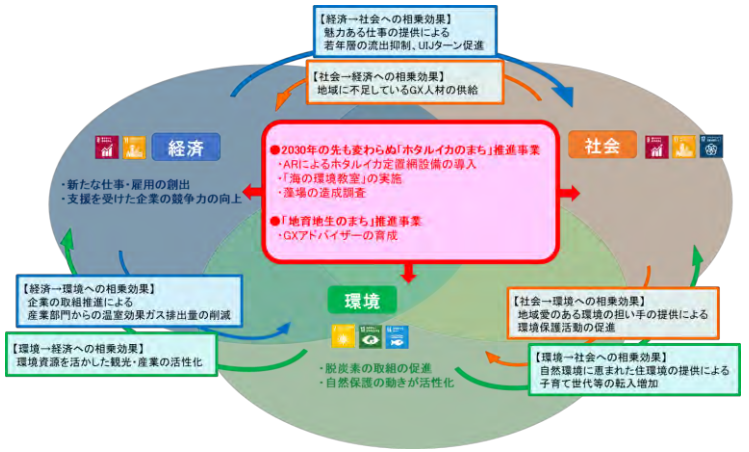
事業概要【デジタル人材育成により実現する滑川イノベーション事業】

推進当初

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	126,970千円（26,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	市内の中小企業・個人事業主に対してGX・DXの伴走支援を行うことで、選ばれ続ける元気な企業づくりを推進するとともに、伴走支援を行うアドバイザーを、地域の人材が担えるように人材育成を行いデジタル人材の地産地消による地域経済の好循環を実現する。併せて女性の活躍支援や地域のデジタルリテラシーの向上を目的とする人材育成等を行い、市全体のDXや地域コミュニティの活性化等総合的な地方創生を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○GX・DXの啓発（セミナー開催・事例集作成等）や伴走支援を行うイノベーションセンターの運営（19,151千円） ○GX・DXアドバイザーの育成（1,561千円） ○地域コミュニティーのデジタルリテラシー向上を担うデジタルアンバサダーの育成（1,200千円） ○デジタル機器を持たない・使えない方向けのリモートサービス検討に係る実態・ニーズ調査、事業計画費用（4,388千円）	滑川イノベーション事業（概要）  人を育て、GDXの必要性を市民・企業に気づかせ、サービス提供を行う	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋47人） ②アドバイザーの支援を受けた市内中小企業の営業利益増加率（平均）（＋5%） ③事業をきっかけに新たにデジタル機器・サービスを利用した高齢者等の人数（＋710人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/4/1/8506.html

事業概要【「笑顔いっぱい　幸せいっぱい　光り輝く　滑川」プロジェクト】

推進当初

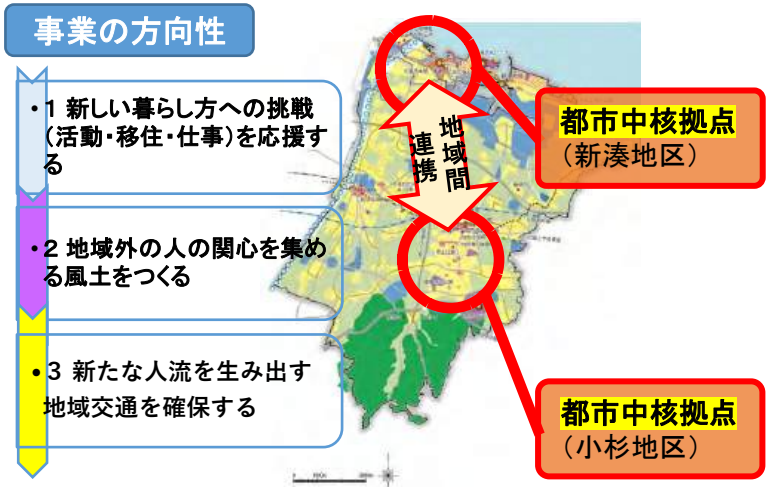
申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	29,012千円（11,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備の導入や藻場造成に関する調査を大学機関等と連携して実施することにより、子どもたちを中心に郷土愛を醸成し、ホタルイカが棲息する豊かな海を守る取り組みにつなげる。また、地域において不足しているGX人材を育成し、地域で人材を共有する仕組みを構築することで、地域全体でのカーボンニュートラルの取組を推進するとともに、地域に新たな雇用を創出する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○2030年の先も変わらぬ「ホタルイカのまち」推進事業 ・AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備のコンテンツ制作 （委託料）　8,000千円 ・AR体験に伴うタブレット等のハード整備 （備品購入費）　2,000千円 ○新たな仕事や人材が生まれ育つ、「地育地生のまち」推進事業 ・GXアドバイザー育成　（委託料）　1,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口の増加数　（＋10人） ②進学・就職期（15～24歳）の若者の社会動態の増加数 （＋24人） ③ほたるいかミュージアム入館者の増加数（＋6,000人） ④GXアドバイザーの派遣を受けた企業数（＋50件）	関連URL	調整中

事業概要【誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県射水市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	466,215千円（164,291千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	空き家や空き店舗を地域資源として捉えて、それらを活用して新しい暮らしや仕事を始めたい人がチャレンジしやすい環境をつくることで、日常的に人が集い交流が生まれるエリアを生み出す。さらにエリアの魅力を広く発信して地域外からの関心を集め、合わせてエリアへのアクセスの利便性を向上させる2次交通を確保してエリア内外の人の流れを創出することで、持続可能な好循環が生まれる地域づくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●新しい暮らし方への挑戦（活動・移住・仕事）応援事業 ・空き店舗と創業希望者とのマッチング事業　29,000千円 ・空き店舗調査事業（委託料）5,000千円 ・空き物件チャレンジショップ応援事業（補助金）16,000千円 ・移住・空き家トータルサポート（委託料）23,191千円 ・ウォーカブルなまちづくり推進事業（補助金）6,000千円 ●エリア外の人の関心を集める風土づくり事業 ・魅力的なまちなみ形成事業（委託料）5,000千円 ●新たな人流を生み出す地域交通事業 ・電動キックボード等の新しい移動手段の実証運行（委託料）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新湊及び小杉地区の旧市街地エリアの人口（▲432人） ②空き物件チャレンジショップ応援事業補助金交付件数（＋10件） ③あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数（1日あたり）（＋180人） ④内川エリア（川の駅新湊）年間来訪者数（2,400人）	関連URL	https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=17455

事業の方向性



事業概要【SDGs de 移住・関係人口創出プロジェクト】

推進当初

申請者	富山県上市町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	29,020千円（5,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・子どもを産み育てられる環境をつくり移住促進を進め、若い世代の流出に歯止めをかけ人口増加を図る ・出会いの場の創出や人との交流をつくる魅力あるイベントの場の提供や情報発信を進め、出生数の増加に努め、少子化対策を図る ・町民が自分の町に愛着を持ち自信を持つよう意識改革を促し、情報発信や地域での連携を進め、認知度を高めるための戦略的ＰＲを図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住者に選ばれる町、社会増を目指す ・どこにも負けない移住・子育て情報発信事業 セミナー開催、記事や動画作成経費 （委託料2,000千円） ・関係人口拡大に向けた、移住×人×特産品×ICTを掛け合わせた情報発信及び首都圏で直に魅力を伝える交流会 情報発信、交流イベント経費　（委託料3,500千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋31人） ②人口の社会増減（＋75人） ③合計特殊出生率（＋0.39）	関連URL	https://www.town.kamiichi.toyama.jp/

移住者で人口社会増！

少子化対策で自然増！

積極的な情報発信！

事業概要【地域資源の磨き上げ･地域外への販売力向上で働きたくなる地域商社魅力向上事業】

推進当初

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	37,680千円（11,100千円）
事業タイプ･類型	地方創生推進タイプ･横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 地域商社に商品企画、ブランディング、マーケティングを扱う新部門を設立し、雇用した担当社員の創造力と行動力で既存商品をブラッシュアップし新たな人気商品を生み出す仕掛け人となってもらう。また、活力と魅力ある職場を作り、働きたいと思わせる企業に地域商社が育ち、地域の力が立ち上げた独り立ちの覚束ない資源を牽引する存在となっていくことが目的である。 • 地域商社の新部門によって磨き上げられた特産品や、大学や企業等と共同で開発した新商品等をまちなかファームで販売し、(仮称)観光物産コンダクターの手により消費地（観光地）である立山黒部アルペンルートにも展開され、経済循環の展開にもつなげる。		
事業概要･ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○域内既存商品の域外販路拡大事業に係る経費 ・マーケティング調査、ブランディング検討、地域通貨「たてポ」システム改修など（委託料）7,000千円 ○域内産業資源の新たな特産品（商品）開発事業に係る経費 ・町が連携協定を締結する大学や企業等との商品開発など（委託料）4,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育ローン等返済応援補助金を利用して立山町にUターン就職した者の数　（＋15人） ②地域商社で取り扱った地域産品の売上額（＋3,100千円） ③地域通貨「たてポ」総利用額（＋11,000千円）	関連URL	https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/hishoseisakukakari/3/2/9434.html（現在準備中）

事業概要【創造的復興に向けて人の流れを創る能登の魅力発信事業】

推進当初

申請者	石川県ほか９自治体※	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	352,500千円（61,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 能登半島地震からの早期復興を目指すため、国内外に継続的な支援を呼びかけるとともに、能登の主力産業の再建と次世代への継承に向けて、能登にかかわる関係人口を拡大し、新たな人の流れを創出する • 地震で得た教訓やノウハウを県民・国民全体で共有し、災害に強い持続可能な地域づくりに取り組む		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○能登半島地震デジタルアーカイブ構築 ・震災関連資料の収集、デジタルアーカイブ構築 （委託料）35,000千円 ○世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信 ・県内外のイベントへの共同出展等（補助金）21,600千円 ○海女文化の継承・振興 ・首都圏でのPRイベントの開催等（委託料等）2,800千円 ○スローツーリズムの担い手確保 ・移住相談会への出展等　（委託料等）1,100千円 ○酒造業の復活支援 ・「共同醸造」で製造された商品のプロモーション （補助金）1,000千円		 能登の里山里海を代表する白米千枚田 輪島の海女漁 能登の地域を支える酒造業
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の転入出数　（＋663人） ②新規漁業就業者数（＋8人） ③農家民宿の新規開業者数（＋15人） ④震災後に奥能登で酒の生産を再開した酒蔵（＋7軒）	関連URL	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/miraikaigi.html https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/20150303.html#vision&senryaku

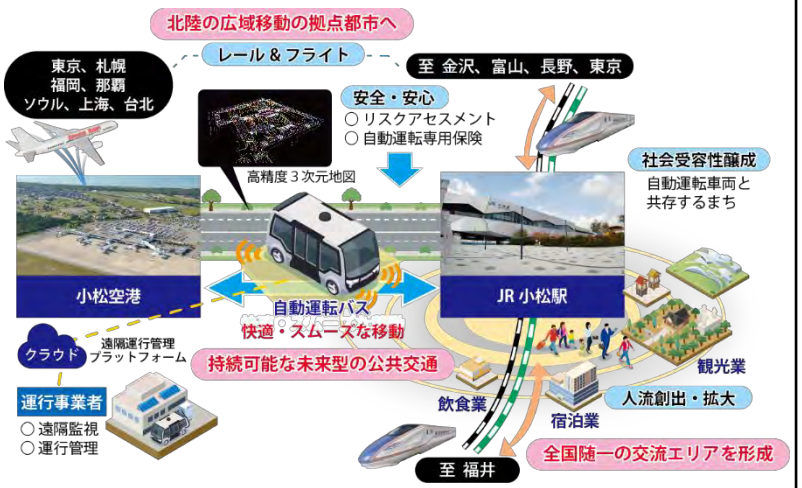
※石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町の広域連携事業

事業概要【多様な人々との協働による地域力再生プロジェクト】

推進当初

申請者	石川県金沢市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	443,910千円（147,670千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティを醸成する ・学都の強みを生かして次代の担い手を育成する ・人と活力の還流により地域の再生を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	１．多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成 ・多様な主体の協働により地域課題を解決する共創プラットフォームの運用等（委託料）3,820千円 ・外部人材が参画する商店街の交流イベントを支援（補助金）9,900千円 ２．学都の強みを生かした次代の担い手育成 ・意欲ある若い住民等で構成する「未来へつなぐ金沢行動会議」によるまちづくり施策の実践（委託料）3,900千円 ・大学と連携し、学生が地域課題の解決や地域の活性化に取り組む実践型の授業を開設（委託料)26,000千円 ３．人と活力の還流による地域の再生 ・学生の市内定着を図るため、市内の社会人と学生の交流会を開催（委託料）36,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋3,600人） ②多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合（＋6.40%） ③新規大学卒業者の県内就職内定率（＋1.50%） ④町会加入世帯数（＋906世帯）	関連URL	https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/6/3/9395.html

事業概要【小松市における２大交通拠点をつなぐ自動運転バスの安全・安心・安定した運行体制構築事業】 推進当初

申請者	石川県小松市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	457,100千円（98,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• 新幹線駅と空港の一体的利用を促し「レール&フライト」を拡大：北陸の広域移動の拠点都市へ • 駅・空港間の人の流れ創出・拡大により、新幹線と国際空港とが織りなす全国随一の交流エリアを形成 • 持続可能な未来型の公共交通へ転換。安全・安心・安定の公共交通として社会受容性も醸成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○自動運転技術の導入、実証実験、その他車両運用に関連して必要となる取組 ・技術導入・実証実験費用（委託料）71,610千円 ・運用・維持管理費（システム使用料・電気料）12,580千円 ○路線運行を通じた評価検証・運用改善事業 ・路線運行費用・運用面に係る検証評価（委託料）10,400千円 ○地域及び利用者の理解促進に向けた、情報発信・イベント開催 ・事業紹介用パンフレット、ポスター、デジタルコンテンツの作成、イベント開催（試乗会、小中学生を対象とした説明会）（印刷製本費、委託料、消耗品） 2,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 （▲615人・＋2,700世帯） ②空港連絡バス利用率（＋2.6%） ③小松駅周辺滞在者数（＋23万人/年） ④自動運転バス利用者満足度（＋0.7ポイント）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1028/rosenbasu/4/index.html （効果検証） 調整中

事業概要【子どもを対象とした将来への人材育成事業】

推進当初

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	116,790千円（31,270千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・先端技術を扱える人材の育成による、産業の多様化と成長の促進。 ・雇用を創出し、魅力ある高度な人材を加賀市に集積し、その人材が人材を呼び込むエコシステムの構築。 ・雇用の創出と多様な人材育成メニューによる子育て世代の流入。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○STEAM部活（※学校教育における部活動の位置づけのものではない） デジタル系の部活動を発足し、地域で運営する。 ・開催事業費（委託料）：7,270千円 ○インターナショナル・ロボット・プログラミング・コンテスト 子どもを対象としたAIやロボットに関連するプログラミング競技や作品製作を行うコンテストを開催する。 ・開催事業費（委託料）：20,000千円 ○デジタル活用スキルアップ事業 プログラミング教材のマイクロビットを使用し、外部講師を招聘した上で高度なプログラミング教室を行う。 ・開催事業費（委託料）：4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋120世帯） ②STEAM部の年間入部者数（＋155人） ③インターナショナル・ロボット・プログラミング・コンテスト参加者数（＋1,650人） ④KAGAものづくりラボ年間利用者数（＋3,300人）	関連URL	https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html

事業概要【イノベーションセンターを中心とした先端企業や人材の交流と地域内新産業の創出事業】 推進当初

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	61,430千円（18,430千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• スタートアップへの貸しオフィスであるインキュベーションルームや、先端機器を揃えたものづくりルームを備えた人材育成の拠点である「加賀市イノベーションセンター」を整備し、人材育成と交流の加速を図る。 • 上記を中心として、世代や業種を超えた人材交流や、そこから生まれるアイデアをベースとした新産業や新サービスの創出を促すことを目指した取組を実施するもの。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

〇デジタルファブリケーションハブ開催事業

▶ 先端技術に関する知識や技術の向上とコミュニケーションの場の形成を図るため、市民や市内企業および団体が利用できるデジタルファブリケーションハブを開催する。

▶ 新産業の創出や先端技術人材の育成を目的に、企業と学生、企業と企業の連携を目的に、課題解決のハッカソンをはじめ、様々な交流イベントを開催する。

▶ 企業と学校の連携機会のコーディネートを行う。

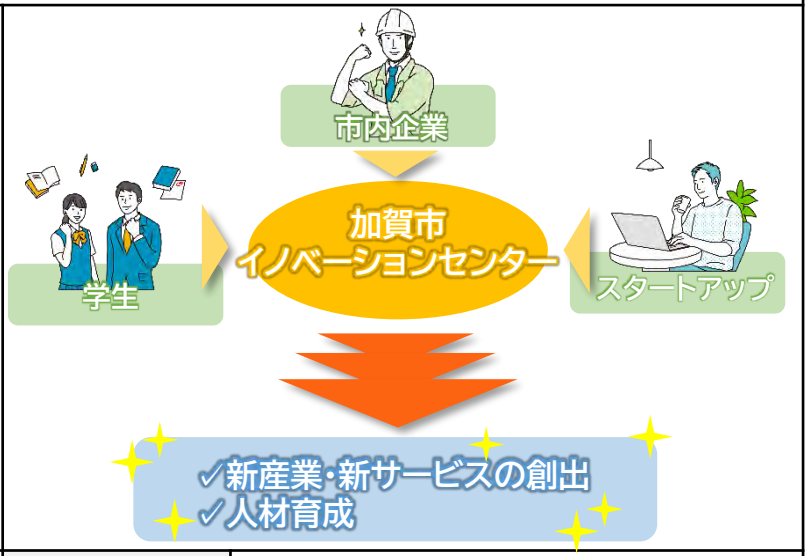
・開催費用：8,430千円（委託費）

〇コミュニティマネジャーによる連携支援

▶ 先端技術を活用するインキュベーションルーム入居者のメンタリングを行い、それぞれが持つ特性を理解し、相互にとって有益な連携を促すことを目的としたマッチングを行う。

▶ イノベーションセンター内でのコミュニティ形成を目的とした勉強会やセミナー等のイベントを開催する。

・連携支援費用：10,000千円（委託費）



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

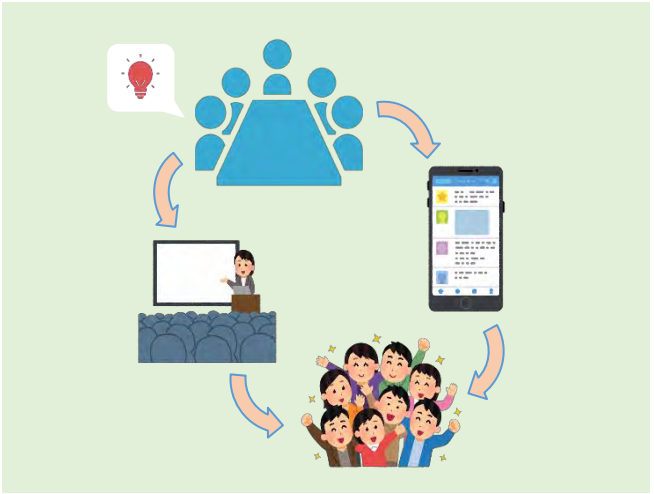
①地域へのUIJターン数　（＋120世帯）
②デジタルファブリケーションハブ年間利用者数（＋3,300人）
③デジタルファブリケーションハブから生まれた新商品および新サービス数（＋9件）

関連URL

（交付金の具体的使途・実施体制）
調整中
（効果検証）
https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html

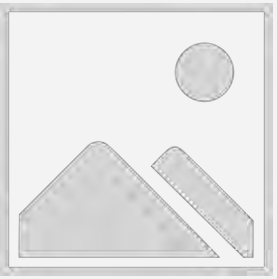
事業概要【ライフデザイン推進プロジェクト】

推進当初

申請者	石川県加賀市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	53,790千円（15,850千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• 人口減少と少子高齢化にともなう、年少人口、生産年齢人口の減少は、地域経済の縮小、地域活力の減少につながっており、これに歯止めをかけるべく、加賀市において結婚から出産、育児まで希望を持つことができるような施策に取り組むことで、出生数や転入者の増加につなげ、若年層が暮らし、子どもを産み育てられるまちを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○官民が連携して、結婚から出産、育児まで広い範囲で効果的な施策の実施に向けた協議し、若年層や事業者を対象とした講演会やセミナーを開催 ・団体設立運営費 500千円 ・若年層対象講演会・セミナー開催費 1,000千円 ・事業者対象講演会・セミナー開催費 1,000千円 ○加賀市の取組や「子育てに手厚い市」の積極的な情報発信や転入検討者対応 ・近隣自治体および市内向け情報発信費 6,194千円 ・市外の若年層向け情報発信費 7,156千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJ ターン数（＋45人） ②若年層(20～39歳)の転出者の減少数（▲35人） ③事業者・団体向け講演会・セミナー参加者数（＋60人） ④「子育てに手厚いと思う自治体」の回答割合（＋4.5%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.kaga.ishikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/seisaku_suishin/8/1596.html

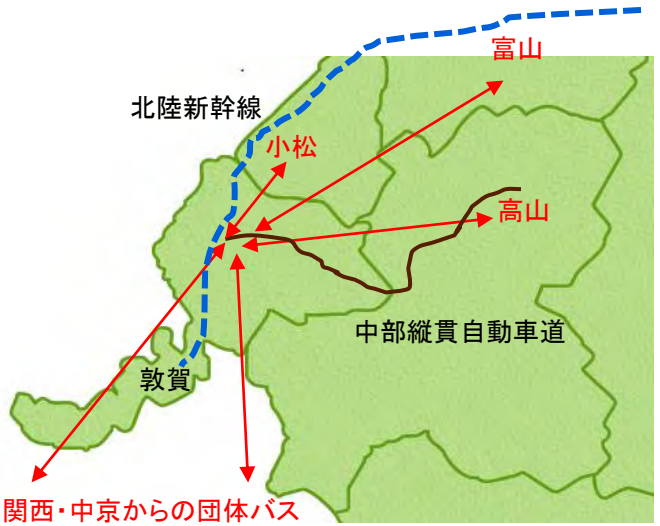
事業概要【スポーツによる交流人口拡大と地域活性化事業】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	43,023千円（12,301千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	スポーツによる新幹線開業効果の拡大 ・スポーツを応援する環境や、エンターテインメントとしてのスポーツイベントの運営体制を強化 ・多様なスポーツ普及を推進することで、スポーツ競技人口の拡大を図る ・スポーツを「する」「みる」推進はもちろんのこと、「ささえる」、さらには「つくる」という新たな関わり方の普及		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○有識者招聘によるスポーツ推進体制強化 ・招聘、セミナー開催費用（報償費等）　1,146千円 ○e-スポーツを起爆剤とした交流人口拡大 ・eスポーツイベント開催（委託料）　5,940千円 ○スポーツボランティアバンク活用事業 ・募集・応募システム構築（委託料）　5,005千円 ・人材育成セミナー開催（報償費等）　150千円 ・ボランティア派遣に係る事務一式　60千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+867億円） ②大規模スポーツイベント（選手・観客1,000名以上）開催数（+5件） ③SCによる大会・イベント等誘致件数（+9件） ④ボランティア派遣人数（+950人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://f-sports.pref.fukui.lg.jp/volunteer-news 〈効果検証〉 https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu.html その他調整中（https://f-sports.pref.fukui.lg.jp/）

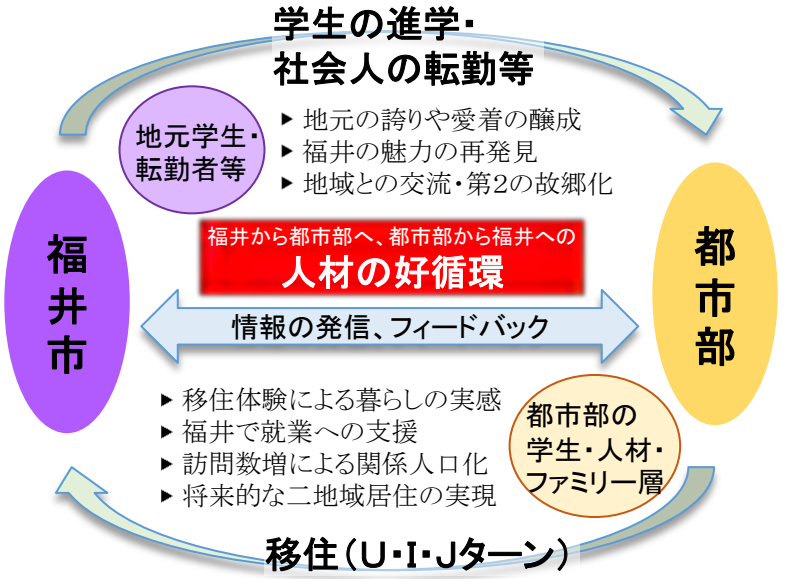
事業概要【北陸新幹線、中部縦貫自動車道等交通網開通に合わせたインバウンド拡大推進事業】

推進当初

申請者	福井県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	180,443千円（45,519千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・外国人観光客の県内滞在、宿泊を促進し、地域経済の好循環を図る ・交通網拡大による誘客効果の最大化を図る ・海外におけるデジタルプロモーションにより、福井県の認知度向上を図る ・空港、近隣の観光地からの誘客を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○宿泊者特典つきの海外向けデジタルプロモーションおよび外国人観光客によるSNS発信の促進 ・プロモーション費用等（委託料）27,462千円 ○近隣観光地から観光ルート新設へ向けた準備 ・近隣観光地外国人観光客の福井県観光の需要を調査（委託料）7,207千円 ○近隣空港利用者の誘客 ・国際直行便を利用する旅行会社による商品造成（補助金）9,700千円 ○閑散期の需要喚起と友好都市からの誘客促進 ・バスを利用する旅行会社による商品造成（補助金）1,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋867億円） ②外国人宿泊者数（＋45万人泊） ③宿泊施設のOTA登録数（＋30施設） ④中国人宿泊者数（＋3,000人泊）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/vision/vision_meeting.html （効果検証） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/vision/vision_meeting.html

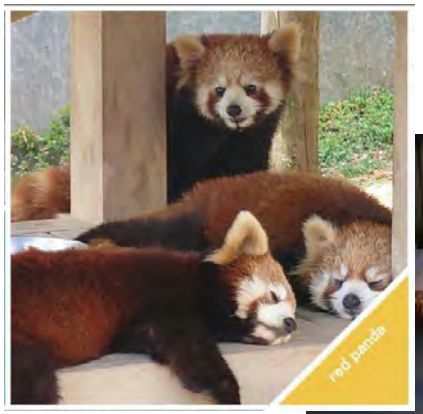
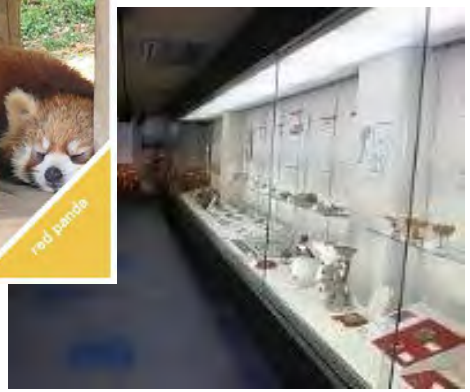
事業概要【ふくい関係人口・移住定住プロジェクト】

推進当初

申請者	福井市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	37,392千円（4,892千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・都市部からの継続的な人の流れをつくり、新たな関係人口の創出や、産業・しごと・雇用の創出等につなげる ・本市での住みよさ・子育てのしやすさ等を体験できるプログラムを実施し、将来的な移住につなげる ・地元企業や高校等と連携し、学生の地元就職やＵターンを促進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○転勤者をはじめとする期間限定で本市に居住している県外在住者を関係人口化に向けた交流イベント等の開催 ・関係人口イベント開催（委託料）400千円 ○福井の子育て環境等を体験する移住体験プログラムの実施 ・移住体験プログラムの企画・運営（委託料）2,700千円 ○地元高校生を対象としたＵターン等の就業支援 ・企業認知度向上セミナーの開催や地元高校生の会社見学・社員交流会の実施（委託料、使用料、広告料、報償費、食糧費、郵便料）1,292千円 ○地元高校生が圏外の高校生との交流により福井への誇りや愛着を醸成するためのイベントの開催 ・交流イベント開催（委託料）500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市へのＵＩターン者数（＋1,440人） ②各種就職支援を受けた県外者のうち、市内企業に就職した割合（＋2.3%） ③市の関係人口施策に参加した市外在住者の数（＋100人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/vision_senryaku.html

事業概要【２カ所目観光推進事業】

推進当初

申請者	福井県鯖江市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	228,900千円（67,900千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	独立して存在している鯖江市のローカルコンテンツをブラッシュアップし観光コンテンツとして確立するとともに、それぞれを連携させ広く発信することで、鯖江市を訪問した観光客が一つの目的地でとどまらず２カ所目に向かい市内を周遊する観光スタイル“２カ所目観光”の構築を図り、滞在時間の延長と観光客の増加による観光消費額の増を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	市内にある魅力的なコンテンツについて、デジタルを活用しつつ観光資源としてブラッシュアップしそれぞれが連携した取り組みを実施することで、次の目的地へ行きたくなるようなコンテンツや賑わいを創出し、「２カ所目観光」を実現する 1　地域資源のブラッシュアップに関する事業 （委託料、補助金等）34,200千円 2　プロモーションと市場調査に関する事業 （使用料、委託料等）25,600千円 3　西山公園エリアに関する事業 （工事費等）7,600千円 4　芸術文化・歴史コンテンツに関する事業 （備品購入費）500千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鯖江市の観光消費額（＋1,476百万円） ②市内の代表的な観光コンテンツ2か所以上の訪問者数（＋6,480人） ③鯖江市の宿泊者数（＋16,200人）	関連URL	https://www.city.sabae.fukui.jp/about_city/kekaku_torikumi/kakushukeikaku/sogosenryaku/SogoSeisaku0120230.files/2-2-2KPI.pdf

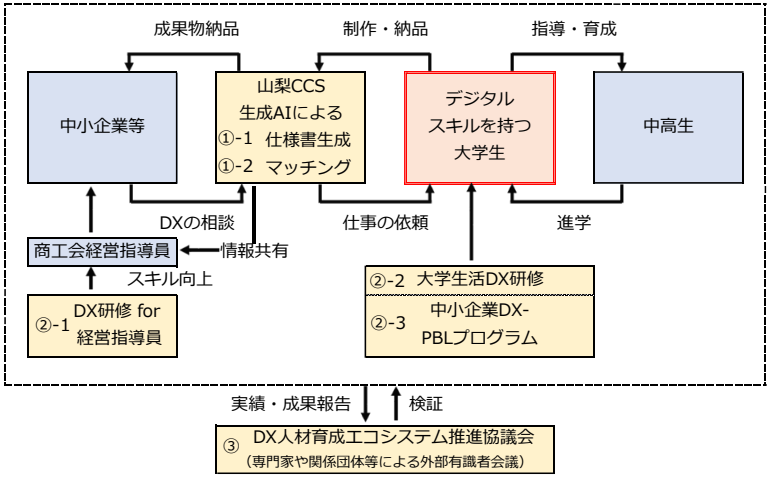
事業概要【文化芸術や伝統産業の創造性を活かした高付加価値産業創出事業】

推進当初

申請者	福井県越前市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	134,758千円（39,158千円）
事業タイプ・類型	地域創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を機に、本市の国際的な認知度や国際貢献度の向上を目指す。 ・海外との交流により、歴史文化や伝統産業の担い手が刺激を受けたことで、創造性豊かな人材を育成する。 ・培われた創造性により、伝統的工芸品の高付加価値化など新たな価値を創造し、ビジネスの創出を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ユネスコ創造都市の推進 ・基礎調査（委託）6,000千円 ○海外のアーティストとの交流や国際会議の開催 ・開催経費（負担金）2,000千円 ○工芸翻訳ガイドラインの作成 ・調査委託　500千円 ○異分野の伝統産業とコラボレーションした展示会の開催 ・講座謝礼、会場設営、監視委託等　1,323千円 ○地域文化普及のための展示会の開催 ・会場設営、資料運搬、会場設営等　14,433千円 ○市民文化活動の支援 ・開催経費（補助金）11,300千円 ○子どものためのふるさと教育 ・動画制作費、バス委託料等　3,602千円	事業実施イメージ 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①伝統産業新規就業者数（＋3.6%） ②伝統工芸品生産額（＋15.8%） ③国際交流活動数（＋10回） ④市民の文化活動数（＋150件）	関連URL	https://www.city.echizen.lg.jp/office/030/060/reiwa06yosan_d/fil/R06toushoyosanngaiyou.pdf

事業概要【DX人材育成エコシステム創出事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	512,099千円（149,188千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・生成AI技術を活用し、中小企業等がDXのための具体的な行動(要件仕様定義・外注等)に至る枠組みを提供 ・県内大学生をDX人材として育成・DX推進の担い手にすることで、DX実現上の資源(ヒト・カネ)面の課題を解消 ・県内企業のDX推進の加速／将来的なDX人材の育成・供給のための自発的な循環サイクルの構築 ・若手人材を中心とした将来の地域リーダーの養成と、地域での成功体験・魅力再発見による大学生の県内定着		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	① 生成AIを活用したDX推進支援プラットフォーム「山梨Creative Cloud Service（以下「山梨CCS」という。）」の整備 ・取組1．生成AIを用いた仕様書生成機構の構築（委託料）78,920千円 ・取組2．中小企業等のDXニーズと県内DX人材のマッチング基盤の整備（委託料）12,034千円 ② 山梨県内DX人材の育成 ・取組1：県内商工会へのDX技術の啓蒙による山梨CCS活用の下地作り（委託料）16,049千円 ・取組2：県内大学生のDXリテラシーの修得（委託料）28,321千円 ・取組3：中小企業等のDX課題解決を担える県内大学生の育成（委託料）13,864千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①山梨CCSを通じたDX支援案件数（＋279件） ②中小企業等のDX取り組み支援が可能な人材数（＋84人） ③地域における新規雇用者数(※)（＋52人） ※県内大学生等の県内企業への新規就業者数	関連URL	https://www.pref.yamanashi.jp/seisaku/sogokeikaku/shin-sougoukeikaku.html (P.147 ４DX人材育成エコシステムの形成)

事業概要【「美酒・美食王国やまなし」建国プロジェクト】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	305,524千円（103,966千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・本県は全国に誇れる落葉果樹の産地として発展し、生産量日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき等の様々な果樹が生産されている。 ・果樹をはじめとした県産食材の魅力を観光分野においても最大限に活用するため、本事業を通じて、「美酒・美食」をテーマに農業振興⇔観光振興の好循環実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【「美酒」に関する取り組み】 ○美酒美県やまなしテロワール確立事業（委託料）6,840千円 ○美酒美県やまなし需要拡大事業（委託料）7,410千円 ○山梨有機ワイン推進事業（委託料）1,711千円 【「美食」に関する取り組み】 ○データ農業技術確立・普及事業（報償費、需用費、委託料）5,442千円 ○データ農業技術確立・普及事業（備品購入費）8,476千円 ○「やまなし野菜」産地強化事業（補助金）1,500千円 ○新規就農者育成支援事業（補助金）14,387千円 ○グルマン・エコノミー会議（仮称）推進事業（報償費、旅費、需用費、委託料、使賃料）12,720千円 ○食材コーディネーターを活用した流通活性化事業（委託料）13,170千円 ○若手シェフ誘致推進事業（委託料）5,854千円 ○やまなしスイーツブランド化推進事業（報償費、旅費、委託料）7,706千円 ○インバウンド観光プロモーション事業（委託料、負担金）14,250千円 ○クレジットカード会社連携美食プロモーション事業（委託料）4,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（県産農産物出荷額）（＋155.31億円） ②観光入込客数（＋5,446千人） ③甲州ワイン・日本酒の年間輸出量（＋102Kl）	関連URL	山梨県公式ホームページ (pref.yamanashi.jp)

事業概要【デジタル人材育成・職場環境整備促進プロジェクト事業】

推進当初

申請者	山梨県	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	34,206千円（11,402千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	• 人口減少の深刻化によって生じる労働力不足、特にデジタル分野の人材不足が課題。 • 働きたくても十分に働けていない潜在的な労働力である女性を掘り起こし、女性のデジタル分野におけるスキルアップやリスキリングを後押しするとともに、働きやすい雇用環境の整備を支援することで、女性の労働参画を促し、労働市場全体の生産性向上や労働供給の増加を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル人材育成・就労支援事業 時間や場所に制限されないオンラインによるデジタルスキルを習得する研修プログラムを実施し、修了者に対してキャリア相談や希望する就労形態の就労機会を提供する就労支援を行う。（委託料）11,402千円 ○男性育児休業取得促進事業 国の両立支援等助成金の受給要件である男性従業員が育児休業を取得しやすい雇用環境を整備する県内中小企業に対して支援する事業を実施する。（補助金）※別財源で事業執行 ○「豊かさ共創社会」実現のための連携体制構築 キャリア形成期の働く者のスキルアップ志向を満たし、産業界のニーズに即した実践的なキャパシティビルディングやリスキリングが可能となる環境を整備する。（補助金）※別財源で事業執行		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（＋653千円） ②県内人口の転出超過数（20歳～49歳）（▲605人） ③豊かさ共創スリーアップ推進協議会参加企業数（+600社） ④厚生労働省の「両立支援等助成金　出生時両立支援コース」（1人目）の申請企業数（+45件）	関連URL	調整中

事業概要【ポストコロナ期の北杜デジタルファンクラブ創出プロジェクト】

推進当初

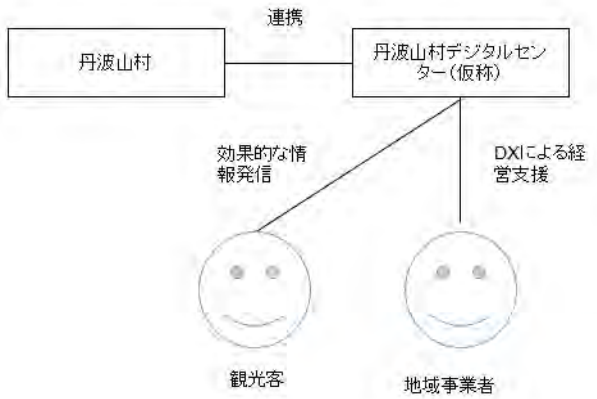
申請者	山梨県北杜市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	18,490千円（6,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・『ほくとファンクラブ』の組成し、『山梨県北杜市』の認知度の向上を図る。 ・若い世代特に女性に向けた情報発信による若者・女性の関係人口の創出、二拠点居住や定住の促進を図る。 ・情報共有・発信のデジタル基盤整備により、新型感染症等による活動停滞を回避し継続的活動を可能にする。 ・一過性でない情報発信体制や基盤を構築し、継続的安定的な魅力発信を可能にする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ファンクラブ会員に向けた情報発信基盤構築事業 1.SNSイニシャルコスト 55千円 2.SNSランニングコスト 713千円 ○ファンクラブ企画運営管理事業 １.ブランディングプロデュース(委託料）1,650千円 ２.ファンクラブ運営管理(委託料）1,628千円 ３.ファンクラブイベント開催（委託料）2,154千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北杜市へのUIJターン数（＋9世帯） ②ほくとﾌｧﾝｸﾗﾌﾞ会員数（LINE登録者数）（＋450人） ③地元事業者との連携数（＋30事業者） ④ほくとﾌｧﾝｸﾗﾌﾞ会員のﾏｲﾝﾄﾞ※の変化（＋90mGAP） ※修正地域参画総量指標	関連URL	https://www.city.hokuto.yamanashi.jp

事業概要【上野原市における地域住民主導型子育て・生活共助コミュニティ創造事業】 推進当初

申請者	山梨県上野原市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	52,536千円（17,688千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・専用アプリの実装による市民レベルにおける「子育て・生活共助コミュニティ」の形成。 ・子育て世帯の孤立・孤独化を防ぐための子育ての負担を地域全体で共有する体制構築。 ・若年層や元気なシニア世代の活用も含めた暮らしや子育てを共助するコミュニティタウンの創出。 ・働き方の多様化にあわせた、起業や副業、特技を活かしたライフワークや市民活動への参加などの支援の充実。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域コミュニティの担い手発掘・育成と地域交流イベント事業 ・地域コミュニテイの担い手の発掘・育成・支援（委託料）3,740千円 ・地域交流会等の企画、運営、周知ＰＲ費用（委託料）7,348千円 ○情報共有及び生活・子育て共助を促すアプリ等実装事業 ・専用アプリ実装に伴う初期準備等費用（委託料）：2,200千円 ・専用アプリの運営管理、利活用活性化費用（委託料）：4,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への転入者の数（＋50人） ②育成人材数：生活及び子育て支援コミュニティ形成に取り組む地域の担い手（「シェア・コンシェルジュ」）の数（＋28人） ③シェア・コンシェルジュによる地域活性化のための自主活動の数（例：交流イベント実施回数）（＋54回） ④「子育て・生活共助コミュニティアプリ」内における共助数（＋200件）	関連URL	https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/page/2395.html

事業概要【丹波山村　暮らしと観光のDX推進事業】

推進当初

申請者	山梨県丹波山村	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	131,500千円（24,370千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	• 人口減少を食い止めるため、地域産業の生産性向上、地域収益の最大化、暮らしの利便性向上が求められており、これらをデジタルシフトすることで実現していく • 観光を主要産業とする本村としては、【暮らしDX】【観光DX】の2つをテーマとして実施していく		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタル人材の人件費 ・採用費用（委託料）　720千円 ・人件費（委託料）　7,000千円 ・研修費用（委託料）　900千円 ○デジタルセンターによる観光地経営の高度化 ・デジタルセンター設置費用（委託料）1,150千円 ・調査費用（委託料）　1,500千円 ・導入システム設計費用（委託料）　3,450千円 ・村民会議の実施（委託料　5,500千円 ○デジタル活用による新たな観光人口の創出 ・調査費用（委託料）　800千円 ・導入システムの設計（委託料）　2,200千円 ○PC機器、什器の購入費用（備品）1,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業による地域における新規雇用者数（＋５人） ②住民へのデジタル活用サポート網羅率（＋90%） ③丹波山村デジタルセンターシステムの地域事業者導入率（＋55%） ④観光経営の高度化の実現による観光来村者の増加数（＋1.5万人）	関連URL	調整中

事業概要【信州「空モビリティ×山岳高原イノベーション」創出事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	438,041千円（48,890千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	• 次世代空モビリティ（ドローンや空飛ぶクルマ）活用により、地上の制約に捉われない新たな山岳高原を創造する • 中山間地域でも買い物や医療等のサービスを享受し、災害時にも安心安全な暮らしの実現を図る • 山小屋の負担軽減や山岳遭難対策、新たな観光コンテンツ作りを進め、山岳高原観光の更なる魅力向上を図る • 様々な業種で新たなサービス・雇用が創出され、地域内経済が循環するエコシステム構築を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○次世代空モビリティの理解促進・社会受容性向上 ・イベント、シンポジウム等によるPR（委託料）12,329千円 ○多数の企業を関連事業に参入させるための仕組みづくり ・空飛ぶクルマのユースケース＆経済効果の調査（委託料）21,080千円 ・「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」での具体事業創出のマッチング（委託料）5,151千円 ○次世代空モビリティ社会実装に必要な環境整備 ・ドローンサービスの紹介プラットフォーム構築（委託料）330千円 ○次世代空モビリティ社会実装を加速させるための支援 ・民間企業による県内での次世代空モビリティ事業化準備支援（補助金）10,000千円	画像出展：経済産業省HP 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数　（＋14人） ②実装された観光関連事業数（＋3件） ③実装された生活利便性関連事業数（＋4件） ④空飛ぶクルマの離着陸場設置予定数（＋6箇所）	関連URL	https://sites.google.com/union.nagano-map.lg.jp/nagano-dx/airmobi

事業概要【信州ウェルネス産業創出事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	236,571千円　（81,690千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ウェルネス関連プロジェクトの推進を通じて、県内産業の成長、ブランド化を促進 ・技術支援やネットワーク構築により、ウェルネス産業分野の発展と企業間の連携を強化 ・ベンチャー・スタートアップへの支援を通じて、新たな技術開発の促進と事業効果を最大化 ・デジタル化支援施策の拡充により、ウェルネス産業のデジタル化に対応		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○研究開発プロジェクトの創出支援 コーディネータ／アドバイザ活動費（補助金）16,402千円 「食」と「健康」ラボ機能形成　（委託費）2,882千円 ○人材育成プログラムの構築・実施 人材育成プログラム運営（委託費）8,991千円 ○企業の技術開発、ベンチャー・スタートアップへの支援 ヘルステック関連機器開発支援（補助金）21,600千円 ベンチャー・スタートアップ創出支援（委託料・補助金）10,403千円 ○ブランド力（健康長寿・海外訴求力等）の強化 「発酵・長寿ＮＡＧＡＮＯ」ブランド力向上（委託費・使用料等） 7,316千円 ○デジタル化への対応 ヘルステック関連機器デジタル化等プロジェクト（委託費）14,096千円		 しあわせ信州
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋150人） ②ウェルネス産業における製造品出荷額（＋180億円） ③研究開発プロジェクトの創出件数（＋30件） ④人材育成プログラムの受講者数（＋150人）	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html

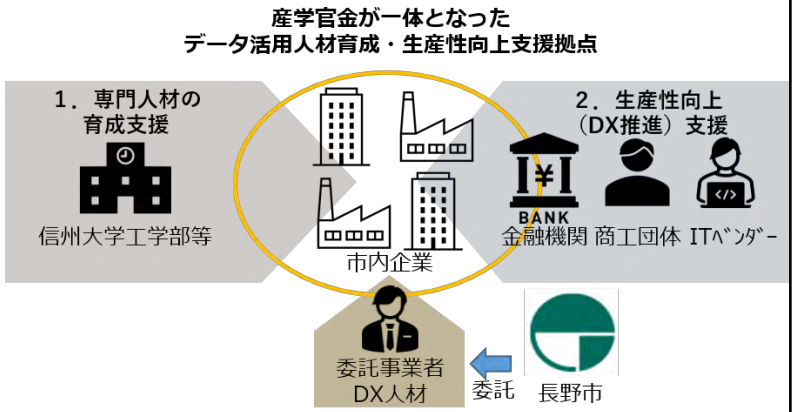
事業概要【企業等と連携したブランド構築・発信による女性・若者から選ばれる県づくり事業】

推進当初

申請者	長野県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	114,174千円（38,058千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	女性・若者にとって魅力的な産業、職場づくりを推進し、それらの魅力とともに長野県で「暮らす」「働く」魅力を広く発信していくことにより、若者・女性が定着・転入し、持続的に発展していく長野県を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	魅力や価値の活用方法を学べる仕組みづくりと、企業と県が連携して女性・若者に向けた発信を行っていく体制づくり、既存企業がその魅力を自覚して発信ができる取組づくりを２つの大きな事業軸で展開していく。 ■女性・若者に向けた発信力の強化 （委託料：16,058千円） ■地域・既存企業・団体等が女性・若者から共感を得る価値の強化 （委託料：22,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・地域のUIJターン数：（＋826人） ②・・・ブランド戦略を理解し、情報発信を行う企業数（＋300社） ③・・・地域のビジネスプロジェクト参加企業数（＋60社）	関連URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/index.html

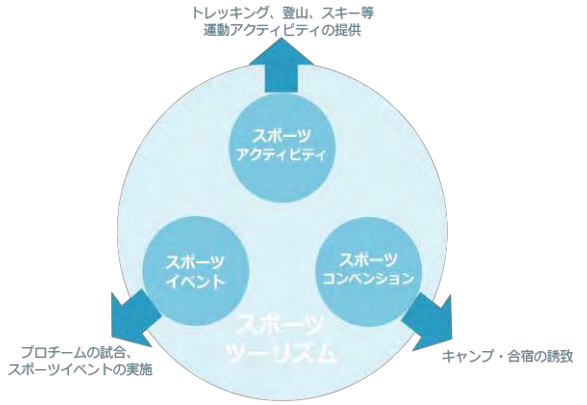
事業概要【データ活用人材育成等拠点創造事業】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	154,200千円（44,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	• 人口減少などの社会経済情勢に対応するため、市内企業の専門人材育成や生産性向上（DX推進）の支援を行う • 社会人等に対し、データサイエンス（DS）講座を信州大学工学部と実施する • DS講座を受講した社会人等が自社の生産性向上（DX推進）について取組むことを産学官金の連携により支援する • 専門人材の育成やDX推進を支援することで、更なる新産業・新技術の創造が促され、地域産業の活性化を図ることができる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	１.専門人材の育成支援 信州大学工学部等と連携し、社会人と高等教育機関に通う学生に対して人材育成を行う。 （１） 企業向けデータサイエンス講座 （２） 若手IT人材育成プロジェクト 【報償費4,200千円、委託料12,000千円】 ２.生産性向上（DX推進）支援 【委託料28,000千円】		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋112人） ②雇用創出人数（＋126人） ③企業において生産性向上が行われた案件数（通算）（＋310件） ④人材育成講座の参加者数（通算）（＋450人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

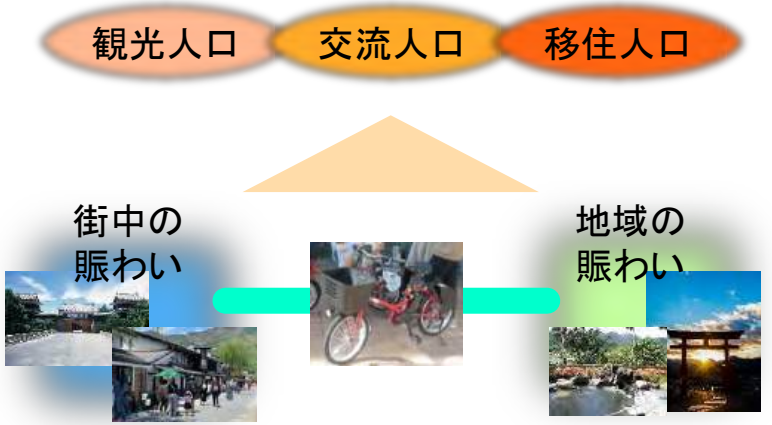
事業概要【「長野市版スポーツツーリズム」推進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県長野市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	55,000千円（16,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・オリンピック施設等市内スポーツ資源や気候・環境といった本市の強みを生かし、夏季・冬季におけるプロスポーツチーム・実業団や学生等ウインタースポーツの合宿誘致といった、通年でスポーツツーリズムを推進できる体制を整え、交流人口拡大、消費活動を増大させ、経済活性化・地域活性化を強く推進していく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本市の特性（資源、立地、インフラ）を活かしたスポーツツーリズム戦略を進めていくにあたって、令和７年度以降の事業化（実証実験）を見据えた国内外の最新動向や先進事例の調査・研究 委託料：8,800千円 ○令和８年度のＪリーグ夏季キャンプ誘致実装に向けた、市場調査の結果等を踏まえた本市のスポーツツーリズム戦略の策定 委託料：7,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の観光消費額（＋24億円） ②国際大会・全国大会等の開催数（＋8件） ③誘致・開催した合宿・スポーツイベントへの市外からの参加者数（＋800人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p005096.html

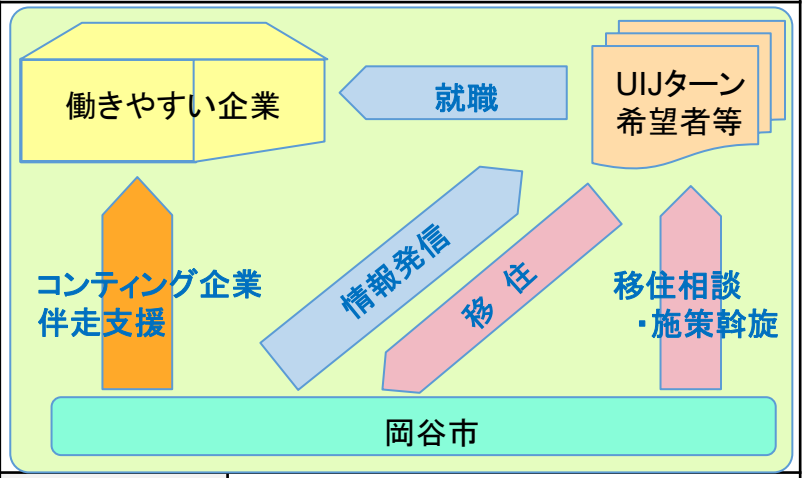
事業概要【産学官による、まちなか×地域振興事業】

推進当初

申請者	長野県上田市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	170,100千円（54,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	民間や大学、地域による積極的な協力のもと、まちなかに賑わいを生み出し、観光人口、交流人口、移住人口が増えていく将来像を描く。 こうした取組により地域住民にとっても住み続けたいまちとしての魅力を維持することにつながり、人口減少対策や持続可能な地域活性化に資するものと考える。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○まちなかキャンパスうえだ運営事業 大学等による市民講座の開催等　委託料など8,000千円 ○中心市街地活性化事業 中心市街地の活性化支援や、出店補助 補助金など11,000千円 ○発酵のまちうえだ推進事業 発酵食品の食のイベントの運営　負担金1,900千円 ○上田城復元に向けた機運醸成魅力発信事業 デジタルコンテンツ作成、シンポジウム開催等　負担金6,000千円 ○シティプロモーション推進事業 若年層や関西方面へのプロモーション等　委託料など19,400千円 ○シェアサイクル活用推進事業 効率的な活用と自立化に向けた運営　負担金8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（＋150人） ②シェアサイクルの利用回数（＋3,245回） ③まちなかキャンパスうえだ来訪者、利用者数（＋1,891人） ④上田城跡来訪者数（＋114千人）	関連URL	上田市まち・ひと・しごと総合戦略 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/1531.html 地方創生推進交付金事業の効果検証 https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/kikaku/2184.html

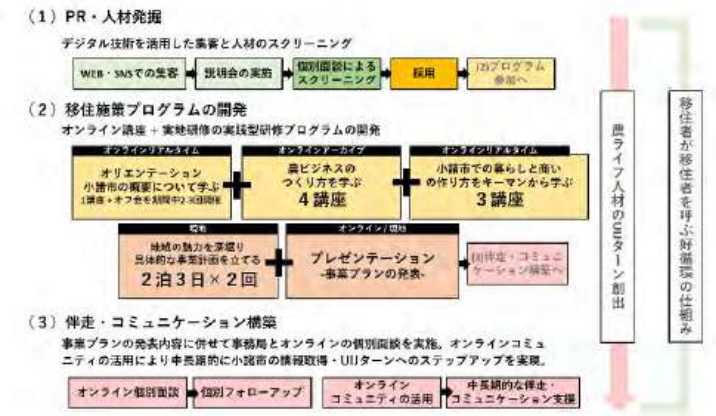
事業概要【家族にもやさしい職場づくりでＵＩＪターン強化事業】

推進当初

申請者	長野県岡谷市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	16,530千円（5,030千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	市内企業への人材確保を強化し、その人材を市内移住に繋げていくことを目指していく。これに向けては少子化の進展により新卒学生だけでは、十分な人材の確保が困難であるため、新卒学生に加えて大都市圏などのＵＩＪターン希望者等を新たなターゲットとして捉え、市内企業への人材確保を移住に繋げる一連のしくみを官民一体となって構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○従業員と家族に働きやすい職場環境をつくるため、ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ企業に委託し、成果指標達成へ伴走支援。 ・報償費：事業周知に関わるセミナー講師謝礼:80千円 ・業務委託料：コンサルティング企業の指導、生成AI活用支援等１社475千円×8社＝3,800千円 ○成果指標を達成した企業情報及び採用情報をUIJﾀｰﾝ希望者等へのPR ・効果的なPR戦略立案、ﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾍﾟｰｼﾞ等デザイン作成、民間移住サイト等への記事作成・掲載＝1,150千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数　（＋40人） ②成果指標達成企業への就職者数（＋60人） ③成果指標達成企業数（＋32社） ④事業への参加企業数　（＋32社）	関連URL	「調整中」

事業概要【農ライフ人材の創出・定着促進プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県小諸市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	33,754千円（11,918千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・継続的なUIJターン人材の確保・育成・伴走支援による農ライフ人材の創出を図る ・小規模かつ多様な中山間地域農業の担い手不足解消を図る ・”移住・就農希望者の課題解決”の仕組みの構築を図る ・『住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸』の実現を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	事業実施委託費　11,918千円 （内訳） ・プログラム企画 3,833千円 ・事前視察・PR素材収集 446千円 ・プロモーション費 4,797千円 ・オンライン講座、実地研修実施費 2,402千円 ・伴走支援費 440千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小諸市への二拠点生活者・UIJターン（予定含む）の人数（+13人） ②小諸市への再訪参加者数（+30人） ③本事業への参加者数（+60人） ④オンラインコミュニティの参加者数（+360人）	関連URL	https://www.city.komoro.lg.jp/soshikikarasagasu/somubu/kikakuka/3/1/6/14966.html

事業概要【八ヶ岳ファン拡大を通じた関係人口創出事業】

推進当初

申請者	長野県茅野市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	42,500千円（14,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・「若者に選ばれるまち」の実現。20~30代及び生産年齢人口の減少の抑制。 ・八ヶ岳のある暮らしを実現する「茅野市」の認知度向上、八ヶ岳ファンの拡大 ・茅野市を知り、訪れてくれた方が当市の魅力を感じ移り住んでくれるようになる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	20～30代をターゲットとした八ヶ岳を中心とした多様な魅力のある暮らしを伝えるプロモーション活動 若い世代や女性を対象に、UIJターン者が地域での関りを定着するための多様な稼ぎ方の支援を行う ・八ヶ岳のある暮らしをプロモーションする動画の制作、発信　6,500千円 八ヶ岳の麓ならではの文化や暮らし、周辺アクティビティ、都心に日帰りでアクセスできる利点など。 ・登山等に興味がある層が関係人口や移住者となっていくことを目的としたイベント　3,000千円 30代を対象とした八ヶ岳とその山麓での暮らしの魅力を伝えていくイベント ・若者や女性対象とした起業・創業に向けた支援　3,000千円 若者や女性を対象とした地域課題等をテーマにスモールスタート可能なビジネスセミナー ・事業全体の情報発信及び関係人口の計測　2,000千円 事業全体の取組をＳＮＳ等を活用して広く情報発信する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJリターン数（県外からの転入者増分）（+60人） ②イベント参加者等による新たな事業の創出　（+1件） ③プロモーション動画等の到達数（+550,000件） ④プロモーションイベント等への参加者数（+90人）	関連URL	https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/kikakuzaisei/1209.html

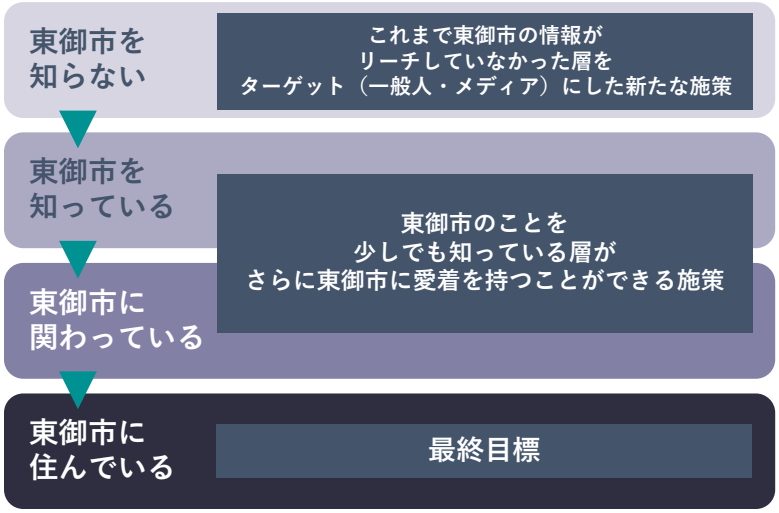
事業概要【企業ＤＸ推進事業】

推進当初

申請者	長野県佐久市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	51,000千円（12,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	• 生産年齢人口の減少を背景に、ＤＸの普及浸透やデジタル技術の実装支援、社内のデジタル人材育成及び地域のデジタル人材の活用・採用に対する支援を行うことで、安心して働ける「しごと」の創出及び雇用（人材）を確保する。 • デジタル技術を活用した変革により、業務効率化による生産性の向上や、地域産業の変革に対する支援を行い、産業や生活の質を大きく向上させ、活力あるまちづくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロジェクト全般運営費用（委託料）12,000千円 ・運営：全体マネジメント、現状把握、課題整理、アセスメント、進捗管理全般　3,000千円 ・認識共有、機運醸成：デジタル化等に関する入門的な研修やワークショップの開催　2,000千円 ・実装支援：システム、ツールの導入条件の創出、コンサルティング、実証実験　3,000千円 ・人材育成、活用：ニーズ応じた人材育成研修の開催、地域のデジタル人材の活用方法の検討　2,000千円 ・プロモーション、普及啓発：Web制作・運用経費　2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋135人） ②支援事業を通じた参加企業の労働生産性（＋15%） ③デジタルシステム・ツール導入件数（＋45件）	関連URL	（効果検証） https://www.city.saku.nagano.jp/shisei/seisaku_shisaku/tihosousei/mahishi_koukakensyou.html （令和7年10月公表予定）

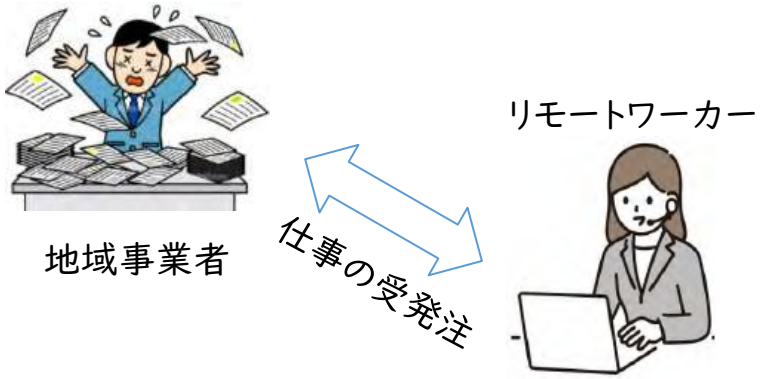
事業概要【東御市シティプロモーション強化事業】

推進当初

申請者	長野県東御市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	48,000千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	• デジタルプレスリリースやWeb広告などネット上での情報発信を強化することで、認知度の向上を図る。 • 首都圏でのPR事業や東御市公式ファンクラブ会員向けのツアーの実施などにより、関係人口の拡大を図る。 • 東御市発足20周年をフックに若い世代が東御市の魅力を振り返る市民フォーラムを開催することで、シビックプライドの醸成を図る。 • 首都圏をターゲットに移住相談と併せて就業支援を実施することで、移住定住を促進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○シティプロモーション情報発信事業　14,024千円 ・“食”をキーワードに首都圏等でのPRイベントの実施 ・ふるさとPR大使を活用した動画制作及びSNSによる魅力発信 ・シビックプライド醸成のための市民フォーラムの開催 ・各種イベント・行事の効果的な宣伝活動（デジタルプレスリリース） ・東御市公式ファンクラブ事業（ツアーやイベント）　その他事業 ○移住者就業支援・移住相談会・交流会事業　2,476千円 ・移住と就業をセットで支援、首都圏での移住相談会の開催 地元住民との交流会の実施 ○デジタルサイネージ設置・活用事業　3,500千円 ・田中駅前に設置し、旬な情報を発信		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのＵＩＪターン数（＋11人） ②人口の社会増減数（+278人） ③ふるさと納税寄附件数（+8,865件） ④認知度ランキング（長野県内19市）（▲3位）	関連URL	https://www.city.tomi.nagano.jp/category/tihousousei/101654.html

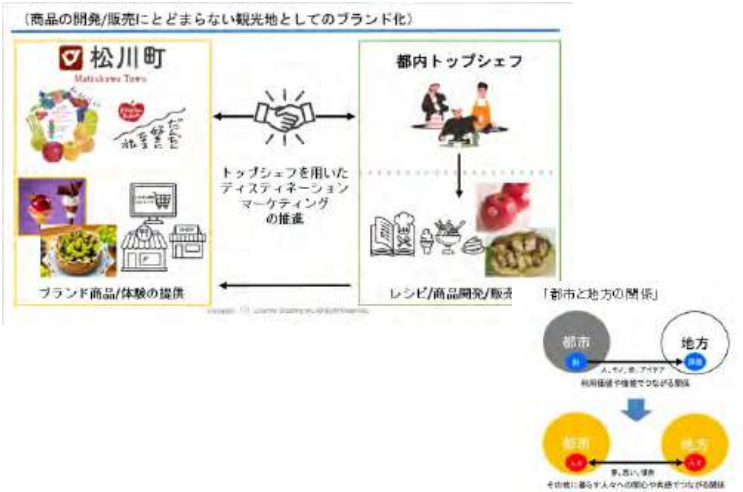
事業概要【リモートワーカーを活用した労働力不足解消支援事業】

推進当初

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	40,120千円（13,850千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・育児や介護中等、時間的制約のある方の就労を支援（リモートワーカーとして育成） ・リモートワーカーと地域事業者をマッチングさせ、地域の労働力不足問題を解決 ・都心部企業を誘致し、リモートテレワーカーの受注拡大及び若者等の新たな就労先を確保		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ・事務局運営費　3,663千円 ・リモートワーカー紹介セミナー　517千円 ・ＩＴ基礎講座セミナー　2,013千円 ・スキルアップセミナー　3,806千円 ○サテライトオフィス誘致業務 ・誘致戦略の作成費　2,750千円 ・企業へのプレゼン資料作成費　550千円 ・視察対応マニュアル作成費　550千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+110人） ②スキルアップセミナー参加者数（+80人） ③リモートワーカー活用イベント参加事業者数（+15社） ④サテライトオフィス誘致件数（+3件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） http://cms2020.city.azumino.nagano.jp/control/preview/soshiki/detail.php?lif_id=114757

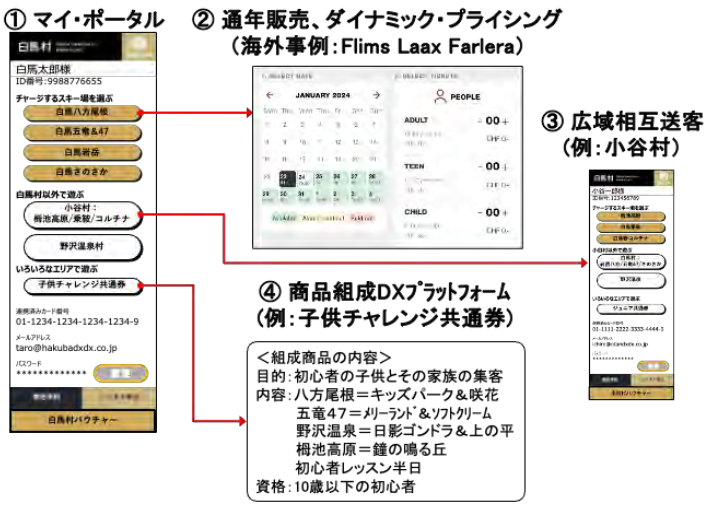
事業概要【リニアで繋がる地域と都市部のヒト・コト・モノ交流計画】

推進当初

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	35,200千円（13,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・新規販路開拓による農業就業人口の増加 ・新規メニュー開発による地元ＰＲ効果からくる誘客の促進 ・都市間交流コミュニティ創出によるヒトの繋がりが生み出す新しい関係性の構築 ・農業・都市間交流分野による関係人口増加による移住定住者の獲得		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地元農産物を活用した都市部のトップシェフとの連携事業 （委託料、広告経費、パッケージ開発経費等）6,600千円 ○リニア駅で繋がる都市間交流事業（委託料）6,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産就労者数（＋120人） ②社会増減数（＋7人） ③ふるさと納税寄付件数（＋1,500件） ④地域の人口数（▲589人）	関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuriseisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要【 DXによる地域観光業の持続可能性向上事業】

推進当初

申請者	長野県白馬村ほか２自治体※	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	142,000千円（42,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・地域経済の中核である観光業において、最大の収入源であるリフト券の販売が天候の影響を強く受ける課題を克服する ・大規模CRMが可能なグローバル競合に対抗するため、DMOを中心としたに地域一体でのCRM、マーケティングを実現する ・インバウンド拡大のために、自治体、事業者が広域連携できる、相互送客の仕組みを構築する ・広域連携により観光コンテンツの多様化を実現する、商品組成のためのDXプラットフォームを構築する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①地域一体でのCRMを実現する “マイ・ポータル” の実装、運用 ・実装費用（開発会社への業務委託費用）：2,300万円 ②通年販売＆ダイナミック・プライシングが可能なリフト券販売システムの実装、運用、各スキー場への提供：1,000万円 ③地域外との相互送客、実績把握を可能にする”広域相互送客機能”の実装、運用 ・実装費用（開発会社への業務委託費用）：700万円 ・協議会の設置、運営費用（DMOへの補助金）：200万円 ④コンテンツ共有・組み合わせで商品を多様化する “連携商品組成DXプラットフォーム”の実装、DMOでの運用、各スキー場との連携（来年度以降）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+12億円） ②マイ・ポータル登録者数（+10万人） ③連携自治体数（＋10市町村） ④マイ・ポータル経由でのふるさと納税寄付額（+16億円）	関連URL	現行のDMO予約ポータル https://www.booking.vill.hakuba.nagano.jp/ 独自に進めている事業のプレスリリース https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040.000060409.html

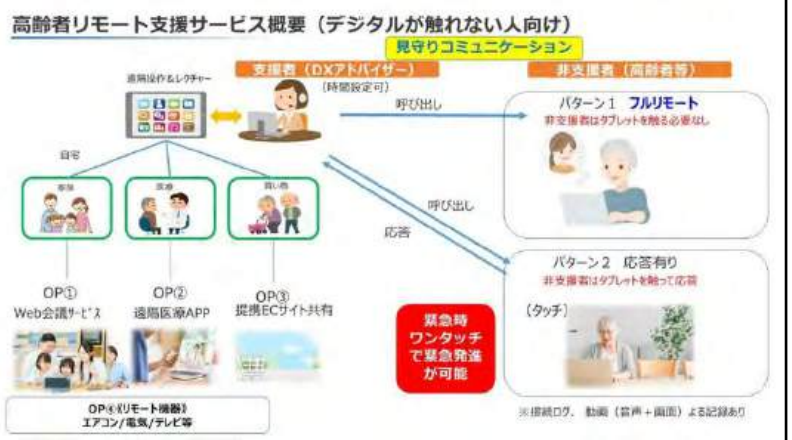
※長野県白馬村、野沢温泉村、小谷村の広域連携事業

事業概要【持続可能な地域づくりに向けた多様な雇用機会創出と関係人口拡大事業】 推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	32,080千円（11,200千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	地域の季節的な雇用の不安定さと人口減少の課題に対応するため、安定した雇用環境の整備とシティプロモーションによるシビックプライド向上から関係人口の創出に取り組む。季節依存の産業からの脱却と関係人口拡大を通じて地域の持続可能な発展を促進することで、地域住民の地域愛を高め、町外からの移住者の増加を目指すもの。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【多様な雇用機会創出に関する事業】 ・先進地等調査業務 750千円 【シビックプライド向上に関する事業】 ・信濃町ガイドブック作成(委託料) 5,500千円 ・信濃町しあわせ会議の開催（委託料） 1,320千円 【関係人口創出・拡大に関する事業】 ・関係人口プラットフォーム開発（委託料）2,530千円 ・関係人創出・拡大事業（委託料等） 1,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数 （＋15人） ②特定地域づくり協同組合雇用者数 （＋7人） ③信濃町ファンクラブ会員数 （＋750人） ④信濃町への愛着度 （＋9.53%）	関連URL	（交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証） https://www.town.shinano.lg.jp/docs/degidenjigyou.html

事業概要【シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	41,678千円（13,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	①町内における事業者DXの推進 ②町内における雇用及びデジタル人材の活躍の場の創出 ③生産年齢人口の減少及び人口密度減少に伴うインフラサービス維持対策 ④デジタルデバイド対策		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【フルリモート支援サービスの実装事業】 ・フルリモート支援環境の構築及び貸出　1,582千円 ・実証実験の実施　4,000千円 【デジタル人材の募集・育成事業】 ・デジタルサポーター採用活動業務　990千円 ・人材育成プログラムの実施　1,250千円 ・eコマース分野を支えるデジタル人材の育成業務　1,000千円 【地域の小売業者に対するeコマースに特化したDX推進支援事業】 ・事業者伴走支援事業　2,998千円 【信濃町GDXセンターの運営事業】 ・信濃町GDXセンターの運営費　1,180千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋8人） ②フルリモート支援サービス利用者数（＋８０人） ③eコマースに関する事業者DX支援件数（＋3件）	関連URL	（交付金の具体的使徒・実施体制・効果検証） 令和６年12月公開予定

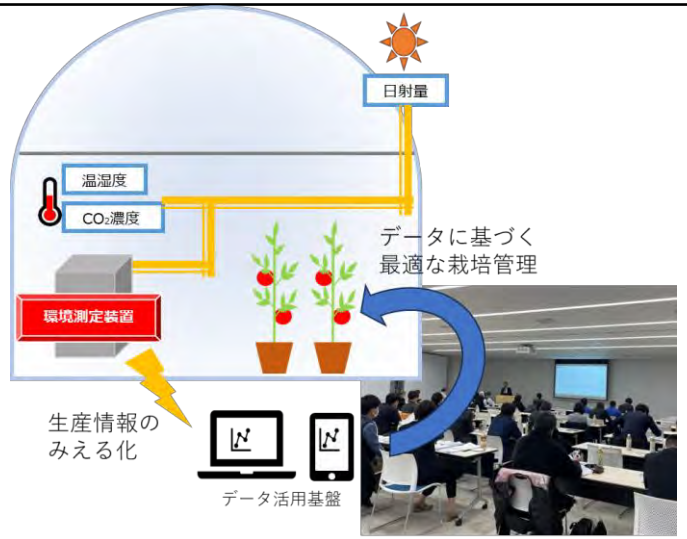
事業概要【賃上げにつながる産業の「稼ぐ力」強化プロジェクト】

推進当初

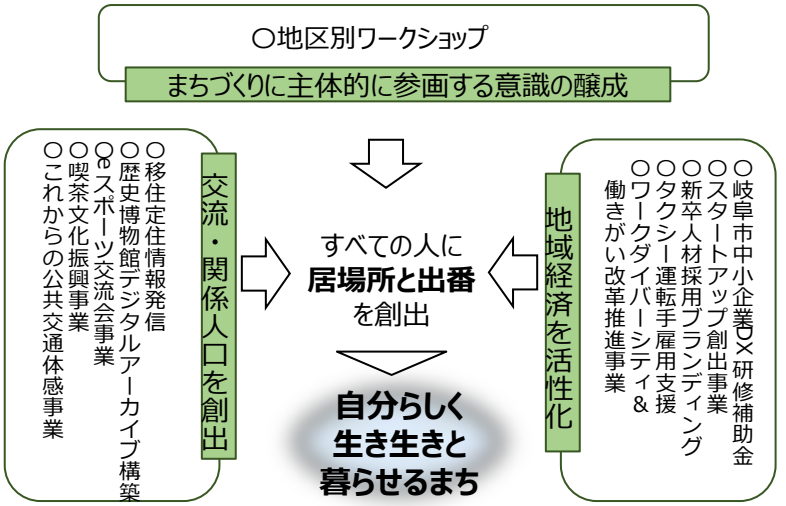
申請者	岐阜県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	305,338千円（101,016千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・県内企業の売上向上・利益増加に資する施策を実施し、それを原資として県民の賃上げにつなげる（県民所得の向上）とともに、利益の分配において女性を含めたすべての働く人々に等しく配分される社会の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ものづくり産業の生産性向上や新産業の創出等を図るため、相談支援や、ロボット活用・ＤＸ化等に資するセミナー・ワークショップの開催、スマート工場実証ラボ等を活用した支援などを実施。また、企業間のビジネスマッチングや交流促進を支援するほか、情報発信、人材確保に資する事業を実施する。 ・「テクノプラザものづくり支援センター」における企業支援実施等に要する経費（委託費）：34,539千円 ○アンコンシャスバイアスのエピソード事例（職場・家庭・地域部門）を公募。選定された事例を元に動画を公募するとともに、入賞作品を選定し表彰式を開催する。選定した動画をSNS広告等で活用し、効果的に情報発信を実施する。 ・事例及び動画公募・表彰式開催等に要する経費報償費、費用弁償、委託料）：5,518千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用保険新規資格取得者数（＋921人） ②県内製造業（4人以上300人未満）における一人当たり付加価値額（＋600千円/人） ③ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数（＋78社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【地域の活力創出につながる農畜水産業の魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	岐阜県	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	415,442千円（90,472千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・農畜水産物の魅力を一層引き出すとともに、本県固有の地域資源の利活用を進める。また、農畜水産物を県内の飲食・観光業から「選ばれる食材」へと昇華させ、「清流の国ぎふ」ブランド力を向上を図る。 ・また、若者が将来に希望を抱き、新規参入することができる、魅力ある農畜水産業の確立を図る。 ・これらの取組みにより、農畜水産物を核とした仕事の創出、農村地域への人の呼び込みなどを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ゲノム育種価技術を活用した、飛騨牛の特徴をもつエリートな雄牛の選抜のためのゲノム育種価解析 （消耗品費、委託費） 21,018千円 ○卸売市場において県産農畜水産物を一次加工するために必要な機械・設備の導入に係る経費の補助 補助金：15,700千円 （補助対象者：卸売業者、補助率1/4以内） ○地域で特色ある魚の開発や鮎の安定供給に資する技術開発（課題把握～仮説検証）、各種PRイベントの実施 （委託費、消耗品費、役務費、報償費） 2,190千円 ○先進県で開発されたデータ活用基盤（システム）を使用した効果実証実験及び利用のための研修会の開催 （データ活用基盤使用料、通信費、委託費等）11,470千円	 データ活用基盤の効果実証とデータ活用の研修	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（＋3,345百万円） ②基幹種雄牛の造成頭数（＋2頭） ③岐阜県内の鮎の年間消費率（＋20%） ④データ活用型農業を実践する経営体数（＋330経営体）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【すべての人に居場所と出番あり、自分らしく生き生きと暮らすことができるまちづくり】 推進当初

申請者	岐阜県岐阜市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	111,787千円（35,577千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	• 地域住民や学校、行政等が連携し、自分たちの住む地域の課題を見つけ、解決策を考えていくことで、住民同士の交流の場の創出や自分たちの住む地域への愛着、住民自治の意識を醸成していく。 • 歴史や文化等の魅力を発信し、体感してもらうことで交流人口・関係人口を増やし、人口につなげる。 • 経済の担い手から選ばれる企業を増やすことにより、持続可能な地域の経済を支える担い手の確保を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域に関係する様々な立場の人が参加するワークショップを開催 ・ワークショップ開催費用（委託料等）6,000千円 ○ローカルキーマンの視点で岐阜市で暮らす魅力を発信していく ・移住定住情報発信（委託料）5,368千円 ○歴史博物館が所蔵する約30,000件の資料をデータ化し、デジタルアーカイブを公開する。 ・デジタルアーカイブシステム構築（委託料）3,005千円 ○全国から新卒人材の採用に挑戦する企業を支援する ・採用ブランディングの取り組み補助（補助金）5,000千円 ○市内の雇用を創出するため、大学生や求職者、一般市民を対象に、企業説明会等を開催 ・イベント等開催業務（委託料等）3,933千円　　他		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①岐阜市の人口（＋540人） ②自治会などの地域活動に参加している人の割合（＋2.7%） ③「転入者アンケート」で就職・転職を理由にした人の割合（＋12%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1026401.html （効果検証） https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1016894.html

事業概要【街の宝を活かした新規事業創出の突破口として地域の稼ぐ力を生み出す農産物等直売所「きなぁた瑞浪」活性化プロジェクト推進計画】 推進当初

申請者	岐阜県瑞浪市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	34,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・本市の将来都市像である「幸せ実感都市みずなみ」を市民のみならず、市外の人も実感できることを目指す。 ・地域の名所の魅力を効果的に発信し、集客を目指す。 ・特産品である「瑞浪ボーノポーク」の付加価値を高めるため、商品開発や、流通の確保を実現。 ・リニア中央新幹線の開通を捉え、近隣地域等のニーズに対応し、地域経済の活性化・関係人口の増加を実現。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○各種分析の実施及び店舗レイアウトの変更：5,000千円 農産物等直売所「きなぁた瑞浪」のPOS・SWOT・コスト分析を実施する。また、販売増につながる店舗レイアウトに変更する。 ○従業員の能力向上研修の実施：2,000千円 売り場での実地研修やレジ・在庫管理、SNSによる情報発信研修などを実施し、職員のスキルアップを図る。 ○地元特産品の販売促進イベント及びPR活動の実施：2,000千円 地元特産品の販売促進イベント等を開催する。また、SNSやモバイル視聴システムにより施設や地元特産品の情報を発信する。 ○新商品の開発：1,000千円 地元特産品等の新商品を開発する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①瑞浪市における観光消費額　（＋356,557千円） ②きなぁた瑞浪売上収入額　（＋69,234千円） ③きなぁた瑞浪利用者数　（＋7.3万人） ④地域連携の観光新商品の開発数　（＋8件）	関連URL	https://www.city.mizunami.lg.jp/shisei/shingikai/1003696/1005966/index.html

事業概要【海洋版デジタル田園都市国家構想のモデル構築事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	1,140,403千円(176,475千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・海洋をテーマに、地方による先導的取組を国全体、将来的には世界へと広く展開していくことを目的とした「海洋版デジタル田園都市国家構想」のモデル構築を図る。 ・「海洋イノベーションエコシステム」を創生し、人材・事業・資金の好循環を図る。 ・「海洋スタートアップの支援体制」を構築し、経済発展の牽引役となる海洋スタートアップの早急な創出を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「BLUE ECONOMY EXPO」の開催による、スタートアップの集積、海外ＶＣを含む国内外の投資家の参入を促進 ・イベントの開催・運営（推進主体への補助金）40,000千円 ○「The Blue Tech Cluster Alliance」への加盟に向けた調整 ・代表機関との加盟に向けた協議、加盟後の共同研究等の協働（推進主体への補助金）5,000千円 ○研究開発の促進、成果の社会実装の場としての拠点形成に資する「駿河湾実証フィールド」の整備、推進 ・駿河湾をはじめとした静岡の海をテストベッドとし、海洋のデジタル化研究開発の体制を整備（推進主体への補助金） 82,754千円 ○海洋スタートアップ企業の誘致・集積、創出・育成を総合的に支援、高度デジタル人材の確保、活用 ・「静岡県スタートアップ支援戦略」に基づき、海洋スタートアップ企業の誘致及び新規創出を図る（推進主体への補助金）35,321千円 他	「BLUE ECONOMY EXPO」概要	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋65人） ②海洋スタートアップ創出・誘致数（＋20社） ③国内外のスタートアップ、VC、投資家等の招致件数（＋150件） ④国外の研究機関等との共同研究件数（＋32件）	関連URL	調整中

事業概要【静岡の地域資源を活かしたインバウンド推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	503,510千円（137,670千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んだインバウンド需要の早期回復 ・本県の観光資源を活かした誘客事業、旅行商品を造成し、滞在日数長期化や旅行消費額拡大を図る ・本県の外国人観光客受入の玄関口となる富士山静岡空港の利活用促進		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成・魅力発信 ・海外で人気なアニメ等の映像コンテンツを活用したプロモーションやスタンプラリー等の実施（委託料他）45,000千円 ・日本三霊山をテーマとした広域周遊の促進（負担金）6,000千円 ・食を活用した体験プログラム造成やイベント実施による誘客促進（委託料他） 30,000千円 ・海外に向けた本県産日本酒の魅力発信（委託料）6,670千円 ・富士山を詠んだ長歌活用したプロモーション(委託料）500千円 ○効果的なプロモーションの実施 ・海外OTAサイトでの本県特集ページ開設（委託料）15,000千円 ・欧米豪向け県内周遊コースの商品化、販売促進（補助金）13,500千円 ・富士山静岡空港を活用した魅力発信(委託料)21,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋3,664億円） ②訪日外国人平均宿泊日数（+0.6泊） ③アメリカ、イギリス、オーストラリアからの外国人宿泊者数（＋30千人） ④本事業により造成されたインバウンド向け旅行商品造成数（+36件）	関連URL	調整中

事業概要【外国人×障害者×女性 多様な人材活躍・育成事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	451,397千円（103,399千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・外国人雇用を検討している県内企業を支援することにより、外国人材の活躍を通じた企業の新たな成長を支援する。 ・障害のある人の工賃向上及び就労訓練の機会を創出し、一般就労への移行につなげていく。 ・療育体制を確立し、全国初となるパイロットセンターとしてモデル事業を実施する。 ・女性特有の健康課題の啓発及びフェムテックの県内企業への導入促進を図る。 ・ダイバーシティ経営企業表彰や専門家等の派遣により、県内企業におけるダイバーシティ経営の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外国人雇用に関する専門家・アドバイザーを企業に派遣（委託料2,299千円） ○障害における療育体制の整備、生産性の向上 ・療育センター開設準備（補助金69,000千円） ・障害福祉事業所の生産性向上のため、専門家による個別の伴走支援を実施（委託費、報償費：8,400千円） ○女性特有の健康課題の啓発及びフェムテックの県内企業への導入促進を実施（委託料14,200千円） ○県内企業におけるダイバーシティ経営の促進 ・企業の多様な就労環境の整備（委託料、報償費6,500千円） ・ダイバーシティ経営の普及促進（委託料3,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（＋696.11千円） ②海外高度人材活躍支援事業による内定者数（＋165人） ③障害者雇用率の推移（＋0.30%） ④女性活躍応援会議参加企業のうち福利厚生等にフェムテックを取り入れた企業の割合（＋98.80%）	関連URL	調整中

事業概要【スポーツを通じた静岡県への誘客促進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	193,500千円（59,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	本県への来訪者数と滞在日数を伸ばし、旅行消費額を高めるために、以下の事業に取り組む ・プロスポーツチーム観戦と観光コンテンツの組み合わせによる周遊 ・大規模スポーツ大会の継続的な開催と長期滞在を見据えた合宿等のコンテンツづくり		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロスポーツチームと企業のマッチング ・観戦ビジネスを拡大する事業を展開（委託費）10,000千円 ○大規模スポーツ大会誘致補助金により誘客を推進（補助金）10,000千円 ○協賛スポンサーや集客が見込まれる大会をモデル的に開催（委託費）10,000千円 ○スポーツを活用した先進的なまちづくりの取組への助成制度創設 ・地域が自主的にスポーツを通じた誘客促進などの取組を行うことができる体制づくりを推進(補助金13,500千円) ○セミナーやモニターツアーの開催など、武道ツーリズムによる誘客、受入体制強化（委託費等）7,000千円 ○スポーツ医科学を活かした合宿メニューの開発 ・自転車ハイパフォーマンスセンター（HPCJC）の自転車トレーニングによる心肺機能の向上等を他競技に転用する合宿等プログラムの開発（委託費）9,000千円	○企業とプロスポーツチームのマッチング ○モデル大会を開催 ○武道ツーリズム（海外プロモーション） ○自転車ハイパフォーマンスセンター（HPCJC） 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋1,872億円） ②県内延べ宿泊客数（＋7,052万人泊） ③スポーツを通じた県内外の交流人口（＋6,258,557人） ④プロチーム観戦者数（＋391,000人）	関連URL	調整中

事業概要【スタートアップ協業促進事業】

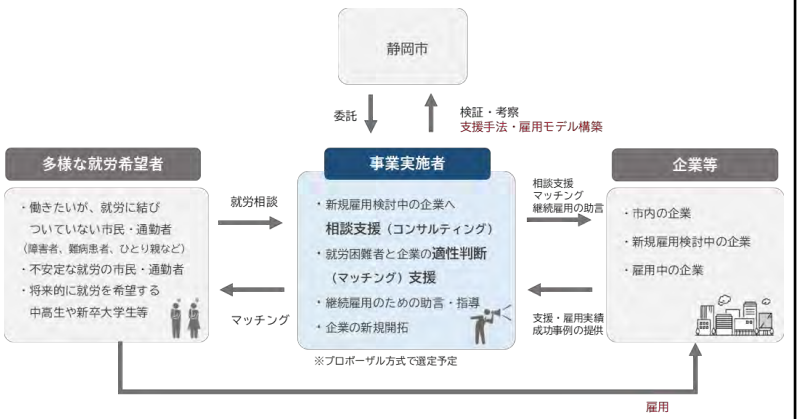
推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	510,000千円（170,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内経済にインパクトを与えるスタートアップの呼び込みや、スタートアップと市内企業との連携を促進することで、革新的な技術やアイデアで産業構造の転換や新たな社会の価値創出を図り、次代の経済成長を牽引する新産業創出やイノベーションの推進による企業の競争力の強化や持続的な成長・発展につなげ地域経済の活性化を目指す。 ・これらを自律的・持続的に実現させるために、市内はもとより、県域や首都圏に広く存在する強みや成長資源を取り込み、スタートアップが静岡で活動しながら規模の拡大を伴う事業発展を行い、リソースの呼込みと次の投資にまわる好循環を実現できる環境の形成に取り組むことで、地域で稼ぐことができ、若者に魅力ある「しごと」を創出し、多様な人々の地域への流入を促し、市民等による活発な都市活動がなされる持続可能なまちづくりを推進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スタートアップとの連携による課題解決促進事業 ・運営委託料（委託料）65,000千円 ・実証実験支援金（負担金・補助金）62,500千円 ○自由提案型スタートアップ社会実装促進事業 ・運営委託料（委託料）35,000千円 ・実装支援金（報償費）5,000千円 ○スタートアップ起業家による出前講座、起業体験プログラムの実施 ・運営委託料（委託料）3,500千円 ○市民向けアントレシップセミナーの実施 ・運営委託料（委託料）1,750千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋1,196人） ②本事業を通じ創出された協業・共創プロジェクト数（＋40件） ③働きやすいまちだと思う人の割合（＋5.2%） ④スタートアップや起業に関心を持つ学生の割合（＋3.0%）	関連URL	調整中

成果発表会のイメージ
（静岡市実施R5アクセラレーションプログラム）

事業概要【インクルーシブ雇用による誰もが活躍できる都市の実現】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	130,380千円（43,460千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	• 業務の切り出し方法等、企業へのコンサルティング支援や普及啓発を行い、就労希望者の受入れ拡大を図る。 • デジタルツールを活用した就労希望者の能力・適性判断手法を確立し、就労準備の支援及びマッチングへの活用を図る。 • 就労希望者と企業のマッチングを支援し、多様な働き方による市内の活性化・市民の活躍推進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料） ・企業への訪問・開拓、コンサルティング実施　19,896千円 ・普及啓発に係る費用　6,980千円 ・調査・検証、事業運営費等　6,124千円 ○企業及び本人支援・コンソーシアム設立等新制度検討費 ・インセンティブ付与・PFS制度検討費（需用費等）　216千円 ・本人向けポイント付与制度・コンソーシアム構築検討費（報償費等）　244千円 ○アセスメントモデル事業（委託料） ・アセスメント実施　3,093千円 ・事業所、企業職員への研修費等　6,907千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（＋30%） ②企業の新規開拓数（＋750社） ③インクルーシブ雇用・アセスメント手法普及イベント・連携会議等、参加者数（＋1,000人） ④インクルーシブ雇用・アセスメント手法に係る研修参加者数（＋500人）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要【中心市街地活性化に向けた子どもの遊び場設置・運営事業】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	130,000千円（60,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・子育て世帯のニーズを充足する魅力を創出し、中心市街地への来街を促す ・新たな民間投資を呼び込み、空き店舗の新たな活用を促す ・親子の来街をきっかけとした新たなにぎわいづくり、中心市街地の活性を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	＜静岡地区中心市街地＞ 〇補助制度を創設し民間投資を誘導 ・屋内型遊び場事業支援補助金　20,000千円 ・子育て関連施設出店支援事業補助金　15,000千円 ＜清水地区中心市街地＞ 〇実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの実施や空き店舗を活用した子どもや子育て団体の活動の場づくり ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金）　25,000千円 〇子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助制度 ・子育て関連施設出店支援事業補助金【再掲】 15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲6,941人） ②歩行者通行量（静岡地区）（＋1,124人/日） ③歩行者通行量（清水地区）（＋304人/日）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html

屋内型遊び場イメージ
（参考：島田市子ども館）

アーケード下の活用イメージ
（参考：かけっこ教室の様子）

子育て世帯が利用する店舗の誘導

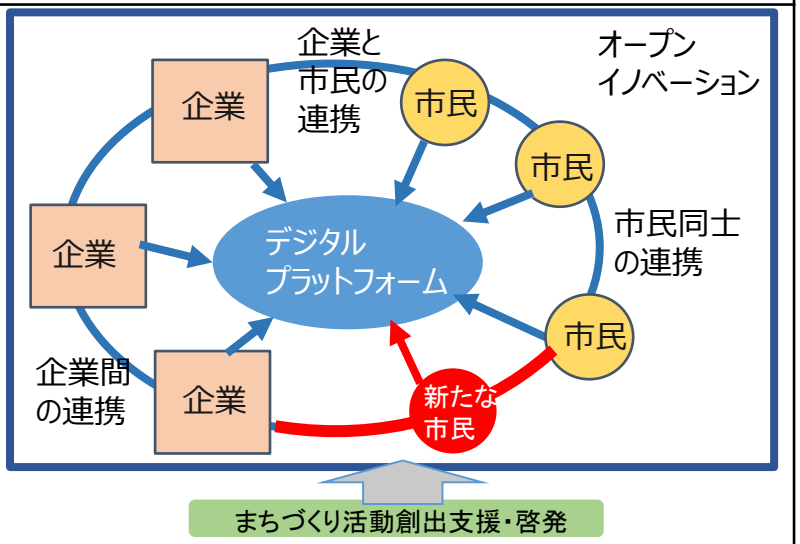
空き店舗の遊び場イメージ
（参考：子育て支援センター）

事業概要【持続的な観光地域づくり・ブランディング推進事業】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	208,760千円（68,880千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	• 静岡市は全国と比較し、１人当たりの旅行単価が低い状況にある。 • 市内観光消費額の最大化に向けて「１人あたり旅行単価の向上」と「インバウンドを含む客数の増加」を図るため、静岡市の特性を生かした「体験コンテンツの充実」を目指す。 • 体験コンテンツの充実に向けては市内観光事業者への商品造成支援とブランディングによる販売強化を実施する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■体験コンテンツの造成支援（企画・開発、ブラッシュアップ、事業者間連携） ○キックオフセミナー　5,800千円 ・現状認識、将来像など共有し、事業への幅広い参画を促す。 ○商品造成ワークショップ　12,600千円 ・専門家を招聘し、体験コンテンツの造成に必要な知識の習得や自己分析等を行う。 ○個別事業者への伴走支援　39,200千円 ・重点支援事業者が体験コンテンツを造成するにあたっては、伴走支援体制を整え、個別の状況に応じた的確な助言や活動支援を行う。 ■体験コンテンツ販売強化事業（ブランディング） ○プロモーション体制の整備　7,800千円 ・造成したコンテンツを活かした次年度以降の本格的なプロモーションに向けて、ブランドコンセプトやモデルコースの企画・開発、WEB状の情報導線の再設計などの体制を整える。 ○ＢｔｏＢセールスの実施　3,480千円 ・販路開拓や商品ブラッシュアップのため、エージェントファムトリップや商談会を実施する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額　（＋45,000百万円） ②外国人延べ宿泊者数（＋50,000人） ③１人あたり観光消費額（＋9,000円） ④“感動体験”の体験者数（＋23,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.shizuoka.lg.jp

事業概要【デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業】 推進当初

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	57,670千円（13,240千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・市内企業のまちづくりへの参画を導き、企業の価値向上とまちの魅力増進を実現する。 ・労働者や学生を含む市民が、まちづくりに取り組みながら主体的に暮らすことでウェルビーイングを実現する。 ・市民や企業の多様な活動がまちづくりデジタルプラットフォーム上で可視化され、ネットワークが形成される。 これらの動きにより転出リスクを下げ、新たに人を呼び込み、地域の人口減少に歯止めをかける。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	◎企業版リノベーションスクールの実施を核としたオープンイノベーションへの取組及び情報発信（委託料8,030千円、需用費200千円、使用料99千円、補助金1,500千円） ⊙まちづくりデジタルプラットフォーム導入のほか、まちづくりに参画する市民の裾野を広げ、ネットワーキングする（委託料3,411千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲3,900人） ②市内企業による新たな事業プロジェクト創出数（+25件） ③市民が企画するまちづくりプロジェクト創出数（+30件） ④まちづくりデジタルプラットフォームの登録者数（+600人）	関連URL	http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/machi/index.htm

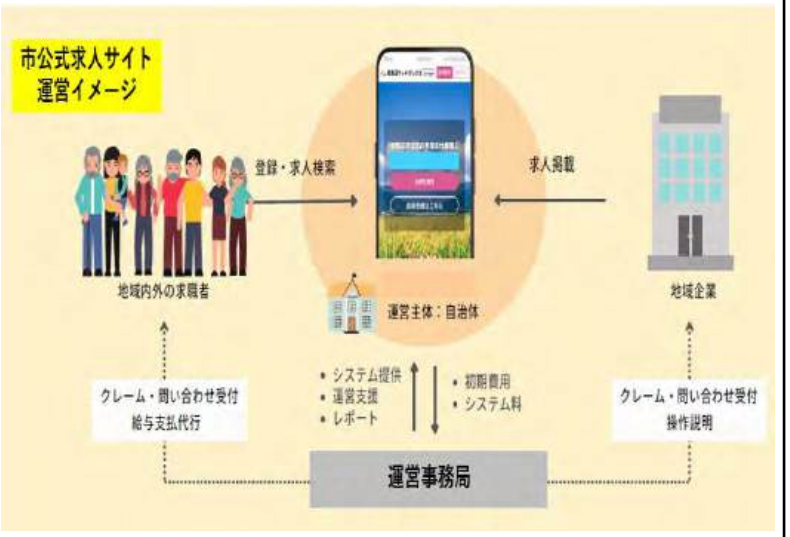
事業概要【持続的ウェルビーイングが実現する熱海ふるさと創生事業】

推進当初

申請者	静岡県熱海市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	70,323千円（25,221千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・旧学校施設をハブ機能の拠点として活用し、まちづくり会社を中心に地域住民と域外の人的資源との連携を図る。 ・地域資源を活用した交流促進事業を展開し、移住定住の促進と交流人口・関係人口の増加を図る。 ・住民の豊かな暮らしを実現するため、地域の魅力を育み、人が集う地域を構築し、地域の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【オフィス事業】　（委託料）7,740千円 旧学校施設の交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースを活用したビジネスマッチングと域内外の交流の場の提供 【地域資源を活用した交流促進事業】　（委託料）9,781千円 ①地域資源を活用した体験イベント等の実施による域内外の交流事業の実施 ②自然を活用した体験プログラムを実施するインタープリターの養成 【エリアリノベーションまちづくり事業】（委託料）7,700千円 ①各地区で課題の整理を行い、地域の在り方を創造していくエリアリノベーションまちづくりを実践するエリアリノベーション会議を開催。 ②エリアリノベーションビジョンの策定	 【伊豆山地区】 土石流災害を受け、弱体化した地域力を再構築するため、地域の資源と人材を活用した産業振興を図るとともに、持続的な地域社会の構築を図る。 【中心市街地】 リノベーションまちづくりの推進エリアを拡張し、クリエイティブ人材の活躍の場を広げていく。 【南熱海地区】 産業、生活全般にわたり衰退の一途をたどる地区において、地区の市民活動等の拠点であった旧学校施設を活用し、他エリアからの人的資源等と連携し、地場産業の振興や雇用の創出、移住促進、空き物件の活用に取り組み、地区の持続的な活性化を図る。	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数　（＋14人） ②エリアリノベーション事業から生まれた起業・創業者数（＋7人） ③テナントオフィス稼働率　（＋75%） ④網代地区の空き物件が利活用された件数（＋6件）	関連URL	調整中

事業概要【眠れる労働力を発掘！富士宮プロジェクト】

推進当初

申請者	静岡県富士宮市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	36,880千円（9,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	人口減少が避けられない中、眠れる労働力（育児休暇者、介護離職者、高齢者、外国人、引きこもり、生活困窮者など）が地域社会とつながり、その能力を発揮できる社会を構築する。多様な人材・働き手と企業・団体等の受け入れ側のミスマッチを解消し、働き手は「自由な時間にいつまでも働ける」状態、企業や団体等は、人手不足や担い手不足を補うことで、「誰一人取り残さない」市民全員が地域社会で活躍できている状態を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中小企業人材確保事業 生産年齢人口の総数維持のため、デジタルを活用した各種サイトを立ち上げる。今まで情報が届かなかった若者などに情報発信。担い手を確保する。 ・事業承継支援ツール構築（委託料）2,600千円 サイト構築費・記事作成費等、事業者掘り起こしアンケート実施費 ・就業支援サイト構築（委託料） 1,000千円 サイト構築、求人企業取材、ジョブマッチング広告にかかる経費 ・オンラインインターンシップ事業（委託料） 5,500千円 複数社合同開催（最大25社）等各種オンラインインターンシップ経費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性 （＋9,260円） ②福祉コーディネータが企業・団体とマッチングさせた人数 （＋72人） ③市公式求人サイトにおける就業マッチング件数 （＋2,811件） ④ＳＤＧｓプラットフォームへ取組を掲載した企業・団体数 （＋25者）	関連URL	http://www.city.fujinomiya.lg.jp/sp/municipal_government/visuf8000001rq07.html http://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iiosmo0000001dop.html

事業概要【多様な人財確保支援事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	50,545千円（6,045千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・人財確保に悩む企業に現状と課題を認識し、人財確保のノウハウや方法の学びを通して企業の考え方や意識の改革を図る。 ・若者に限らず、外国人、高齢者、障害者、離職中の女性など多様な人財確保と多様な働き方のニーズに対応するため、労働条件や福利厚生制度の見直しといったソフト面に係る支援を実施する。 ・子ども達を対象に、働くことの楽しさや成功体験を通じ、地域愛を育み、将来的に地元で就職・定住・活躍してもらう人財育成と確保を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●市内企業向けの雇用促進セミナーの開催（646千円） ・民間事業者への委託料、消耗品費、印刷製本費 ●保護者向け市内企業訪問バスツアー（1,199千円） ・民間事業者への委託料 ●多様な人財雇用促進事業補助金制度（4,200千円） ・ソフト事業に係る経費の一部を補助金として支援 ・働き方改革推進モデルとなるような「えるぼし」等の認定を受けた企業の取組みの経費の一部を支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（＋30万円） ②市内企業において新たに雇用した人数（＋45人） ③雇用促進セミナー参加者（＋60人） ④国の法令に基づき、働きやすい職場と新たに認定された市内企業数（＋3社）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihousousei/chihousouseisuishinkaigi.html

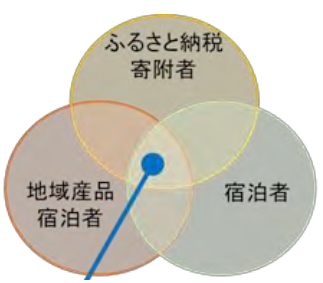
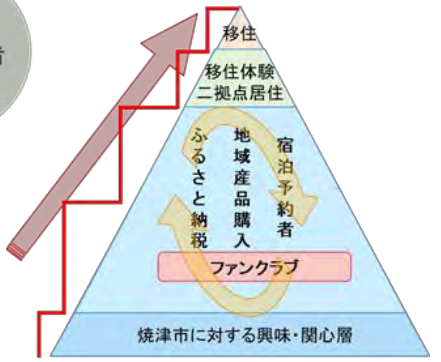
労働環境の整備（ソフト面）

企業向けセミナー、子ども向け職業体験会（キッザニア焼津版、VR）の実施

働きやすい環境整備 ＋ ワーク・ライフ・バランス推進等
＝ 企業イメージ向上 ＝ 多様な人財確保 ＝ 企業存続・発展

事業概要【焼津型エコシステム構築による関係人口の増大事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	101,603千円（10,595千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	焼津に関わる関係人口が拡大し、その関りが深化していくことで、地域経済の活性化や移住定住者の増加、さらには焼津がより魅力的なまちへと生まれ変わることに繋がり、それがさらなる関係人口の増加に繋がるといった、これまでにない新しいシステム「焼津型エコシステム（地域経済循環システム）」の構築を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業概要】 ・「①データに基づくマーケティング」、「②地場産品の開発」、「③ファンクラブの構築」、「④移住イベント」といった取組を有機的に組み合わせ、焼津への関りを段階的に成長させることで、移住定住等に繋げていく。 ・また、その過程で、地域産品の販売等による地域経済の活性化を図るほか、ファンや移住者を積極的に巻き込むことで、人が人を呼び、人がまちを魅力的にし、それがまた新しい人を呼ぶ好循環をまきおこす。 【事業詳細】（Ｒ６事業費ベース） ①データに基づくマーケティング（Ｒ６は調査のみ） 〇データ分析（1,613千円） ・ターゲット設定に向けたデータ分析、データ分析人材の育成 〇地域ブランドの構築（8,982千円） ・認知度やイメージ調査等の現状分析等	 各分野における単体サービス利用者よりも、重複サービス利用者の方が、焼津市に対する興味・関心が高い。 ➡データ分析に基づくことで、興味・関心層（＝ファン潜在層）を把握し、アプローチを行っていく。 ファンクラブという興味を持つ者同士の枠組を作ることで、興味のサイクルを加速化させ、一過性の興味・関心層を、➡ファン ➡移住体験・二拠点居住 ➡移住へと段階的に上昇 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJターン数　（＋810人） ②焼津ファンクラブ会員数（ファンクラブ登録人数）（＋6,000人） ③年間関係人口数（＋492,000人） ④年間関係人口消費金額（＋7,837,000千円）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html

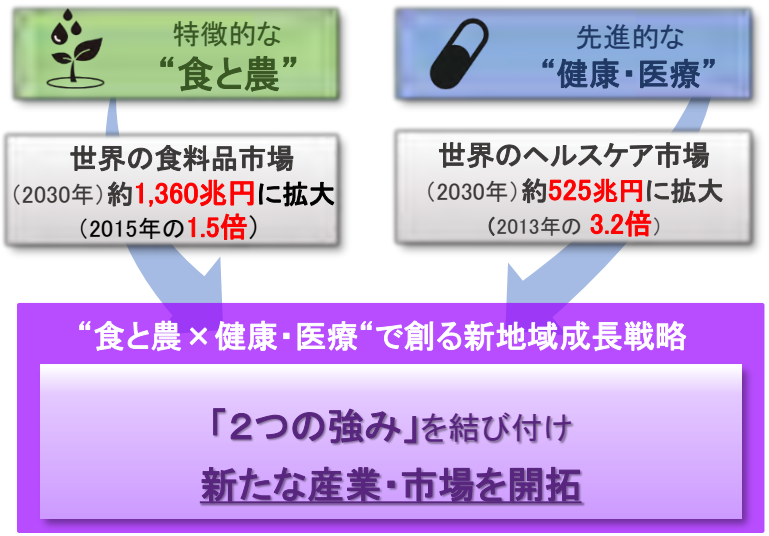
事業概要【全市生涯学習学びのキャンパス化事業】

推進当初

申請者	静岡県掛川市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	26,900千円（4,518千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・掛川学びの場所100景を選定し、地域の新たな魅力づくり、磨き上げを図る。 ・地域で活躍できる人材の育成を図る。 ・学びの場の活用、地域課題の解決を目的に生涯学習の視点で考える場「(仮)未来探求学舎」の創設、開催。 ・スモールモビリティを活用した学びと観光のネットワーク化及び学び塾の開催。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学びの場の取材・選定・デジタルアーカイブ化 ・学びの場の取材・選定・デジタルアーカイブ化委託料 3,800千円 ○学びの場を巡る学び塾の開催 ・講師謝礼 70千円 ・印刷費 100千円 ・文具消耗器材費 25千円 ・郵便料 8千円 ○(仮称)未来探求学舎の創設 ・講師謝礼 100千円 ・委員報酬 141千円 ・講師交通費 15千円 ・委員交通費 26千円 ・文具消耗器材費 25千円 ・印刷費 100千円 ・郵便料 8千円 ・会場費 100千円	**全市生涯学習学びのキャンパス化の実現と展望** 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲240人） ②掛川学びの場の設定数（＋120箇所） ③学び塾に参加した人数の推移（＋100人） ④電動キックボード利用者の推移（＋2,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9312.html

事業概要【“食と農×健康・医療“で創る新地域成長戦略】

推進当初

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	200,900千円（77,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本市の強みであり、世界的な成長分野でもある、“食と農×健康・医療”を基軸とした新たな基幹産業・ビジネスを創出するとともに、産業クラスターを形成し、独自の商品やサービスを生み出し、新たな市場を開拓することで、地域産業の高付加価値化、高度人材の集積、関係・交流人口の拡大、所得水準の向上へ拡充し、さらに、出生数の向上と健康寿命の延伸の達成へとつないでいく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	□“食と農×健康・医療”を基軸とした、地域経済を牽引する新たな基幹産業創出に向けた産学官での共同研究によるビジョンを策定する。（委託：15,000千円） □新たな基幹産業の中核拠点となる企業や、研究・開発機関が集積するスマートシティの形成に向け、調査・研究を実施するとともに、まちづくり組織の設置と、参画企業による協議会の設立を実施する（補助：40,000千円） □新たな基幹産業への人材供給や新ビジネス創出を目的としたメンタープログラムやセミナー等を実施するとともに、高付加価値企業の誘導に向け、首都圏のイノベーション拠点との合同セミナーなどの連携事業を実施する。また、人材や企業間のネットワークを構築するため、市内の共創体制を確立するとともに、継続した相互交流の場を提供する。（委託：12,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋25人） ②働き世代の転入者数（＋140人） ③先導的ビジネス取組件数（＋4件） ④食と農アンテナエリア内農業法人等誘致件数（＋3件）	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukeiei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

事業概要【大河ドラマを契機とした観光振興及び郷土愛醸成促進事業】

推進当初

申請者	静岡県牧之原市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	28,200千円（18,900千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	従来からの誘客資源である食やマリンレジャーに加え、「歴史・文化資源」を新たな地域資源の柱として当市への観光誘客の多様性を図り、交流客数、消費単価の増加を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大河ドラマを契機としてデジタル媒体及び紙媒体を利用した広報により、牧之原市が田沼意次侯ゆかりの地であることをＰＲする事業 ・バス及びトラックへのラッピング：3,400千円 ○来訪者の市内への周遊を促すとともに、データ収集・分析を行って新たな商品やサービスの創出に繋げるため、専用アプリの開発・運用を行う ・アプリ開発及び運用費：3,500千円 ○田沼意次侯を主題にした演劇を行うとともに、そのキャストに市民が参加することで、郷土愛の醸成と意識向上を図る ・演劇公演費（委託費）：2,600千円 ○歴史・文化資源を活用した商品やサービスの開発を支援するもの。 ・商品開発支援費（助成金）：1,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,000,000千円） ②専用ホームページの閲覧数（+25,000人） ③市史料館の入館者数（+35,000人） ④歴史文化に関連した商品開発数（+20件）	関連URL	調整中

事業概要【産官学連携地域活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県清水町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	5,841千円（1,841千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若年層に対し、創業・マーケティングの基礎知識習得や起業家・町内企業との交流の機会を提供する。 ・若年層が地元で就業・創業・起業する機運を醸成し、若年層の東京圏への流出を抑制する。 ・若年層の地域への愛着形成及び地元企業・店舗の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産官学連携事業「沼商屋」 ・ 地元企業との商品開発やマーケティング・広報戦略等の特別授業のコーディネートを委託する。 （委託料）1,000千円 ○学生観光ボランティア育成等事業 ・ 観光ボランティアの業務を体験学習する機会を提供することで、地域のことを学んでもらうとともに、観光事業者と連携して観光商品や土産物（特産品）等の商品開発に取り組む。（委託料）500千円 ○町の課題解決事業 ・ 町内中学生からの「町への提言」や沼津商業１年生の総合的な学習の時間で実施している地域課題解決の授業から出てきた意見や提案を踏まえ、若年層が感じる町の課題を解決するための事業を実施する。（委託料）341千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（＋30人） ②町出身者の町内及び近隣市町の企業等への就職意向率（＋8.9%） ③連携事業者数（＋9者）	関連URL	調整中

事業概要【あいちデジタルヘルスプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	1,717,566千円（318,598千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」が推進母体となり、プロジェクトの基本計画（2024年3月策定）に基づき、当地域においてヘルスケア分野のイノベーションエコシステムを形成し、ヘルスケア産業の振興と超高齢社会の課題解決の両立を目指していく。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

1.未来技術を活用したヘルスケアサービス・ソリューションの社会実装
・産学官連携による実証事業を実施（委託料）156,620千円
2.エコシステム形成に向けたパーソナルデータ連携基盤の構築
・データ連携基盤の構築に向けた調査等を実施（委託料）77,205千円
3.デジタルヘルスサービスの社会実装促進に向けたユースケースづくり
・ユースケースづくりに向けた実証と横展開を実施（委託料）45,075千円
4.「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」の活動を通じたエコシステムの形成
・コンソーシアムの運営及び各種活動の実施（委託料）39,698千円

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

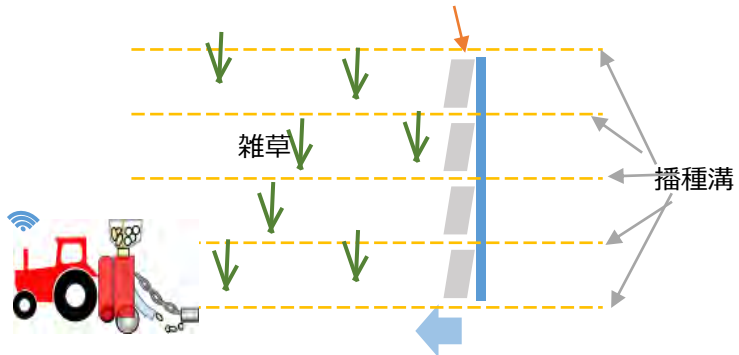
①地域における新規雇用者数
（+130千人）
②STATION Aiへのヘルスケア関連企業・団体の入居数
（+65企業・団体）
③本事業を通じて社会実装されたヘルスケアサービスの件数
（+24件）
④本事業を通じてフレイルの早期発見につながった件数
（+1,426件）

関連URL

https://www.pref.aichi.jp/soshiki/innovation-kikaku/aichi-dhc.html
https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【農業の生産現場におけるDX・GX活用促進プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	184,001千円（62,087千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	農業分野の課題解決に向け、ものづくり県としての本県の強みを生かし、戦略性をもった生産現場のDX・GX化を進める。生産現場の最前線における分野横断的な取組によるテクノロジー活用の強化や、有機農作物の需要拡大に対応する超省力化・超低コスト体系の構築など、持続可能な農業生産の実現とともに、機動性を高めた生産現場での変革を創出することで、本県の農業の一層の発展につなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○実際の農業者の生産ほ場において、それぞれの生産現場の課題に対応したデジタル技術等の活用・改良・実装を行い、その過程を通じて県の新たな普及指導体制を構築、機動性を高めた生産現場発のイノベーション創出力を強化する。（委託料、事務費）23,160千円 ○有機農作物の需要拡大を見据え、大規模・超省力有機栽培技術の開発を行うとともに、その持続可能性、経済性を検証する。（委託料、事務費、栽培管理機器）38,927千円	GPSで位置決めをし、物理的手段で除草する機械の実装  GPSトラクタによる不耕起V溝直播	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①愛知県における農林水産出荷額（農業）（+228億円） ②スマート農業技術の普及割合（+21.9%） ③有機農業取組面積（+90ha） ④雑草抑制技術の開発（+4件）	関連URL	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【あいちモビリティイノベーションプロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	1,224,460千円（230,102千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・次世代の空モビリティであるドローン・空飛ぶクルマの早期社会実装や、次世代の空モビリティと陸モビリティである自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動が最適化された新しいモビリティ社会を実現し、物流クライシスや多様化する人の移動等の社会課題を解決する。 ・市場性、実現性等を考慮した革新的ビジネスモデルを構築し、それを国内外に横展開することで、空と陸の次世代モビリティの需要拡大を図る。 ・次世代モビリティの需要拡大を愛知県が取り入れ、産業創出に向けた環境整備やサプライチェーン構築を進めることで、雇用を創出するほか、次世代モビリティ産業を愛知県の基幹産業としていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	**1.物流用高ペイロードドローンの社会実装に向けた取組** ・社会実装に向けた実現可能性調査及び運営事業者の参入支援（委託料）91,759千円 **2.空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組** ・空飛ぶクルマの社会実装に向けた事業適地の調査等の実施（委託料）60,520千円 **3.地上空撮ドローンにより作成するデジタルマップの利活用** ・地上空撮ドローンにより作成するデジタルマップの利活用の検討（委託料）16,814千円 **4.次世代モビリティの普及に向けた制度面・技術面での課題整理、社会受容性の向上** ・展示会出展等による社会受容性向上に向けた普及啓発（委託料）20,357千円 ・空モビリティ実装に向けた制度面等の課題の整理（委託料）21,671千円 **5.次世代モビリティの基幹産業化に向けた取組** ・研究開発機能の強化やサプライチェーン構築に向けた調査（委託料）18,982千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+130千人） ②航空機・ロボット製造業従業者数（+1,110人） ③物流ドローンの導入機体数（+16件） ④空飛ぶクルマの運航便数（+270件）	関連URL	https://a-idea.jp/soramichi/ https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

事業概要【地域資源ブランディング事業】

推進当初

申請者	愛知県岡崎市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	43,000千円（3,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	農産物のブランド力を更に引き上げるため、地消地産の考えに基づく「岡崎ならでは」の価値を付加した新たな特産品を農業者と地域関係者が協働で創出し、本市の交流拠点となる地域において特産品の魅力を発信することで、関係人口、交流人口を増加させ、地域の賑わいを創出するとともに、農産物の消費拡大を図り、農業所得を増加させ、持続可能な農業経営基盤の構築の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	ワイン特区を活かした純岡崎産のワイン、家康公健康寿命の秘訣の食・薬草等に関する地域資源を発掘し、本市の特産品とする食のブランディングを実施する。 【令和６年度実施内容】 １　地域資源発掘調査　1,000千円 ２　家康めし等ブランディング　1,500千円 ３　地域振興施策の調査検討　500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農産物出荷額（＋300千円） ②関係者、ｽﾏｰﾄ農業実践者数(＋6人・団体) ③家康めし等取扱店舗数（＋3店） ④家康めし等商品開発数（＋7点）	関連URL	https://www.city.okazaki.lg.jp/1300/1303/1319/p019877.html

事業概要【半田市中心市街地活性化推進事業】

推進当初

申請者	愛知県半田市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	328,209千円（71,145千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・来街、活動の多様な目的にかなう場づくり・環境づくりを行い、中心市街地エリアの価値の向上を図る ・中心市街地に創業等の様々なチャレンジができる機会や場所を設け、まちづくりの担い手の育成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「創造・連携・実践センター」を設置し、創業支援等のための環境整備や同センターを拠点とした人材育成を行う ・同センターの施設整備（工事請負費）19,000千円 ・同センターの指定管理（委託料）16,270千円 ○中心市街地エリア内の回遊性の向上のための取組を行う ・半田運河誘客スポットの設置（委託料）4,302千円 ・デジタルサイネージの活用業務（委託料）4,367千円 ○官民連携による中心市街地活性化に向けて、半田市中心市街地活性化協議会での合意形成をはかる ・同協議会運営費負担金（負担金）2,080千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋63人） ②「創造・連携・実践センター」の利用者の創業件数（＋50件） ③「創造・連携・実践センター」の来館者数（＋9,900人） ④名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（平日）（＋700人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.handa.lg.jp/shisei/shisaku/1003858/1003863.html

事業概要【西尾未来共創拠点運営事業】

推進当初

申請者	愛知県西尾市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	93,403千円（31,999千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・イノベーションの創出を通じた起業・創業支援を展開する。 ・製造業において、構造転換支援など事業の多角化を図る。 ・第３次産業の充実を図る。 ・各種事業支援の一元的・効果的な支援体制の構築を整備する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○西尾未来共創拠点の運営（中小企業の持続可能な経営並びに市内での起業、創業及び新産業創出を支援し、市内経済の活性化を図る） ・専門アドバイザー等の謝礼（謝礼）2,800千円 ・顧客管理システム運営管理（委託料）2,247千円 ・HP運営管理（委託料）1,500千円 ・市場分析業務（委託料）500千円 ・施設費（借上料）2,640千円 ・プロジェクター、スクリーン、音響設備等（備品費）1,000千円 ・事業者補助金（補助金）10,000千円 ○ビジネスプランコンテストの運営（西尾市の課題を解決し、地域をより活性化させる事業の創出と実装を目指すビジネスプランコンテストを開催） ビジネスプランコンテスト運営（委託料）7,840千円	 西尾未来共創拠点イメージ図	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋120人） ②「西尾未来共創拠点」での事業相談数（＋2,800件） ③「西尾未来共創拠点」を中心に行う市主催のビジネスプランコンテストのプラン提案数（＋100件） ④「西尾未来共創拠点」で行う市主催のイベント数（＋45件）	関連URL	https://www.city.nishio.aichi.jp/shisei/johokokai/1001564/1001641/1004679.html

事業概要【「日本一の花の産地だからできる、世界に誇れる花のまち」地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	愛知県田原市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	91,070千円（47,270千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・産出額日本一の「花」を活用したプロモーションを行うことで、地域ブランド力向上やまちの賑わいの創出を図る。 ・花、観光、定住・移住促進の取組を連動させたシティプロモーションを実施しシビックプライドの醸成を図る。 ・発信力の高いイベントを活用し、今後に繋がるデジタル実装による情報発信の活発化を図る。 ・菜の花の種まき体験等により、地域への愛着と誇りの醸成を図り若者の転出抑制につなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域ブランド力向上のため、花をメインコンテンツとし有名プランナーとのコラボイベント、プロスポーツを活用したPR、体験型ツアー、マルシェ等を活用した情報発信やシティプロモーションの実施 ・イベント企画、開催費（委託費）　41,900千円 ・イベント用PR用品作成（印刷製本費）　770千円 ・マーケティング調査委託（委託費）　2,000千円 ・花のモニターツアー造成（委託費）　500千円 ○農業や地域への愛着と誇りの醸成を図るため、NPOによる遊休農地再生事業と連携し、子どもたちを対象とした菜の花の種まき体験の開催 ・菜の花畑作付け等委託費（委託費）　1,800千円 ・PR用マップ等作成（印刷製本費）　300千円	 日本一の花を活用したブランディング	 イベントを活用したプロモーション 種まき体験による地域愛の醸成
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（＋300人） ②ふるさと納税の花に関連する寄附金額（＋20,315千円） ③菜の花エコサポーターの登録数（＋30人）	関連URL	https://www.city.tahara.aichi.jp/seisaku/kakushukeikaku/1003022/1003057.html

事業概要【地域資源を活用したラーケーション推進による地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛知県長久手市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR6年度事業費）	36,000千円（12,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	愛知県において、令和5年度にスタートした「ラーケーションの日」を契機に、校外学習ニーズを市内に呼び込むことで、関係人口の増加や市内消費の活性化・観光振興を図ることができる。市内事業者が各々で体験プログラムを造成できるよう、環境整備を市が行い、市内事業者が主体となって新たな「ラーケーションスポット」を設けることができるよう支援していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ラーケーションに関する調査、計画策定、PR事業 ・調査、地域資源の掘り起こし　3,000千円 ・計画策定　3,000千円 ○市内事業者による体験プログラム造成事業 ・事業者同士の連携強化のための意見交換会、勉強会　3,000千円 ・体験プログラム造成、運営に関するアドバイザー設置　3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+7.5億円） ②市内事業者（観光交流協会会員）による、新規体験プログラム数（＋15件） ③市内事業者（観光交流協会会員）による、新規体験プログラム参加者数（＋300人） ④観光交流協会HP閲覧数(＋2.5万回)	関連URL	https://www.city.nagakute.lg.jp/soshiki/shichokoshitsu/seisakuhishoka/2/2/matihitosigoto/index.html